

II. 調査結果

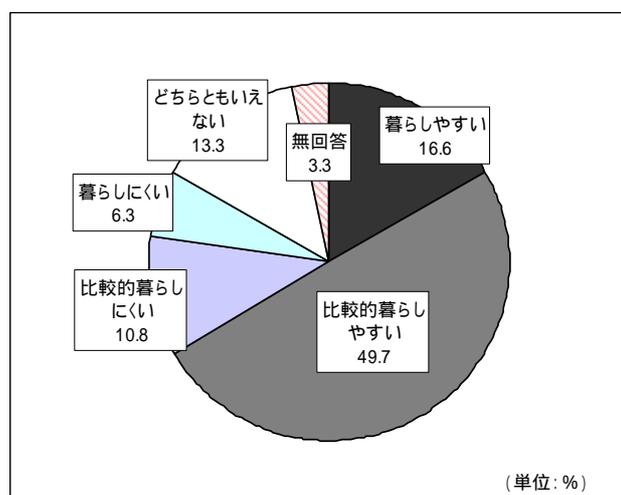
1. 「地域での暮らし」について

(1) 地域の暮らしやすさ

問 お住まいの地域の暮らしやすさについてお答えください。【SA、n = 1,274】

「暮らしやすい」と肯定的な回答が3分の2を占めている。

地域の暮らしやすさについては、「暮らしやすい」が16.6%、「比較的暮らしやすい」が49.7%と、両者の合計で66.3%となっている。多くの市民が、暮らしやすい地域と認識していることがわかる。



【属性別特徴】

男女別

- ・男性の方が「暮らしやすい」の比率がやや高くなっている。

年齢別

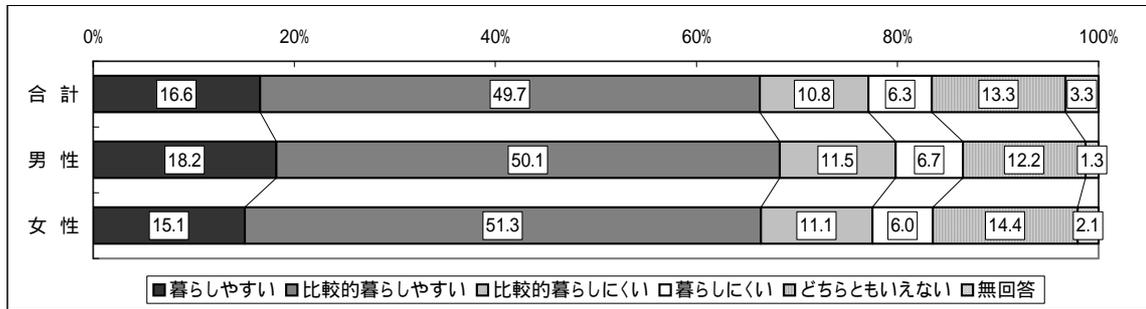
- ・年齢が高くなるほど「暮らしやすい」の比率が高い。60歳代以上では7割以上が「暮らしやすい」または「比較的暮らしやすい」と回答している。

居住地区別

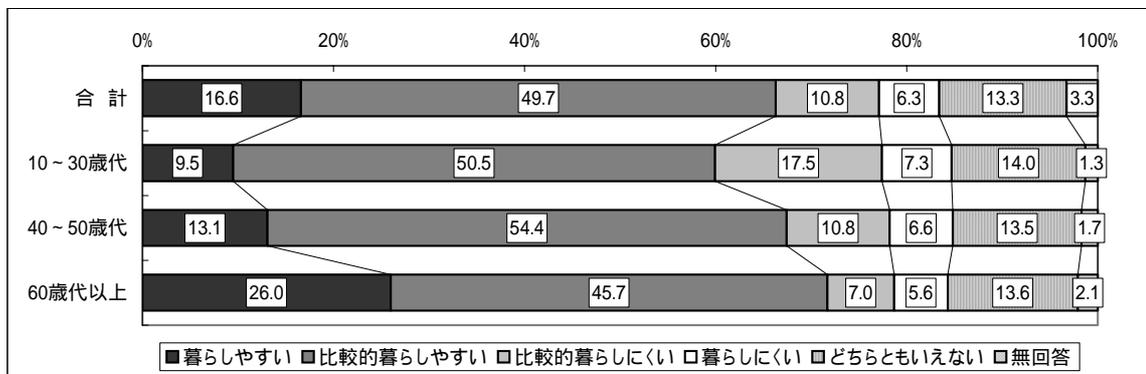
- ・山田区で「暮らしやすい」の比率がやや低い傾向が見られる。

《属性別グラフ》

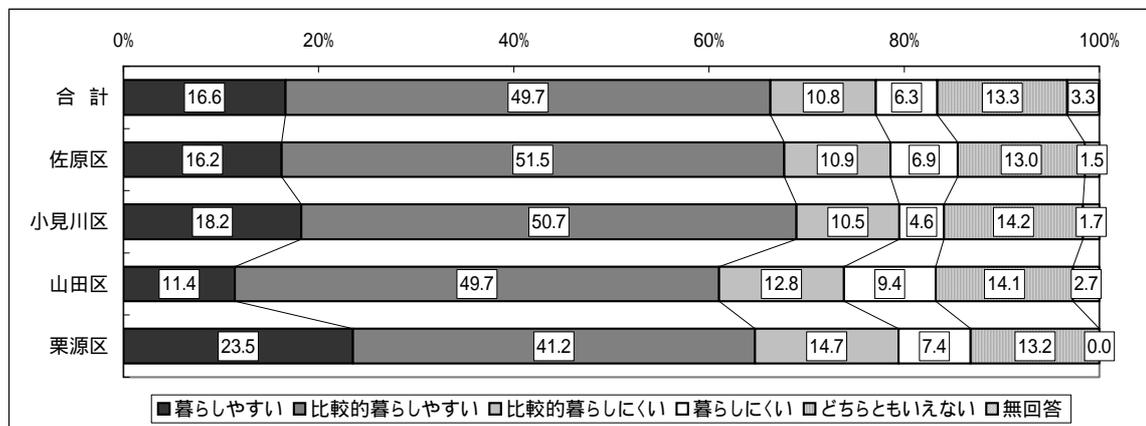
男女別



年齢別



居住地区別

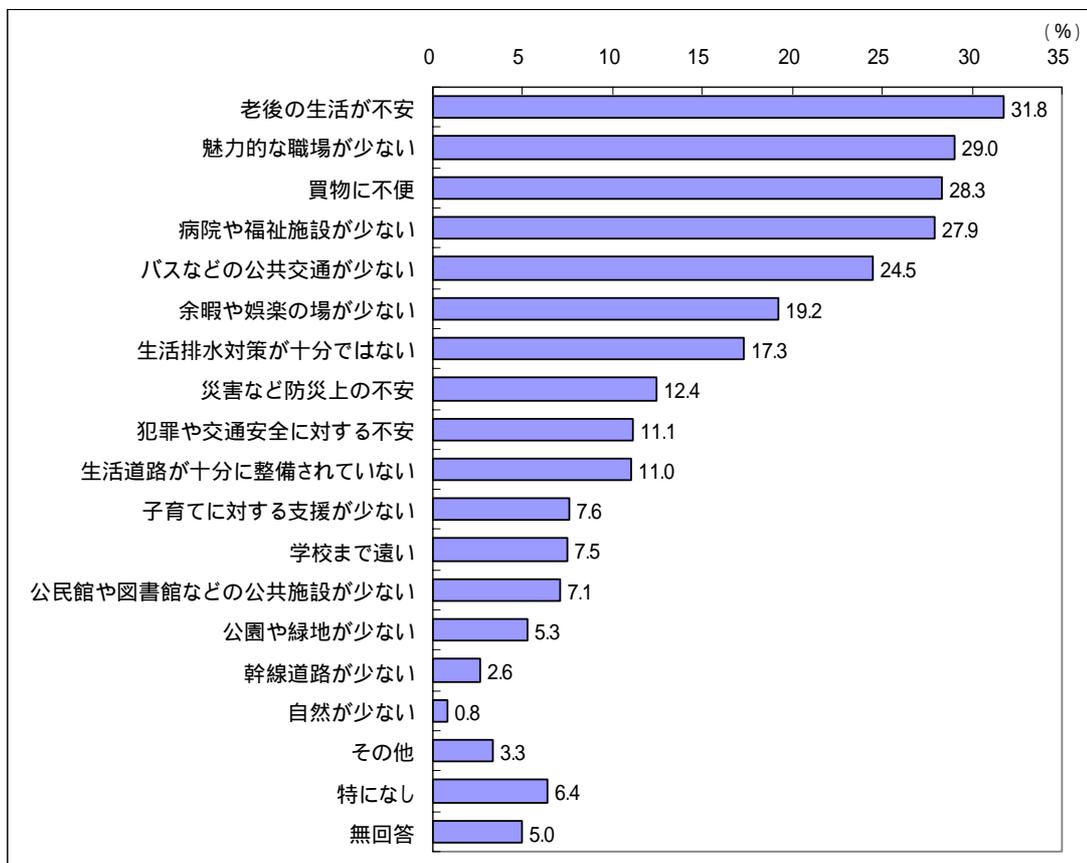


(2) 地域における問題点・課題

問 お住まいの地域で暮らしていく上での問題点や課題がありましたらお答えください。【MA、n = 1,274】

老後の生活への不安をあげる回答が最も多い。

問題点、課題としては、31.8%が「老後の生活が不安」をあげている。以下、「魅力的な職場が少ない」、「買物に不便」、「病院や福祉施設が少ない」の順で回答が多くなっており、市民は医療・福祉分野、産業経済分野で課題を強く感じていることがわかる。



【属性別特徴】

男女別

- ・「買物に不便」をはじめ、上位の項目で女性の比率が高いものが多い。
- ・男性では「生活排水対策が十分ではない」の比率が高い。

年齢別

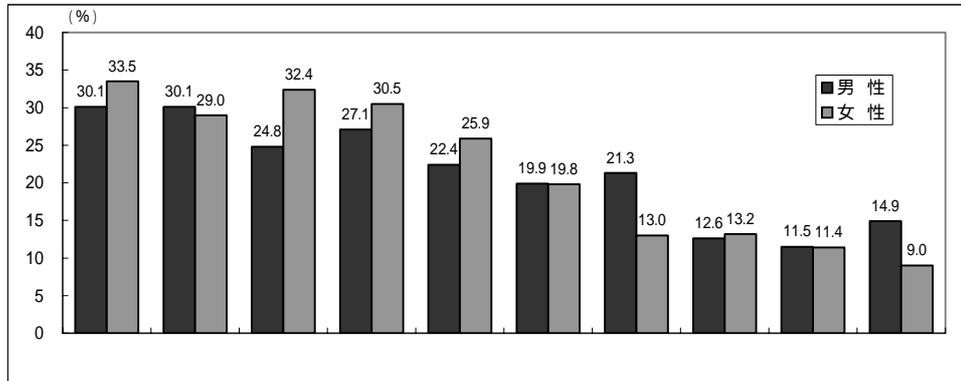
- ・「老後の生活が不安」は、年齢が高い層ほど比率が高い傾向が見られる。
- ・若年層では、「買物に不便」、「余暇や娯楽の場が少ない」の比率が高くなっている。

居住地区別

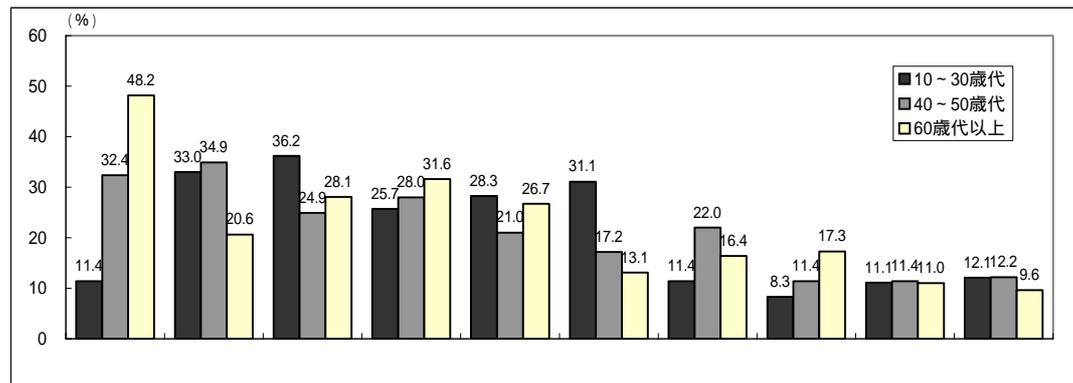
・栗源区で「買物に不便」の比率が高いことが目立つ。

《属性別グラフ》

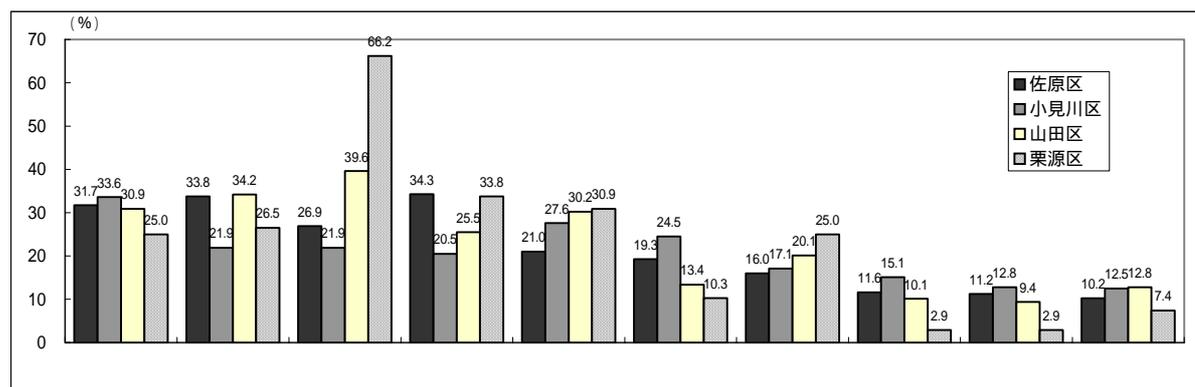
男女別



年齢別



居住地区別



老後の生活が不安	魅力的な職場が少ない	買物に不便
病院や福祉施設が少ない	バスなどの公共交通が少ない	余暇や娯楽の場が少ない
生活排水対策が十分ではない	災害など防災上の不安	犯罪や交通安全に対する不安
生活道路が十分に整備されていない		

2. 「香取市のイメージ」について

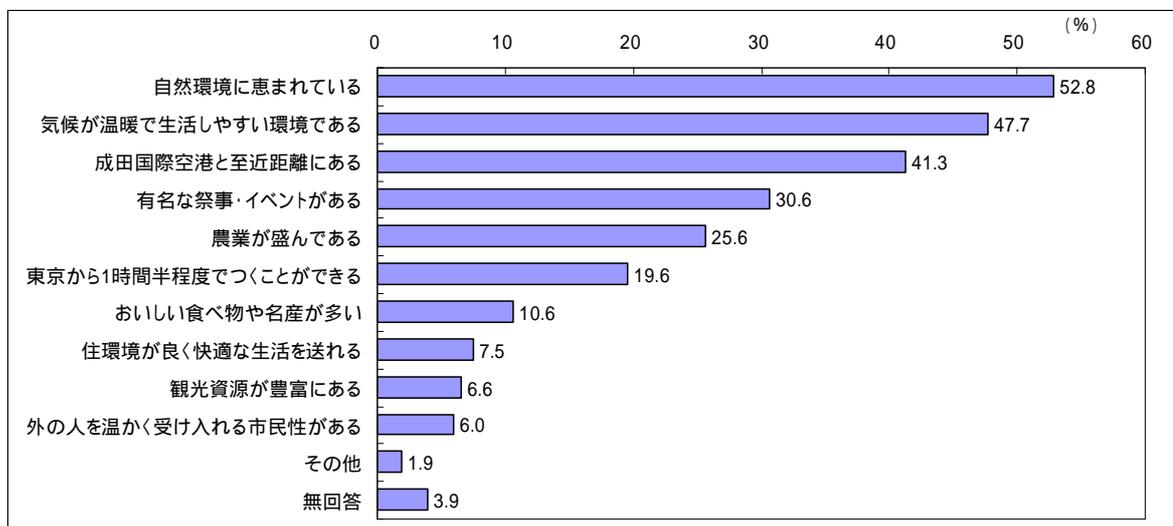
(1) 「香取市の魅力」の紹介

問 香取市の魅力をよその地域の人に紹介するとしたら、どのように紹介しますか。

【MA、n = 1,274】

自然環境、気候の温暖さなどを香取市の魅力と考えている市民が多い。

香取市の魅力としては「自然環境に恵まれている」を 52.8%、「気候が温暖で生活しやすい環境である」を 47.7%があげており、市の魅力として「自然」をイメージしている市民が多いことがわかる。「成田国際空港と至近距離にある」、「有名な祭事・イベントがある」との回答がこれに続いている。



【属性別特徴】

男女別

- ・「有名な祭事・イベントがある」、「東京から1時間半程度でつける」など、女性の比率がやや高い項目が多い
- ・男性では「農業が盛んである」の比率が女性より高いことが目立つ。

年齢別

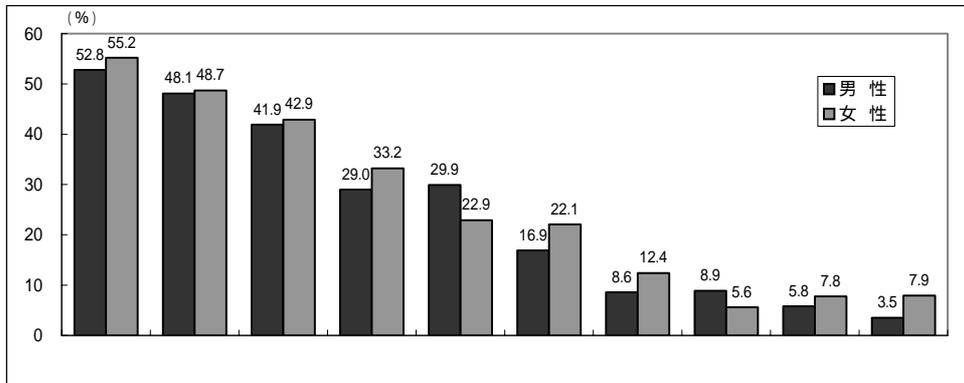
- ・「自然環境に恵まれている」は年齢が高い層でやや低くなっている。
- ・若年層では「気候が温暖で生活しやすい環境」の比率が低く、「有名な祭事・イベントがある」が高いことが目立つ。

居住地区別

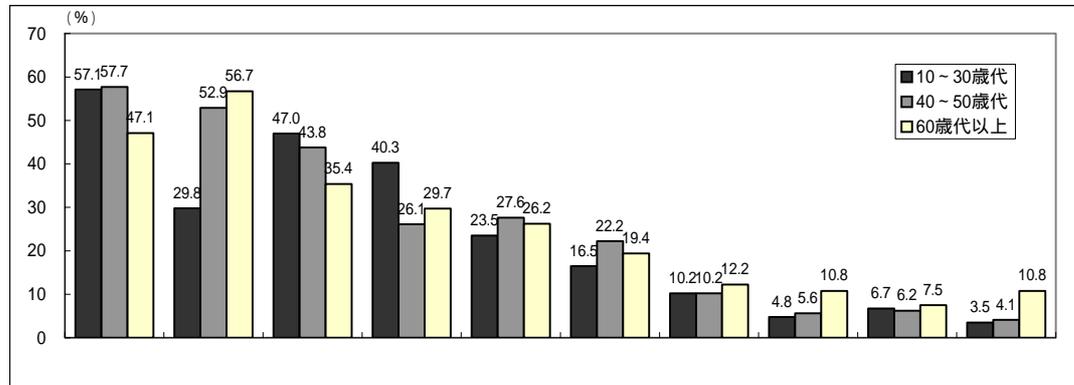
- ・佐原区では「自然環境に恵まれている」の比率が低く、「有名な祭事・イベントがある」は高くなっている。栗源区では「成田国際空港と至近距離にある」、「農業が盛んである」の比率が高い傾向が見られる。

《属性別グラフ》

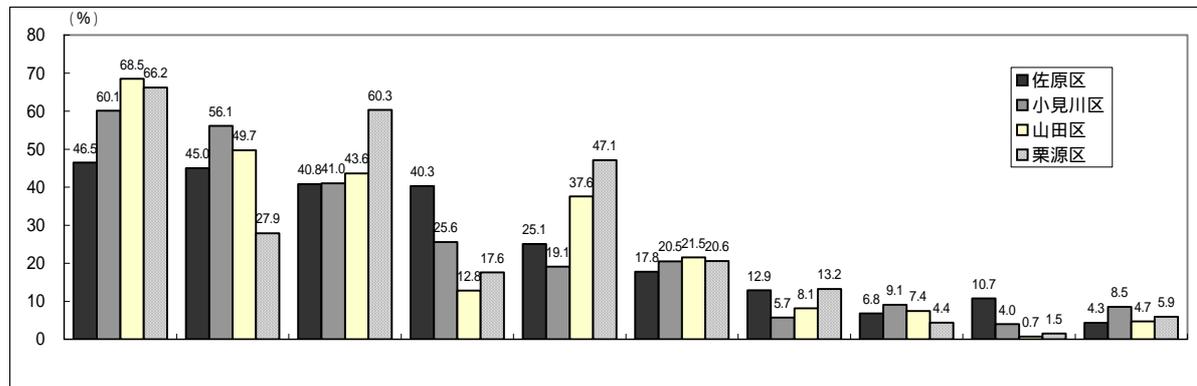
男女別



年齢別



居住地区別



自然環境に恵まれている

有名な祭事・イベントがある

おいしい食べ物や名産が多い

観光資源が豊富にある

気候が温暖で生活しやすい環境

農業が盛んである

住環境が良く快適な生活を送れる

外の人を温かく受け入れる市民性がある

成田国際空港と至近距離にある

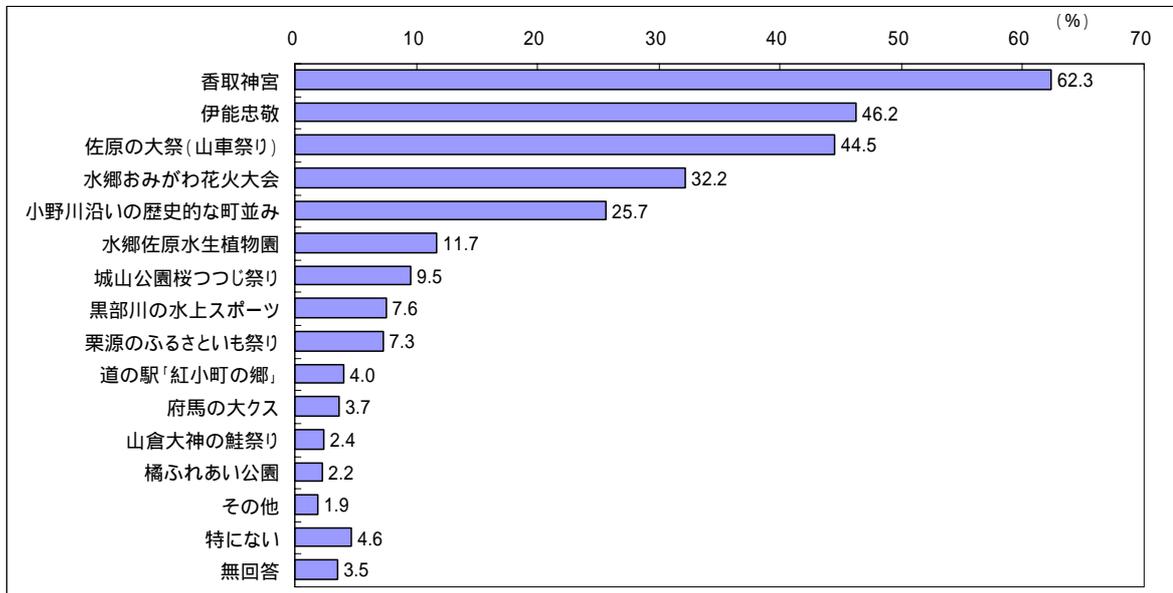
東京から1時間半程度でつかる

(2) 香取市が誇れるもの

問 あなたは、「香取市が誇れるもの」として何をあげますか。【MA、n = 1,274】

「香取神宮」をあげる回答が突出して多く、「伊能忠敬」、「佐原の大祭」が続いている。

香取市の誇りとしては「香取神宮」との回答が62.3%にのぼり、香取神宮に対する市民の意識の高さが見てとれる。以下、「伊能忠敬」(46.2%)、「佐原の大祭」(44.5%)、「水郷おみがわ花火大会」(32.2%)、「小野川沿いの歴史的な町並み」(25.7%)と続いており、全体的に歴史に関係するものが上位に位置づけられているといえる。



【属性別特徴】

男女別

- ・「水郷おみがわ花火大会」、「小野川沿いの歴史的な町並み」など、女性の比率が高い項目が多い。

年齢別

- ・全体で最も多い「香取神宮」は若年層で比率はやや低く、40～50歳代で高い。
- ・「佐原の大祭」、「水郷おみがわ花火大会」、「小野川沿いの歴史的な町並み」などは、若年層の方が比率が高い傾向が見られる。

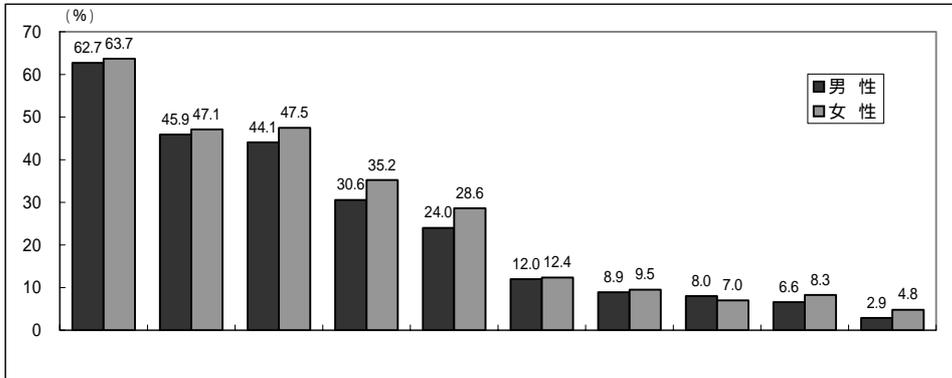
居住地区別

- ・佐原区で「伊能忠敬」、「佐原の大祭」、小見川区で「水郷おみがわ花火大会」、栗源区で「栗源のふるさととも祭り」、「道の駅 紅小町の郷」など、各地区に関係する項目で比率が高い傾向が見られる。

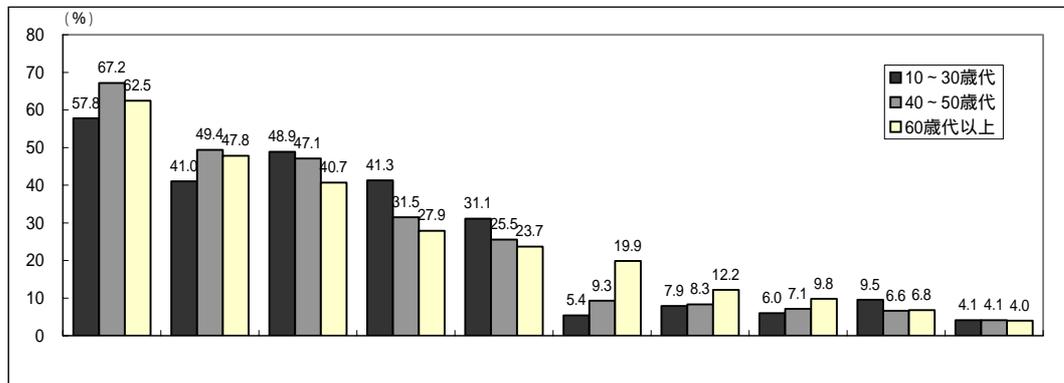
・ただし「香取神宮」は、各地区とも平均して比率は高くなっている。

《属性別グラフ》

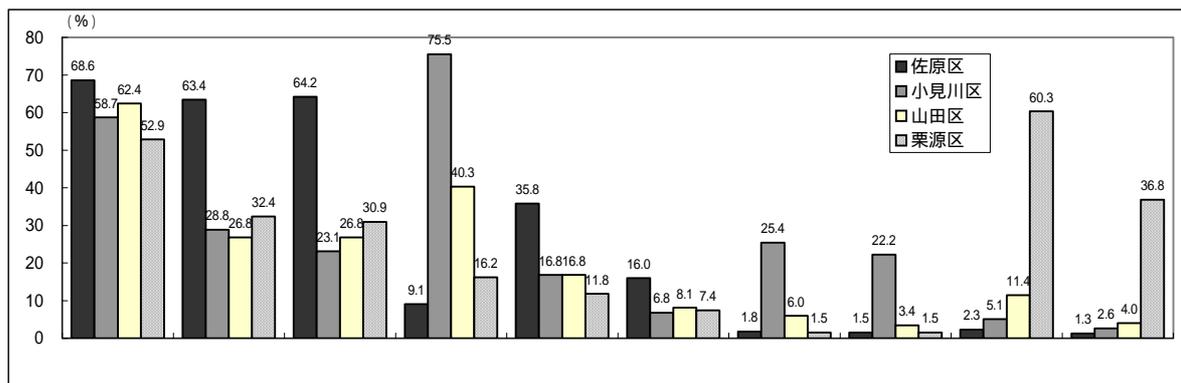
男女別



年齢別



居住地区別



香取神宮	伊能忠敬	佐原の大祭(山車祭り)
水郷おみがわ花火大会	小野川沿いの歴史的な町並み	水郷佐原水生植物園
城山公園桜つつじ祭り	黒部川の水の上スポーツ	栗源のふるさとも祭り
道の駅「紅小町の郷」		

3. 「香取市の将来像」について

(1) まちづくりで大切にしたいキーワード

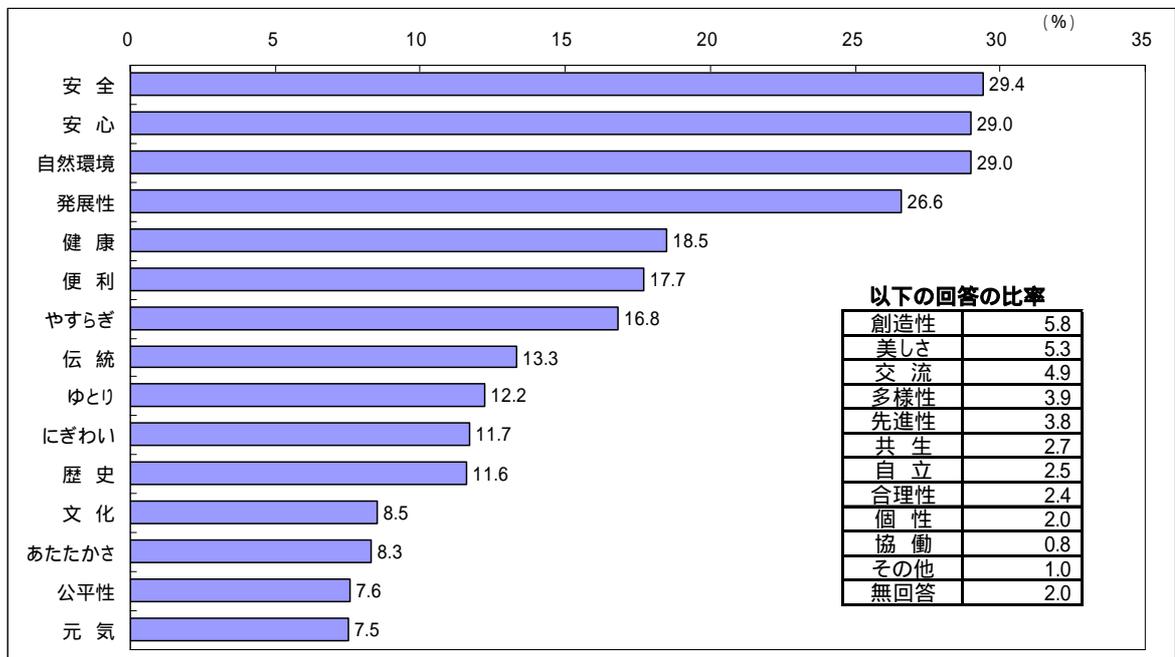
問 今後のまちづくりで大切にしたいと思われるキーワードをお選びください。

【MA、n = 1,274】

「安全」、「安心」、「自然環境」をあげる回答が多い。

まちづくりで大切にしたいキーワードとしては、「安全」、「安心」、「自然環境」の順で回答が多かった。市民の安全・安心についての関心の高さがうかがわれる。

逆に回答が少なかったキーワードは「協働」、「個性」などであった。



【属性別特徴】

男女別

- ・「安全」、「発展性」で女性の比率が高い。
- ・男性では、「やすらぎ」の比率が高い傾向にある。

年齢別

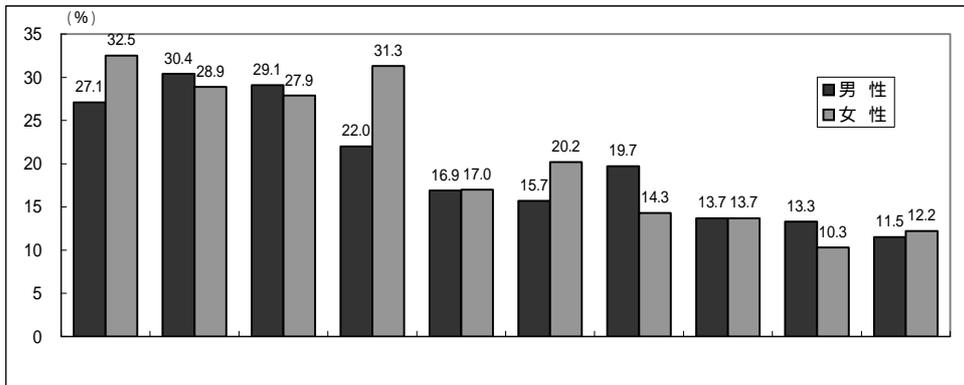
- ・若年層で「安全」のほか、「便利」、「伝統」の比率が高い。
- ・「自然環境」、「健康」などの項目は、年齢が高くなるほど比率も高くなる傾向が見られる。

居住地区別

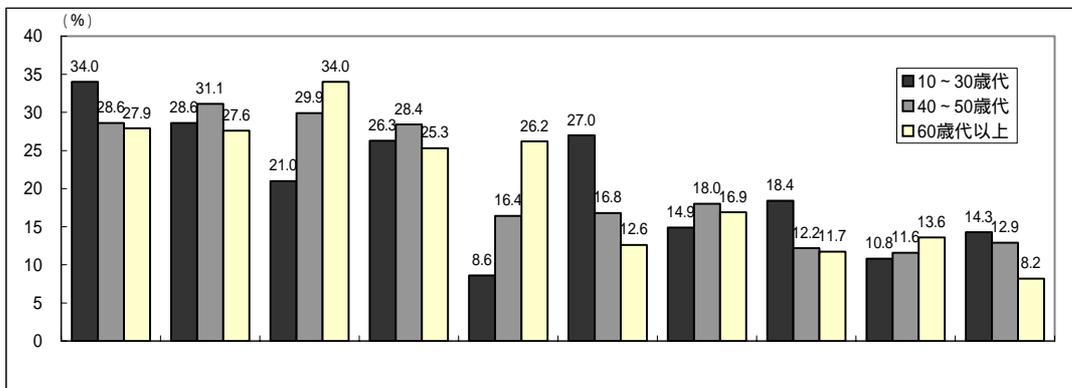
- ・佐原区で「発展性」、「伝統」、小見川区では「安心」、山田区では「健康」、栗源区では「安全」、「自然環境」などをあげる人が多くなっている。

《属性別グラフ》

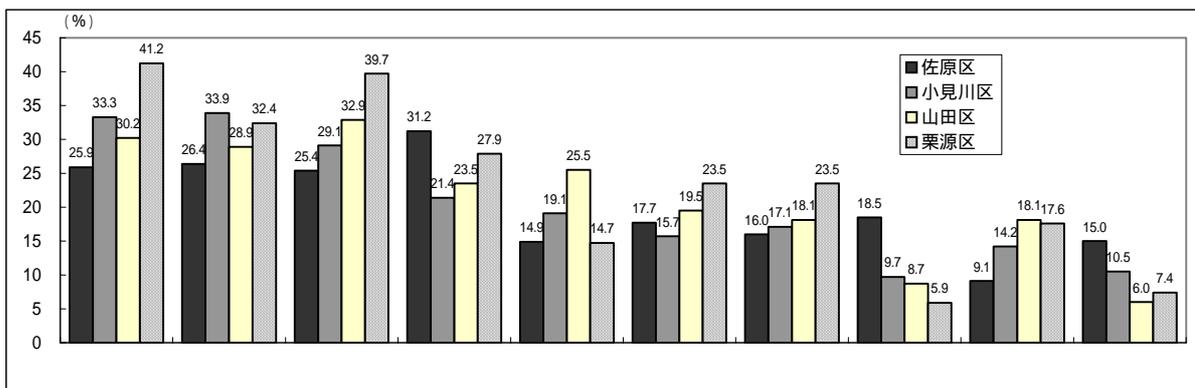
男女別



年齢別



居住地区別



安全	安心	自然環境
発展性	健康	便利
やすらぎ	伝統	ゆとり
にぎわい		

(2) 望まれる将来の都市の姿

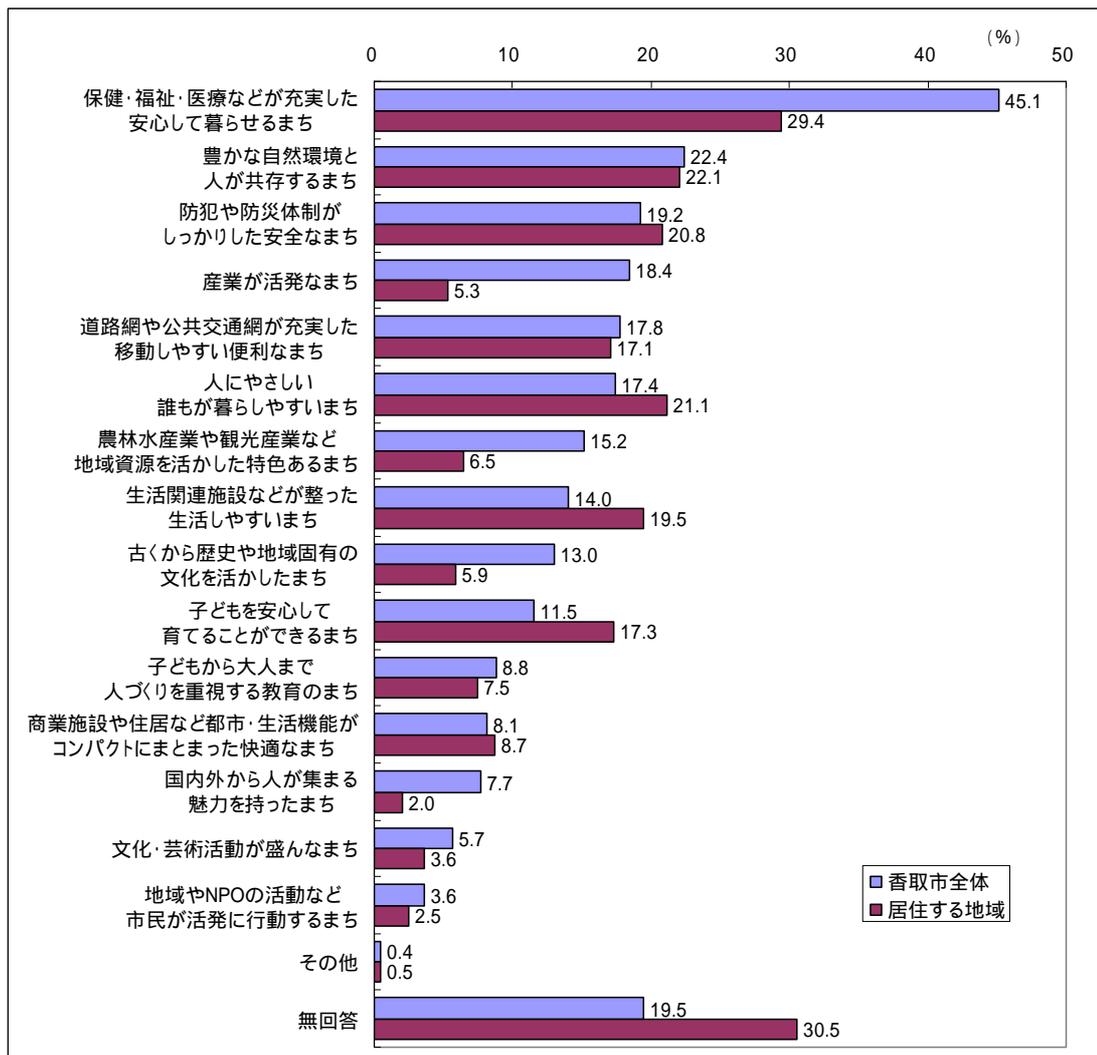
問 将来どのような都市になることを望まれますか。【MA、n = 1,274】

市全体、居住する地域とも、「保健・福祉・医療が充実した安心して暮らせるまち」を望む回答が最も多い。

市全体の将来都市像としては、45.1%と半数近い市民が「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」をあげており、この分野への関心の高さがうかがわれる。「豊かな自然環境と人が共存するまち」、「防犯や防災体制がしっかりした安全なまち」を望む声も大きい。

一方、居住する地域については、やはり「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」が首位ではあるが、その比率は、市全体のものより低くなっている。

その他、両者の比較では、「産業が活発なまち」、「農林水産業や観光産業など地域資源を活かした特色あるまち」などで市全体、「子どもを安心して育てることができるまち」などで居住する地域の方が、比率が高いことが目に付く。



【属性別特徴】

男女別

香取市全体

- ・女性で「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」がやや多くなっている。

居住する地域

- ・市全体と同じく、「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」で女性の比率が高い。「防犯や防災体制がしっかりした安全なまち」、「道路網や公共交通網が充実した移動しやすい便利なまち」などでも女性の比率が高い傾向が見られる。

年齢別

香取市全体

- ・「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」は、40～50歳代で比率が高い。
- ・若年層で「道路網や公共交通網が充実した移動しやすい便利なまち」、「人にやさしい誰もが暮らしやすいまち」、「古くから歴史や地域固有の文化を活かしたまち」、「子どもを安心して育てることができるまち」などの比率が高くなっている。

居住する地域

- ・「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」をはじめ、「道路網や公共交通網が充実した移動しやすい便利なまち」、「人にやさしい誰もが暮らしやすいまち」、「生活関連施設などが整った生活しやすいまち」、「子どもを安心して育てることができるまち」などの項目は、年齢が若い層ほど比率が高くなっている。
- ・40～50歳代で「豊かな自然環境と人が共存するまち」、「防犯や防災体制がしっかりした安全なまち」などの比率が高い。

居住地区別

香取市全体

- ・佐原区で「保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち」の比率が高く、「防犯や防災体制がしっかりした安全なまち」の比率が低い。
- ・山田区で「人にやさしい誰もが暮らしやすいまち」、栗源区で「豊かな自然環境と人が共存するまち」の比率が高くなっている。

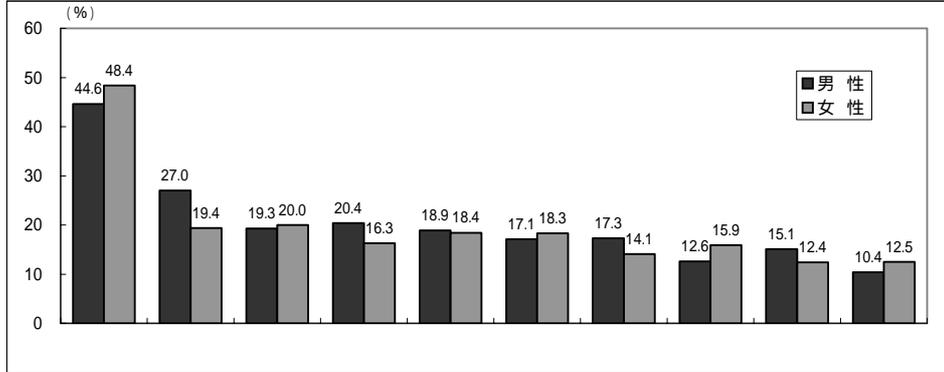
居住する地域

- ・栗源区で「豊かな自然環境と人が共存するまち」の比率が特に高いことが目立つ。

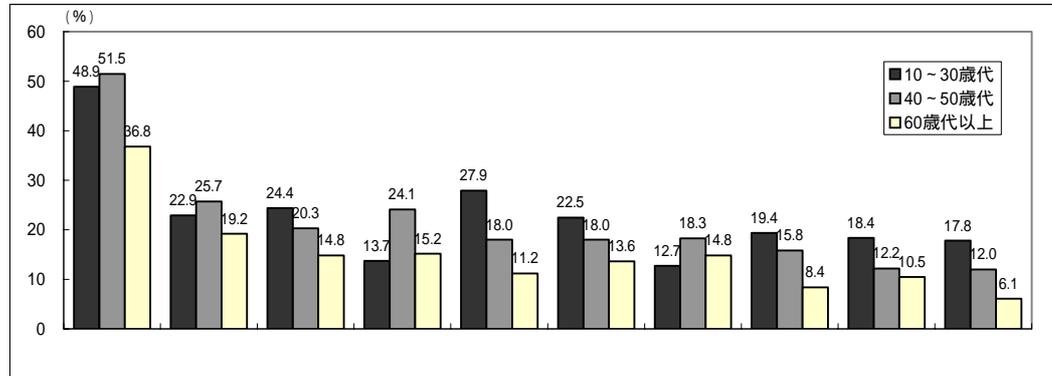
《属性別グラフ》

香取市全体

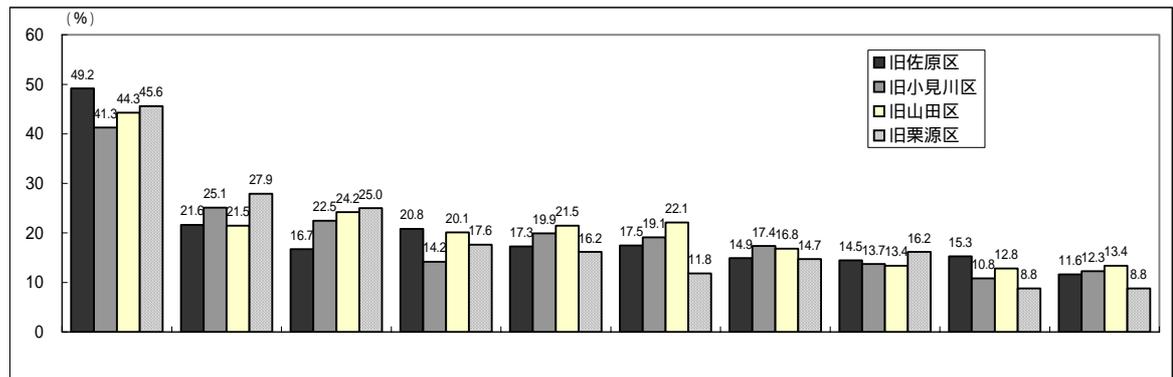
男女別



年齢別



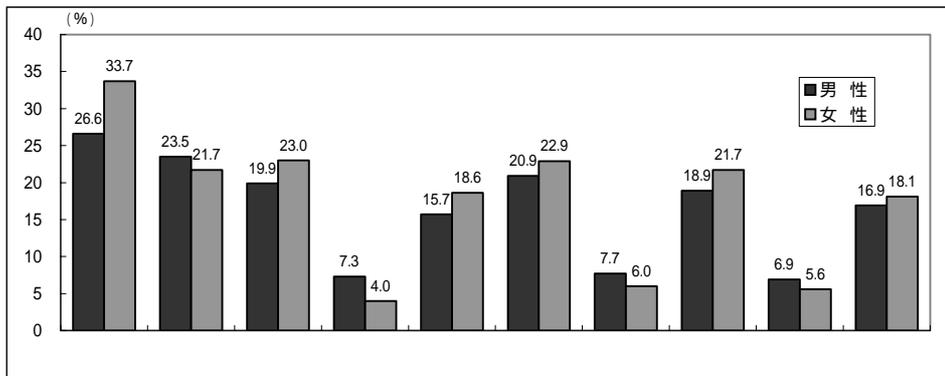
居住地区別



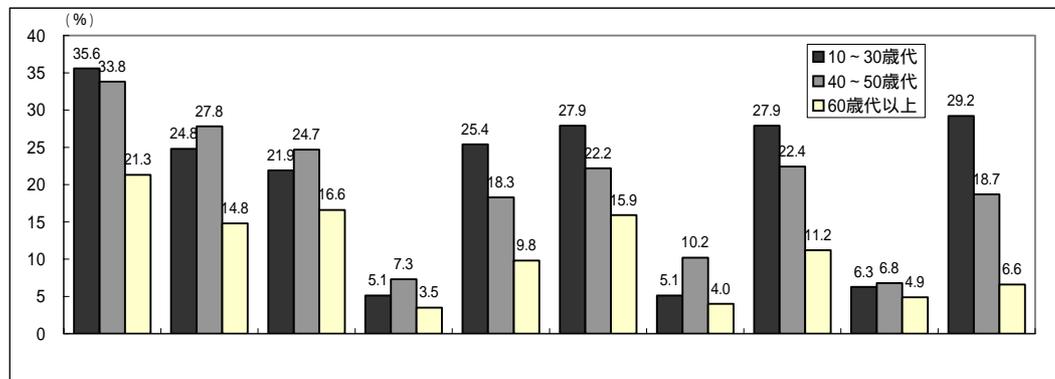
保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち	豊かな自然環境と人が共存するまち
防犯や防災体制がしっかりした安全なまち	産業が活発なまち
道路網や公共交通網が充実した移動しやすい便利なまち	人にやさしい誰もが暮らしやすいまち
農林水産業や観光産業など地域資源を活かした	生活関連施設などが整った
特色あるまち	生活しやすいまち
古くから歴史や地域固有の文化を活かしたまち	子どもを安心して育てることができるまち

居住する地域

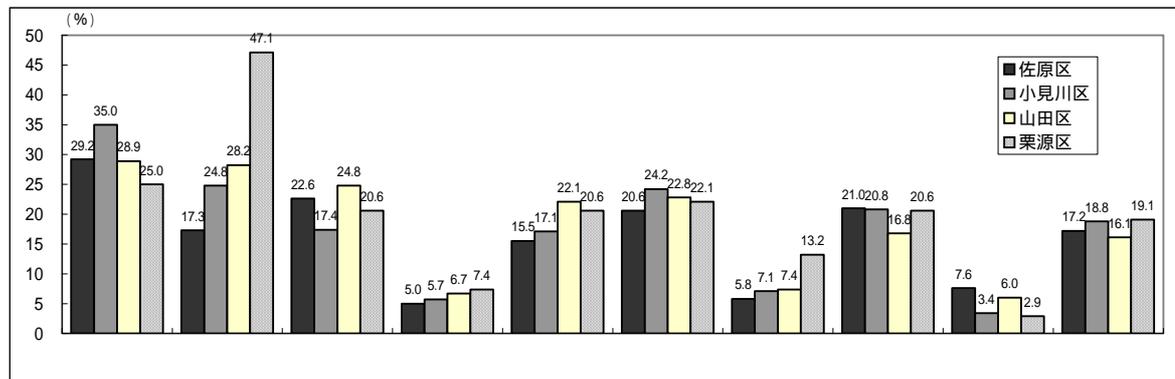
男女別



年齢別



【居住地区別】



保健・福祉・医療などが充実した安心して暮らせるまち
 防犯や防災体制がしっかりした安全なまち
 道路網や公共交通網が充実した移動しやすい便利なまち
 農林水産業や観光産業など地域資源を活かした
 特色あるまち
 古くから歴史や地域固有の文化を活かしたまち

豊かな自然環境と人が共存するまち
 産業が活発なまち
 人にやさしい誰もが暮らしやすいまち
 生活関連施設などが整った
 生活しやすいまち
 子どもを安心して育てることができるまち

4. 「これまでの行政の取組み」について

(1) まちづくりの満足度・重要度

問 これまで進めてきたまちづくりの「満足度」と、これから進めていく上での「重要度」について、項目ごと該当するものを選んでください。【SA、n = 1,274】

(注) 本問では、傾向をわかりやすくするために「無回答」を除いた回答を100%として表示している。

生活・環境分野

「不法投棄防止対策の強化」の満足度が低いことが目立つ。
「救急体制の充実」、「不法投棄防止対策の強化」などについて、重要度が高いと考えられている。

満足度は、「ごみの収集体制の充実」、「消防体制の充実」などで高く、「不法投棄防止対策の強化」が突出して低くなっている。

重要度は、「救急体制の充実」、「不法投棄防止対策の強化」などが高い傾向にある。

【属性別特徴】

男女別

・満足度指数、重要度指数とも、男女で大きな差異は見られない。

年齢別

・年齢が高い層で、満足度指数、重要度指数とも高い傾向が見られる。特に「ごみの収集体制の充実」、「救急体制の充実」などで、満足度指数が高くなっている。

居住地区別

・満足度指数は、佐原区で「救急体制の充実」、栗源区で「ごみの収集体制の充実」が低いことが目に付く。

「満足度指数」、「重要度指数」について

・本設問の属性別比較では、満足度、重要度の傾向を総合的に把握するために、各選択肢の比率(%)に一定の数値を乗じて求めた「満足度指数」、「重要度指数」という指標を設定し、分析を行った。(算出手法: 下記参照)

「満足度指数」

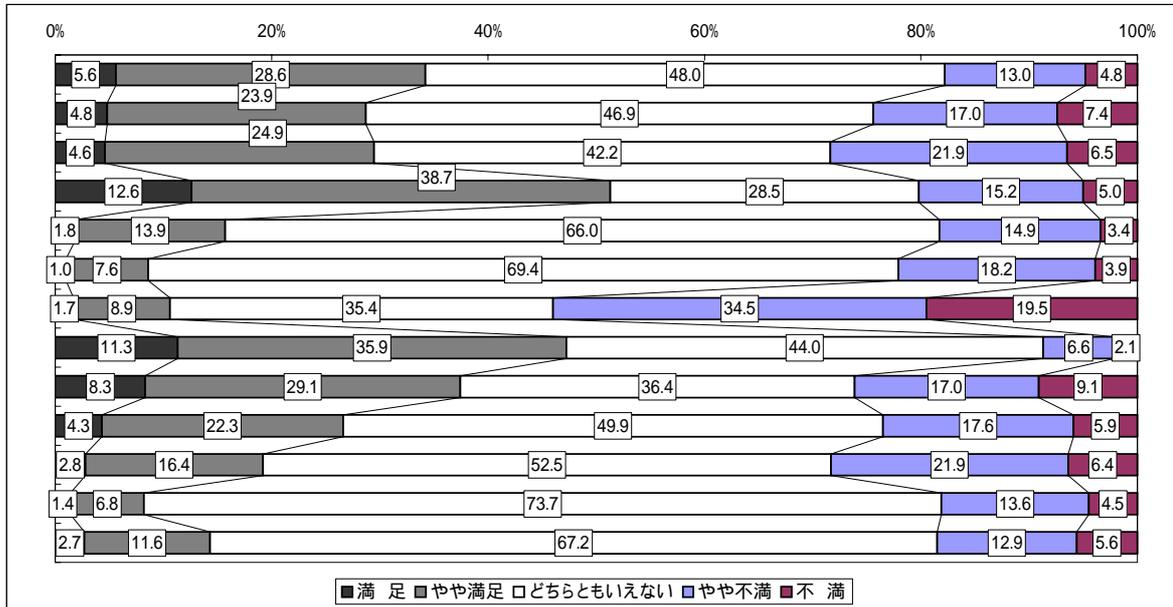
= 「満足」×2 + 「やや満足」×1 + 「やや不満」×(-1) + 「不満」×(-2)

「重要度指数」

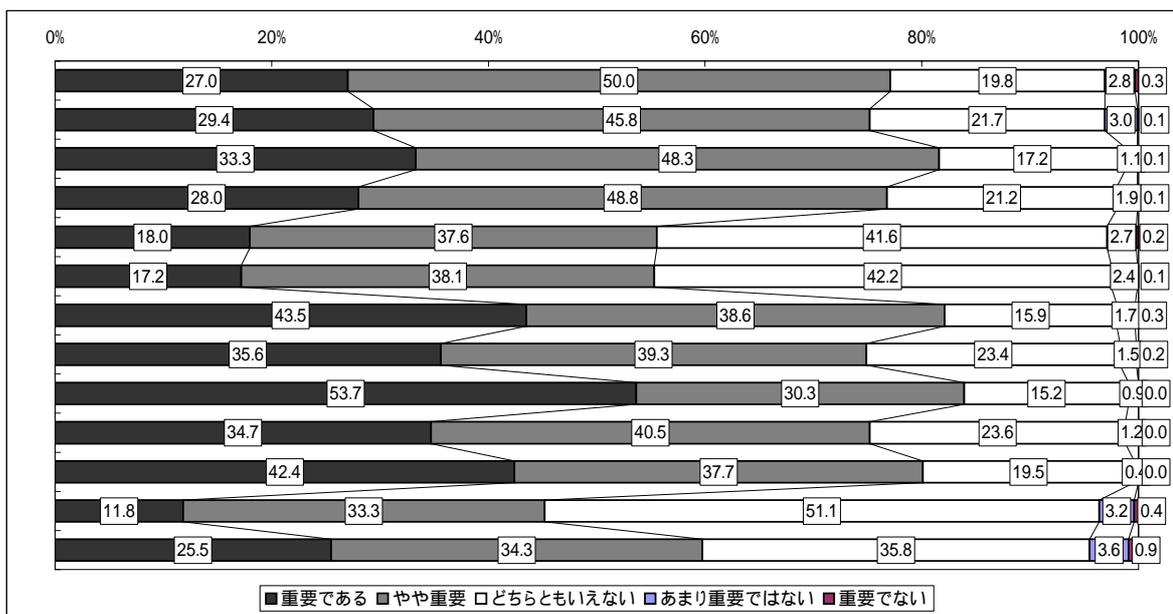
= 「重要」×2 + 「やや重要」×1 + 「あまり重要でない」×(-1) + 「重要でない」×(-2)

(全体像)

(満足度)



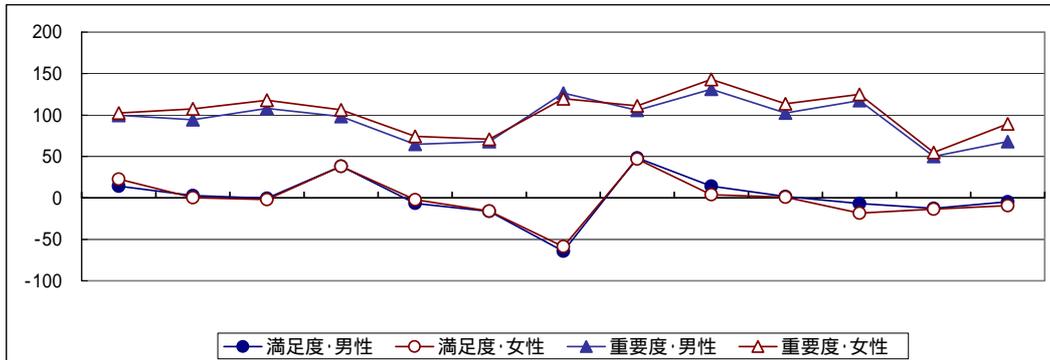
(重要度)



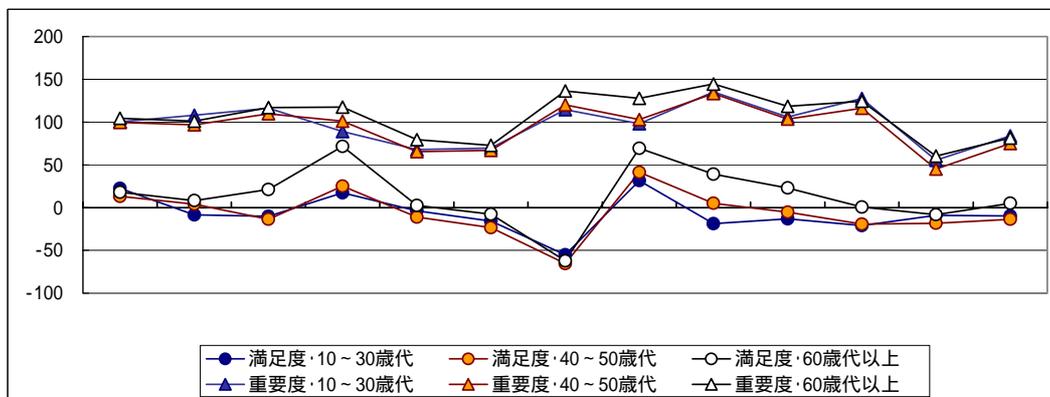
自然環境の保護・保全	大気汚染、騒音などの公害対策	
ごみの減量化・リサイクル活動の推進		ごみの収集体制の充実
環境教育や環境学習の推進	省エネルギーの推進	不法投棄防止対策の強化
消防体制の充実	救急体制の充実	交通安全対策の充実
防犯・治安対策の充実	消費者相談体制の充実	個人情報の保護の充実

《属性別グラフ》（「満足度指数」、「重要度指数」での比較。以下の属性別グラフも同様）

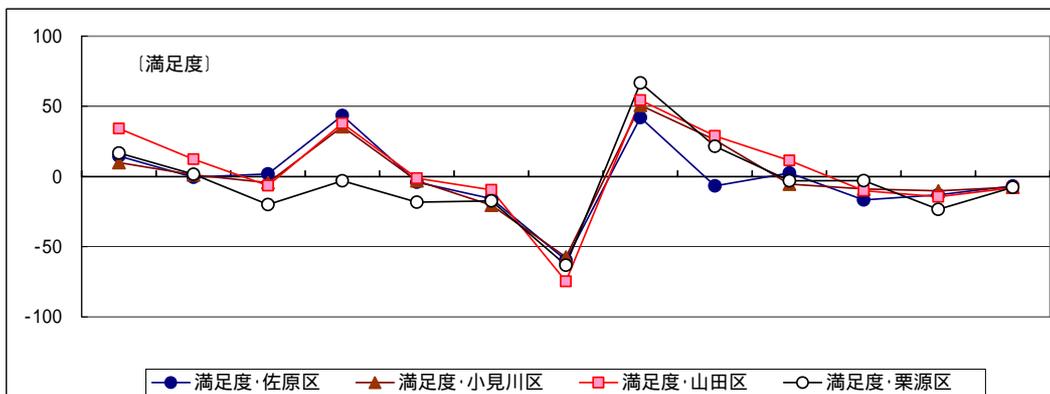
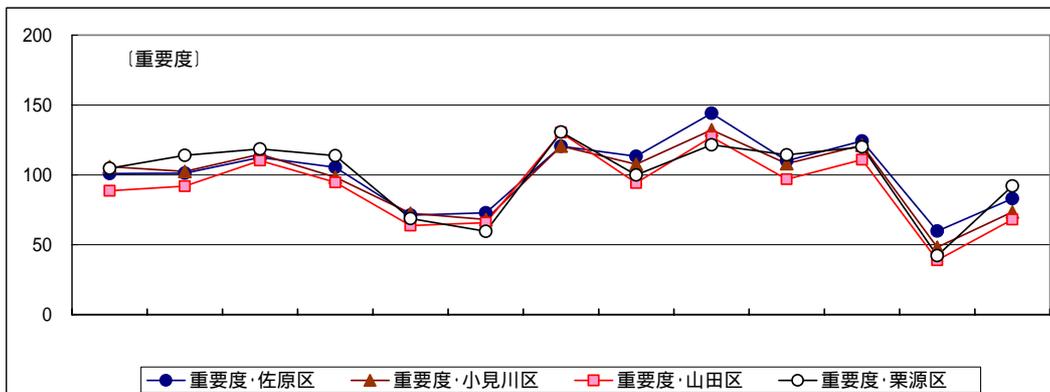
男女別



年齢別



居住地区別



「地域医療体制の充実」の満足度が突出して低い。
満足度が低い「地域医療体制の充実」は、重要度が高いと認識されている。

満足度は、「幼稚園・保育園の施設整備」、「保育サービスの充実」などの項目でやや高くなっている。逆に「地域医療体制の充実」は、「不満」「やや不満」の比率が他と比較して突出して高くなっている。

また重要度についても、「地域医療体制の充実」をあげる声が大きく、満足度の低さも考え合わせると、市としての大きな課題だと考えられる。

【属性別特徴】

男女別

- ・満足度指数については、男女で大きな差異は見られない。
- ・重要度指数を見ると、各項目について女性の方が重要と考えている傾向がやや強いことが見てとれる。

年齢別

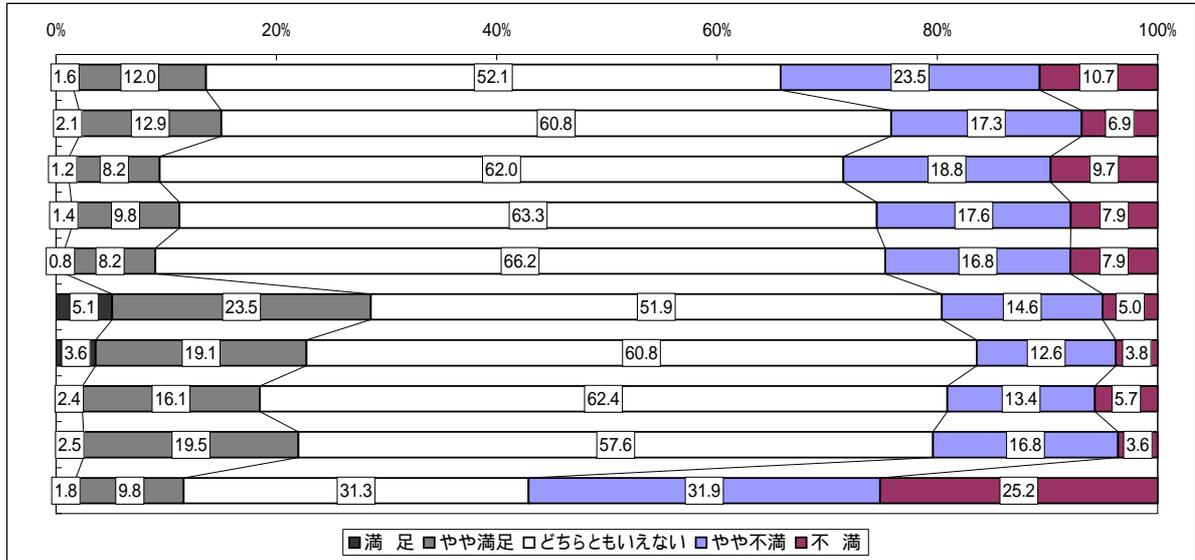
- ・満足度指数は「大規模入所福祉施設の整備」を除き、年齢が若いほど低い傾向が見られる。特に「幼稚園・保育園の施設整備」などで、その差が大きくなっている。
- ・重要度指数は、年齢が高い層で全体的に高い傾向にある。特に「大規模入所福祉施設の整備」などでその差が大きい。

居住地区別

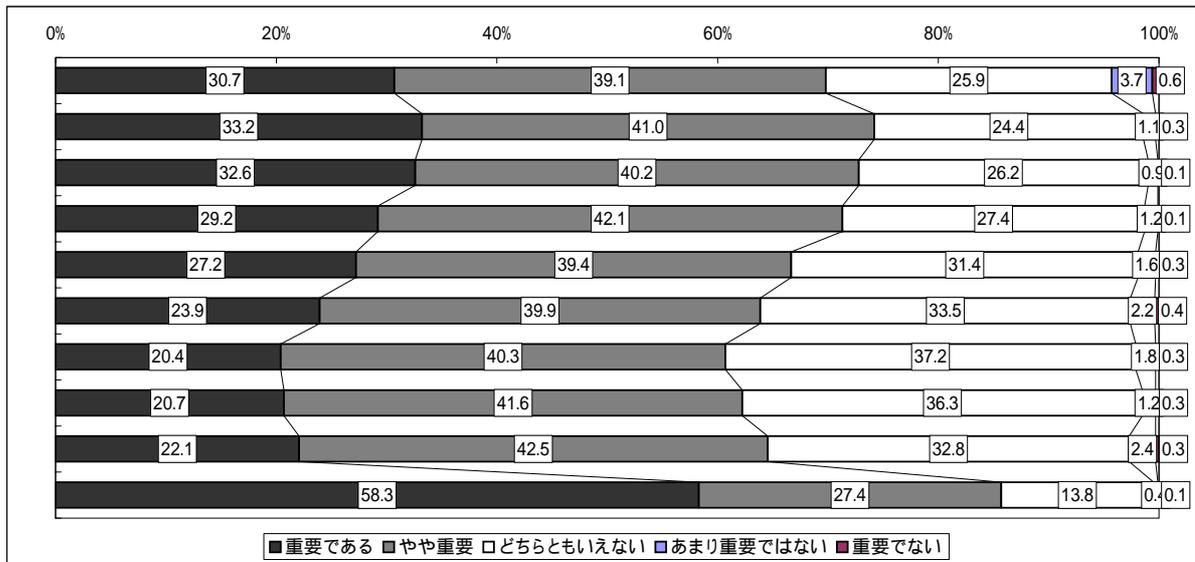
- ・満足度指数は、佐原区で「大規模入所福祉施設の整備」、「地域医療体制の充実」が低い。山田区は、「保育サービスの充実」、「学童保育の充実」をはじめ、他地区と比較して、比率が高い項目が多くなっている。
- ・重要度指数は、佐原区で「地域医療体制の充実」が高いことが目に付く。

(全体像)

(満足度)



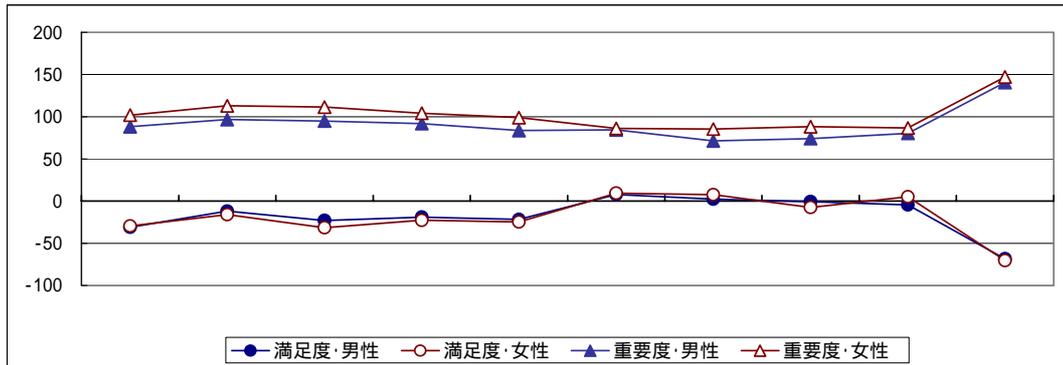
(重要度)



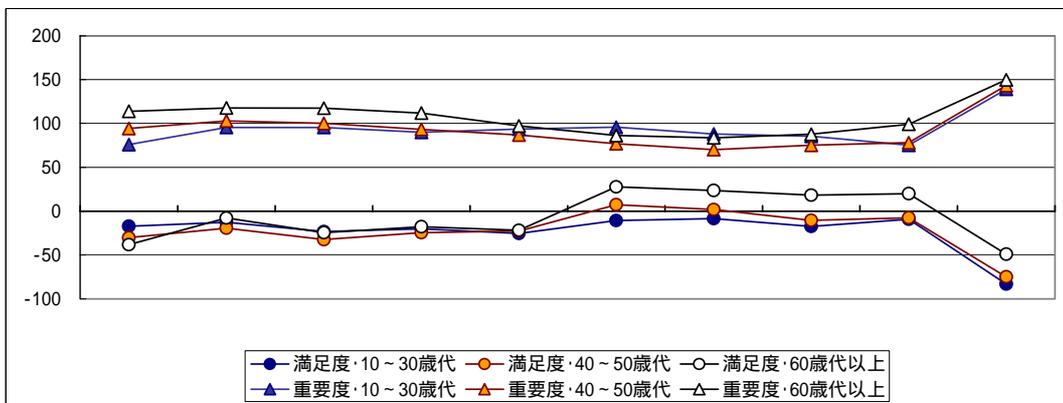
大規模入所福祉施設の整備	在宅介護サービスの充実	認知症高齢者に対する支援
介護予防活動の充実	障害者の自立社会生活支援	幼稚園・保育園の施設整備
保育サービスの充実	学童保育の充実	健康管理や健康づくりの促進
地域医療体制の充実		

《属性別グラフ》

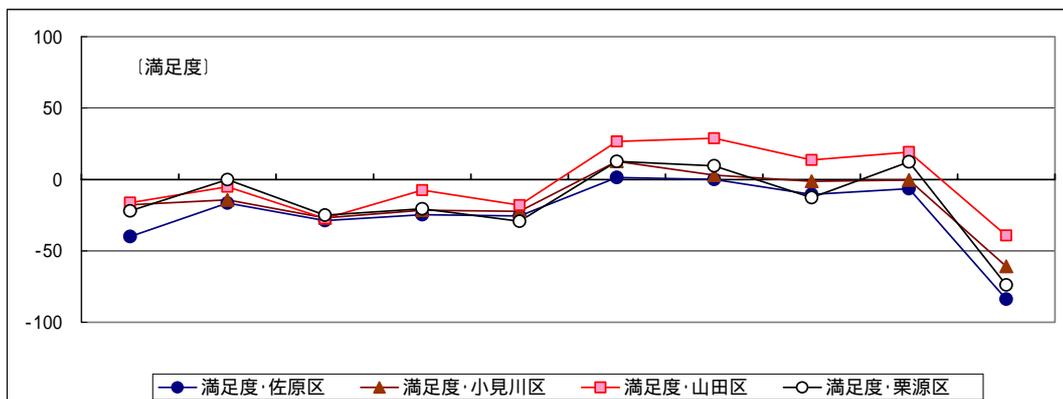
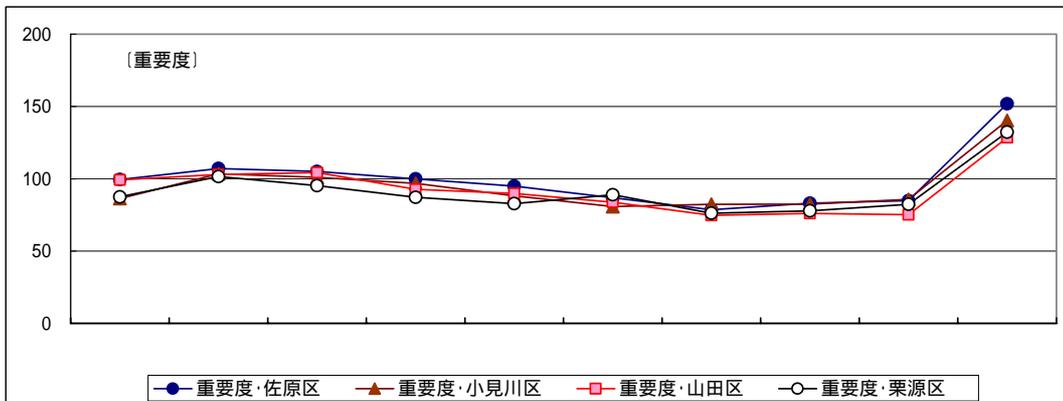
男女別



年齢別



居住地区別



「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」などを不満とする回答がやや多い。
「学校教育の充実」をはじめ、子どもの教育に関する項目で重要度が高い。

満足度は「文化財の保存・整備・活用」、「伝統文化の継承」などで高い傾向が見られる。一方、「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」などは、他の項目と比較して、「不満」「やや不満」の比率がやや高くなっている。

重要度については、「学校教育の充実」、「青少年の健全育成」、「学校施設の耐震化」などをあげる声が多い。子どもの教育に関する項目への関心の高さがうかがわれる。

【属性別特徴】

男女別

- ・満足度指数、重要度指数とも、各項目で男女での大きな差異は見られない。

年齢別

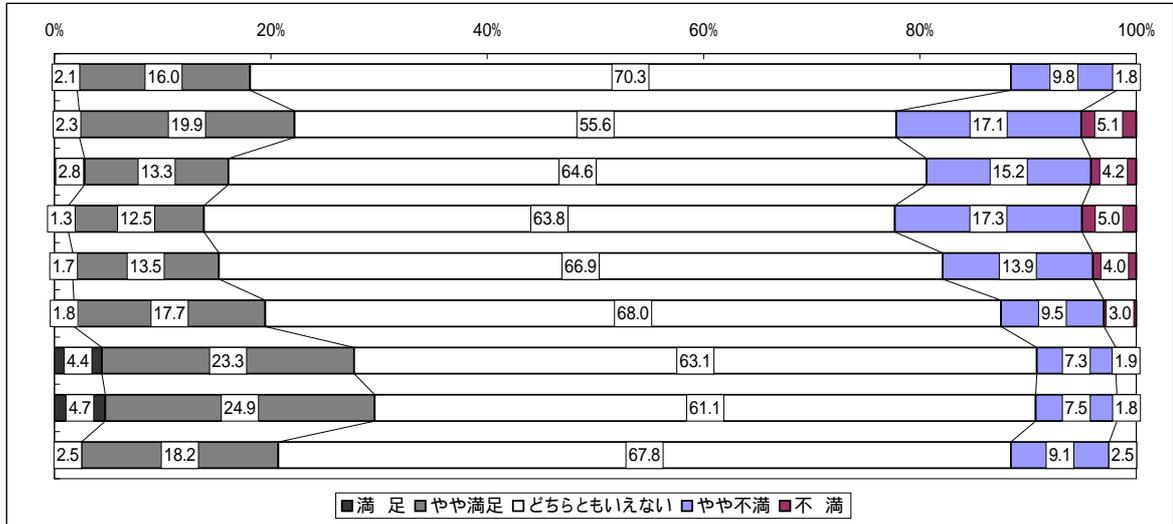
- ・満足度指数、重要度指数とも、各項目で年齢階層による大きな差異は見られない。

居住地区別

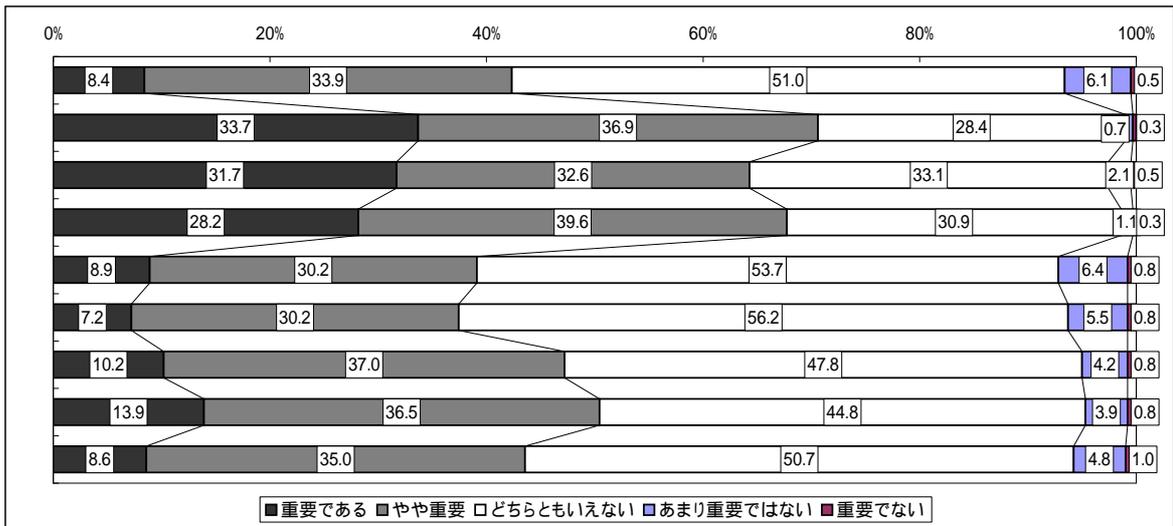
- ・満足度指数では、山田区で「学校教育の充実」が、佐原区で「文化財の保存・整備・活用」、「伝統文化の継承」が高いことなどが目立つ。
- ・「文化・芸術活動の振興」、「文化財の保存・整備・活用」、「伝統文化の継承」などの項目で、佐原区の重要度指数が高くなっている。

(全体像)

【満足度】



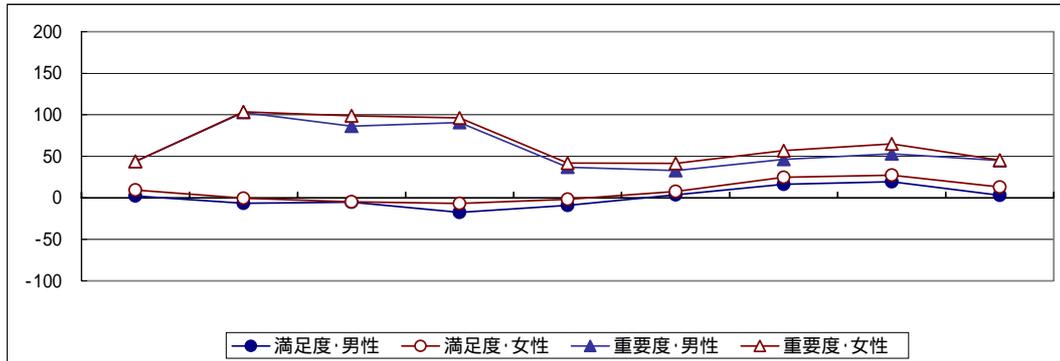
【重要度】



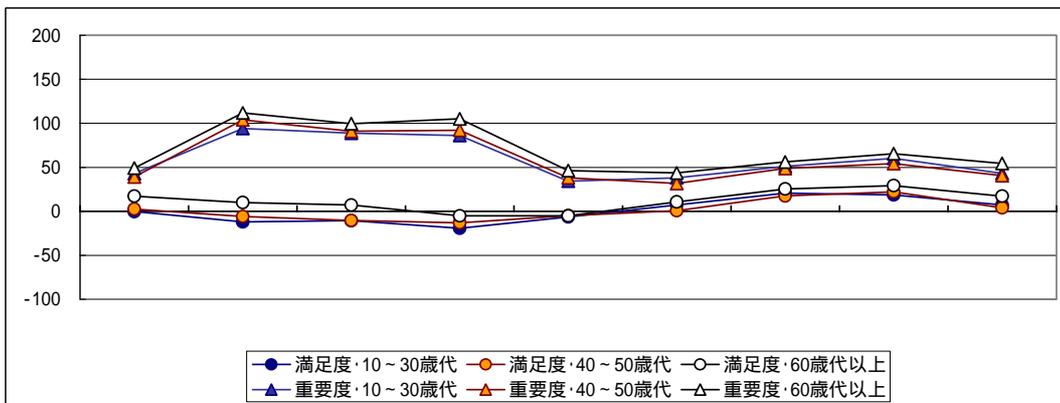
生涯学習の充実	学校教育の充実	学校施設の耐震化
青少年の健全育成	学校施設の地域開放の推進	文化・芸術活動の振興
文化財の保存・整備・活用	伝統文化の継承	スポーツ活動の振興

《属性別グラフ》

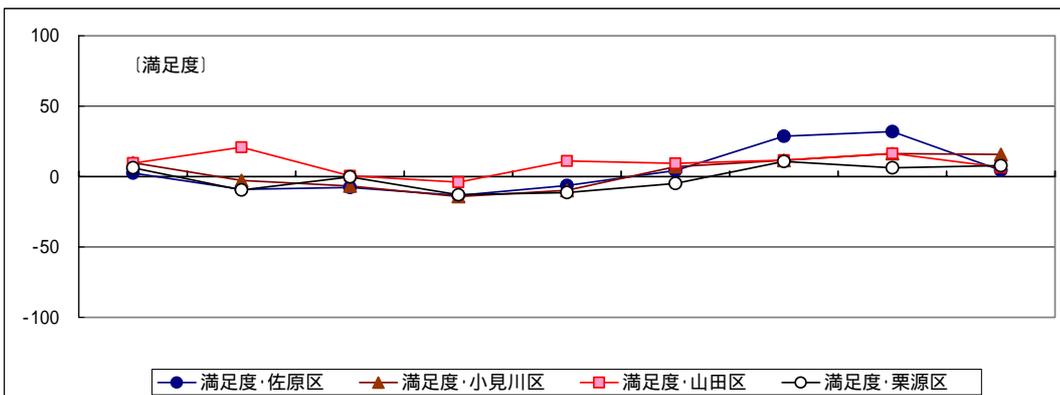
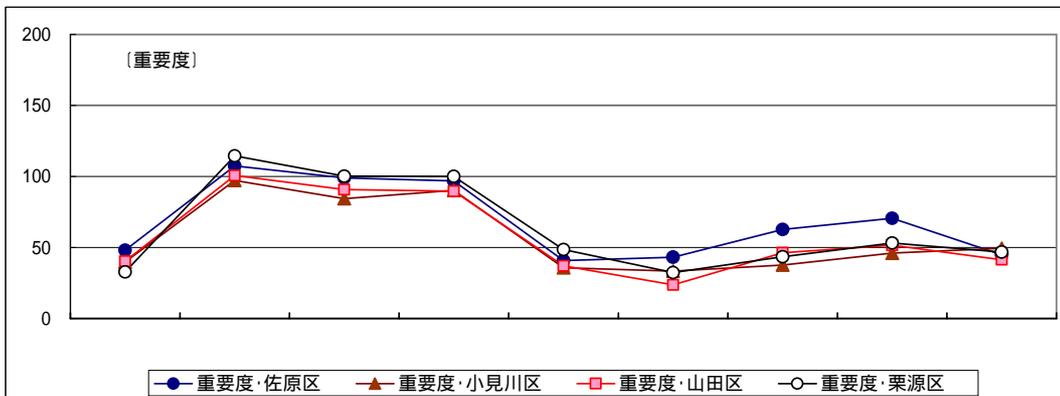
男女別



年齢別



居住地区別



「企業誘致の推進」「商業の振興」などで満足度が低い。
農業・商業関係、企業誘致、観光振興で重要度が高くなっている。

「観光の振興」で「満足」「やや満足」と回答した比率が他の項目と比較して大きくなっている。「安全・安心な農産物生産等の推進」、「農業の振興」などもその傾向が見られる。一方、「不満」「やや不満」の比率が多い項目としては、「企業誘致の推進」、「商業の振興」、「工業の振興」、また「農業の担い手の育成」などがあげられる。

重要度については、「安全・安心な農産物生産等の推進」、「農業の担い手の育成」、「農業の振興」といった農業関係の項目に加え、「商業の振興」、「企業誘致の推進」、「観光の振興」などで「重要」「やや重要」との回答が多く見られた。逆に、「内水面漁業の振興」、「林業の振興」は「重要」「やや重要」とする回答は少なくなっている。

【属性別特徴】

男女別

- ・満足度指数では、男性の方が低い項目が目立つ。「工業の振興」、「企業誘致の推進」などで特にその傾向が見られる。
- ・重要度指数も「企業誘致の推進」などで男性の比率の方がやや高くなっている。

年齢別

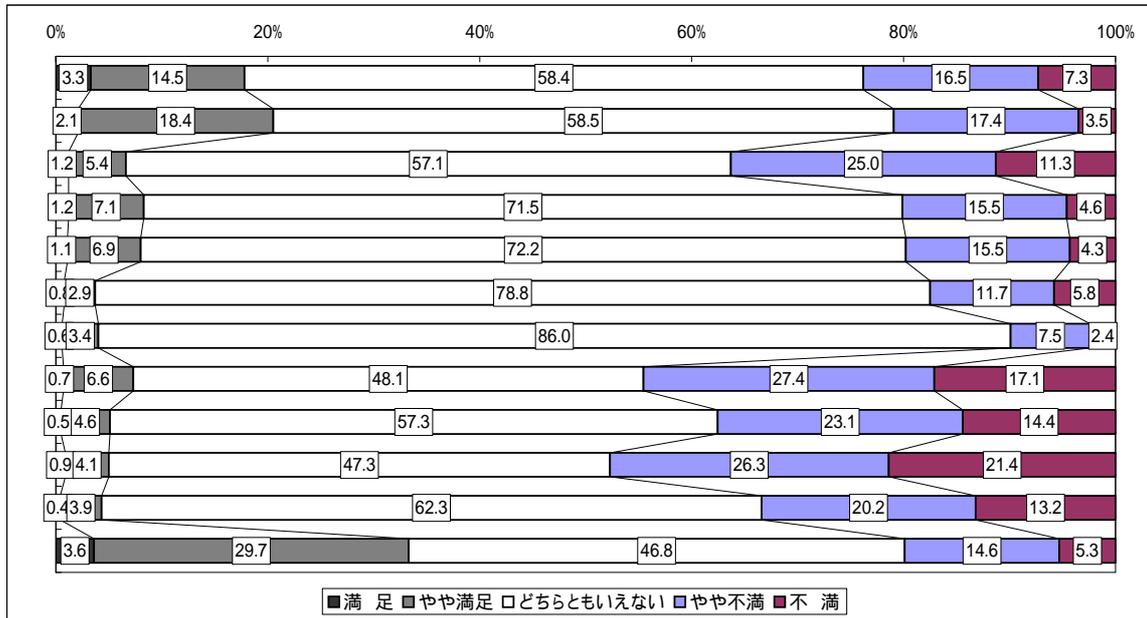
- ・満足度指数では、若年層で「農業の振興」の比率が高く、「観光の振興」が低い傾向が見られる。
- ・重要度指数は、年齢が高い層ほど高くなっている項目が多い。

居住地区別

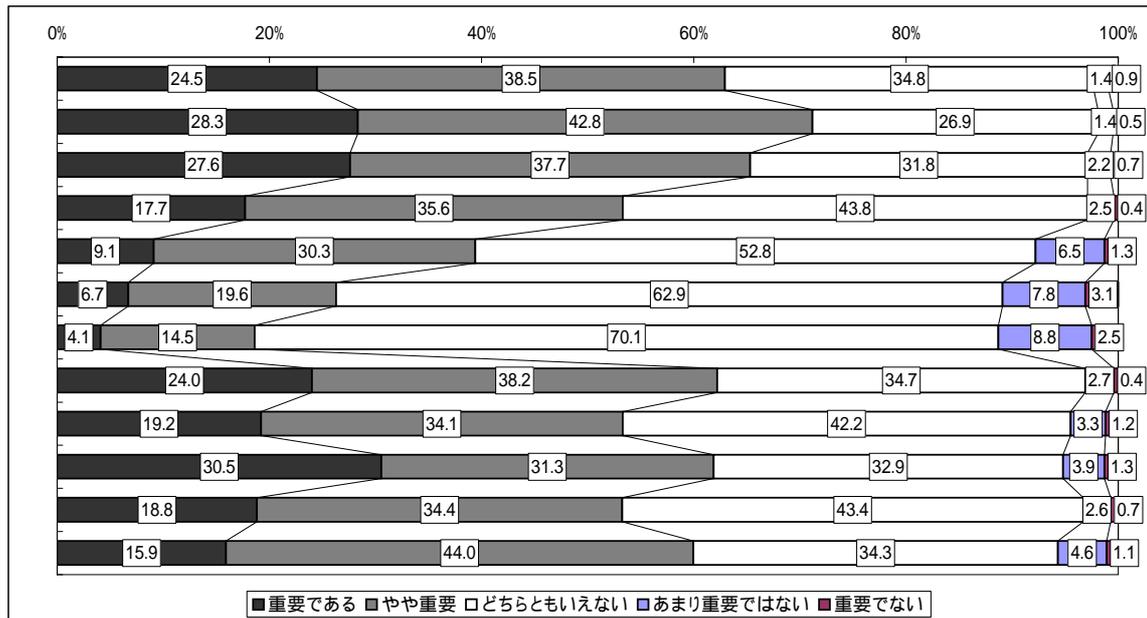
- ・満足度指数は、「企業誘致の推進」をはじめ「商業の振興」、「新規起業者の支援」などで佐原区の比率が低い。また、栗源区では「農業の担い手の育成」の比率が低くなっている。
- ・重要度指数は、佐原区で「企業誘致の推進」や「商業の振興」、「工業の振興」などの項目、栗源区で「農業の振興」など農業に関する項目の比率が高くなっている。

(全体像)

(満足度)



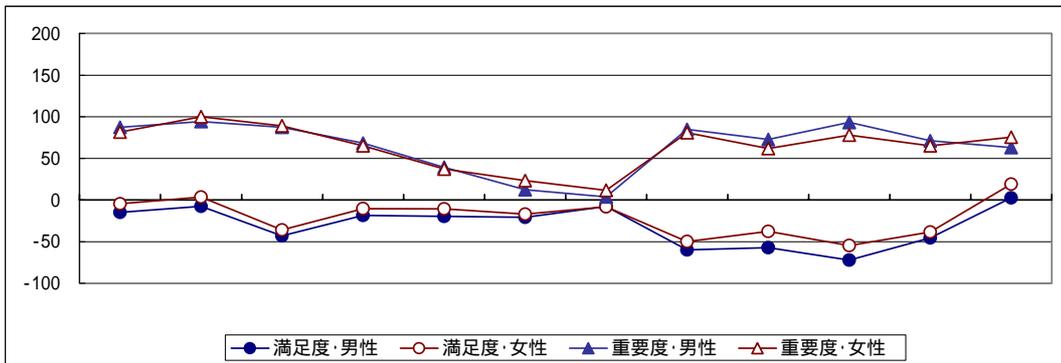
(重要度)



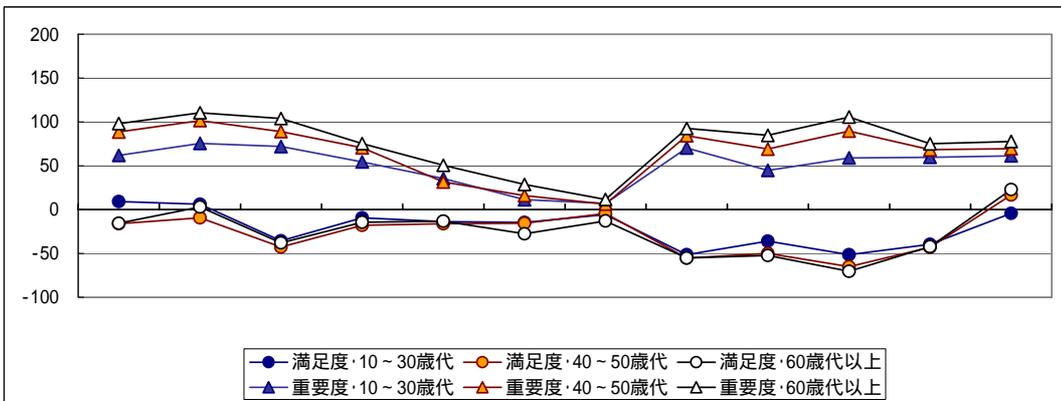
農業の振興	安全・安心な農産物生産等の推進	農業の担い手の育成
環境保全型農業の促進	都市と農村の交流の促進	林業の振興
内水面漁業の振興	商業の振興	工業の振興
企業誘致の推進	新規起業者の支援	観光の振興

《属性別グラフ》

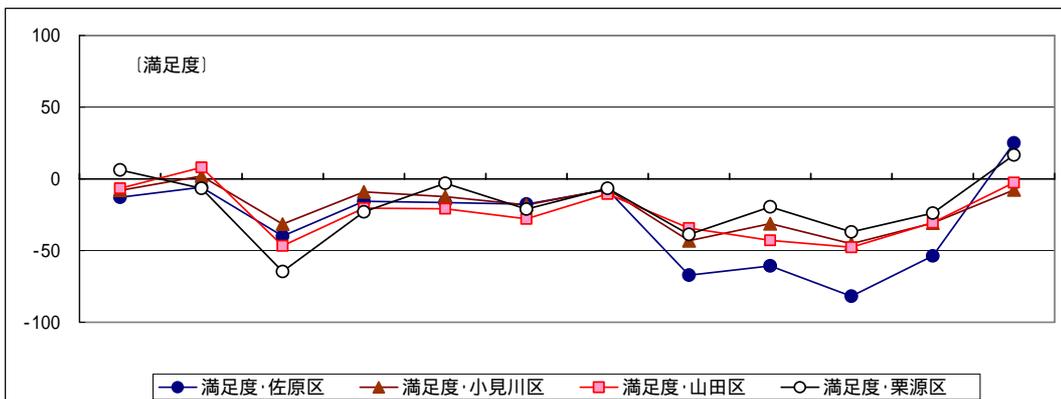
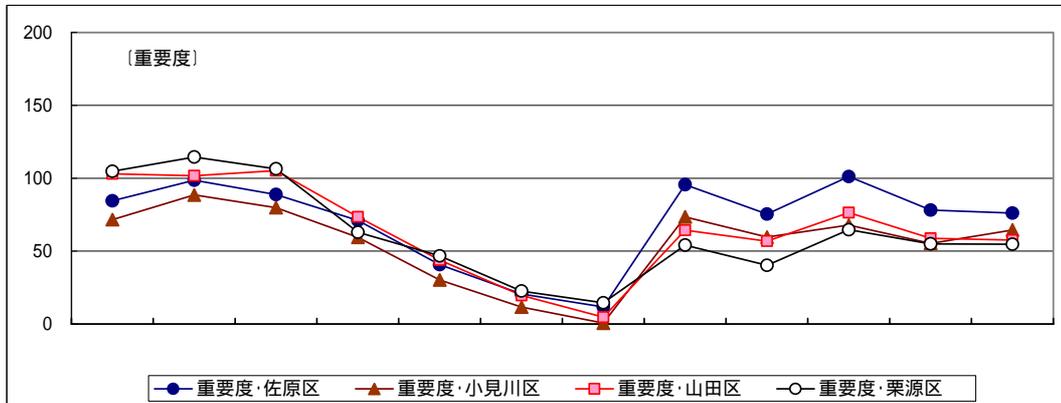
男女別



年齢別



居住地区別



「駅周辺既成市街地の整備」、「中心市街地の活性化」、「公共交通網の利用のしやすさ」で満足度が低い。
満足度が低い「駅周辺既成市街地の整備」、「中心市街地の活性化」で、重要度が高いと考えられている。

「上水道の整備」で「満足」「やや満足」とした比率が高くなっている。逆に「駅周辺既成市街地の整備」、「中心市街地の活性化」、「公共交通網の利用のしやすさ」などの項目では、「不満」「やや不満」とする回答が目立っている。

重要度が高いとされた項目としては、満足度が低かった「駅周辺既成市街地の整備」、「中心市街地の活性化」のほか、「下水道など排水処理の整備」、「身近な生活道路の整備」などがあげられた。

【属性別特徴】

男女別

- ・満足度指数は、男女で大きな差異は見られない。
- ・重要度指数では、「バリアフリー対策」で女性の比率が高いことが目に付く。

年齢別

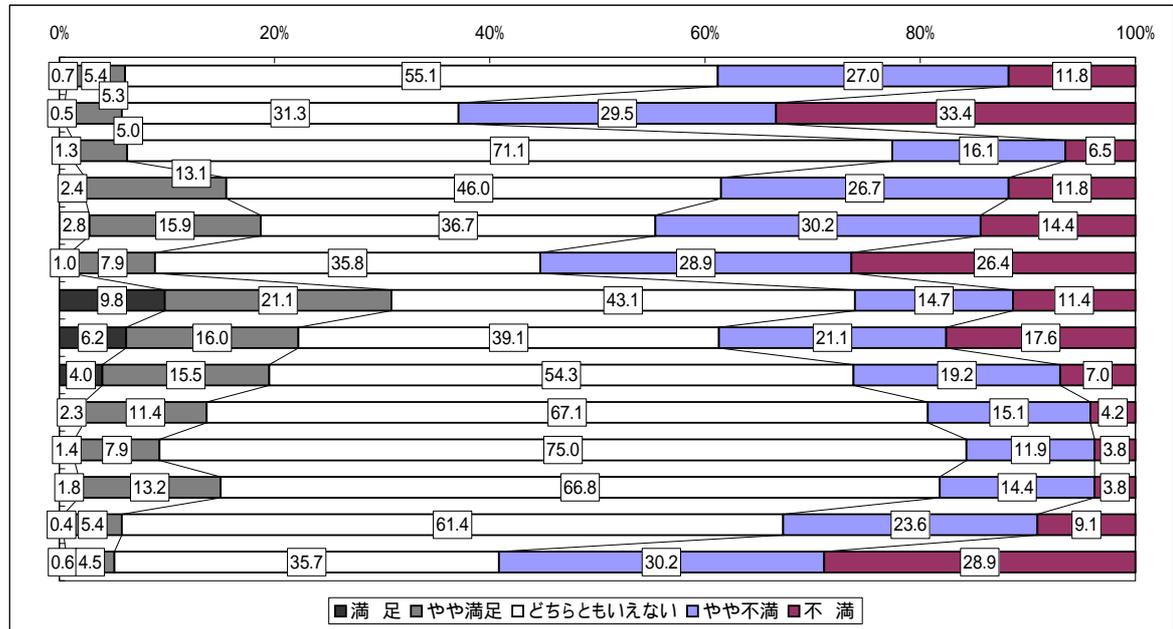
- ・満足度指数は、「公共交通網の利用のしやすさ」、「上水道の整備」、「下水道など排水処理の整備」などで、年齢が高い層と比較して、50歳代以下の層で低い傾向が顕著に見られる。
- ・「上水道の整備」、「下水道など排水処理の整備」などでは、年齢が高くなるほど重要度指数は高い傾向となっている。

居住地区別

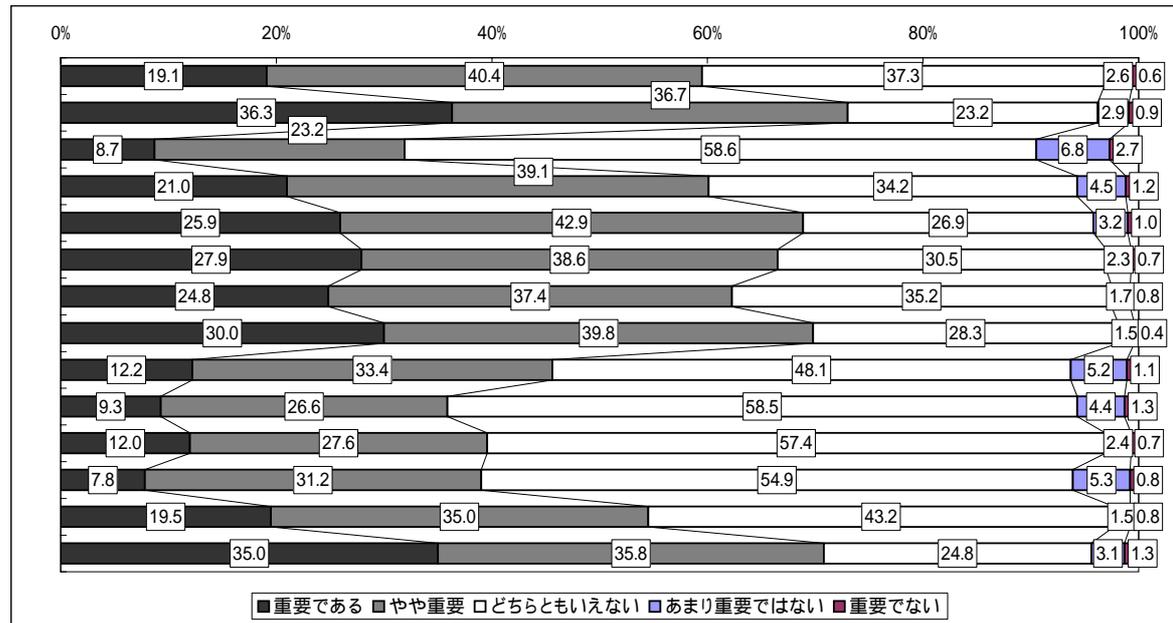
- ・満足度指数は、佐原区で「駅周辺既成市街地の整備」、「中心市街地の活性化」が他を大きく下回っている。また、栗源区では「公共交通網の利用のしやすさ」、「下水道など排水処理の整備」が低くなっている。
- ・重要度指数は、佐原区で「駅周辺既成市街地の整備」、「中心市街地の活性化」が高いことが目立つ。

(全体像)

(満足度)



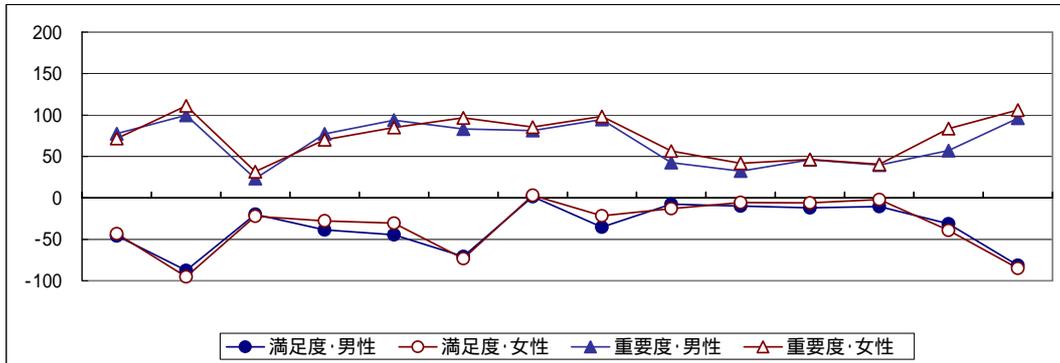
(重要度)



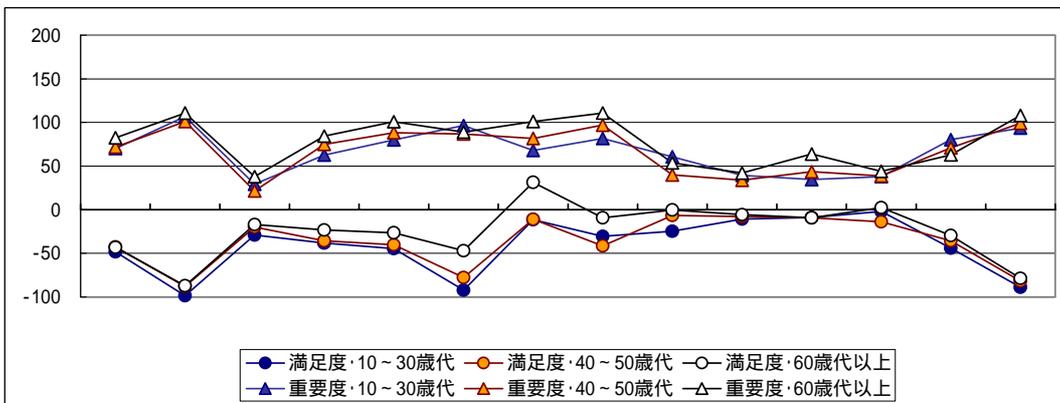
計画的な土地利用の推進	駅周辺既成市街地の整備	市営住宅の整備
幹線道路の整備	身近な生活道路の整備	公共交通網の利用のしやすさ
上水道の整備	下水道など排水処理の整備	公園・緑地の整備
水辺空間の整備	治山治水対策の推進	良好な景観の形成
バリアフリー対策	中心市街地の活性化	

《属性別グラフ》

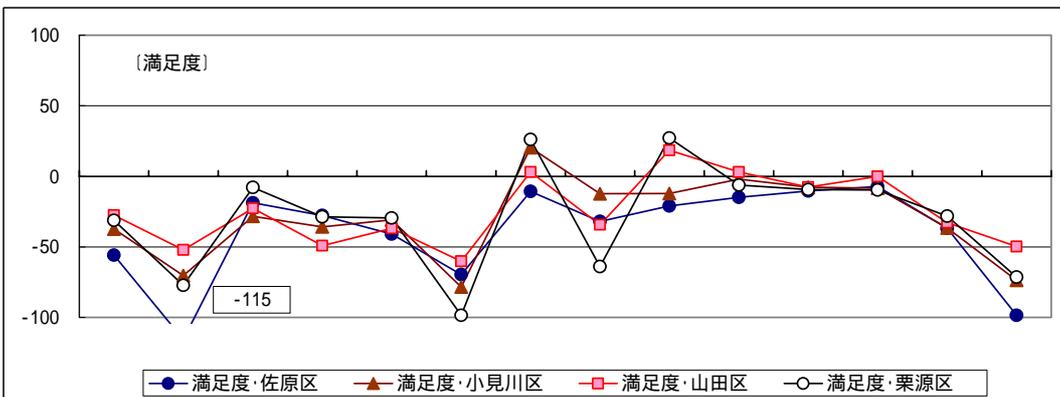
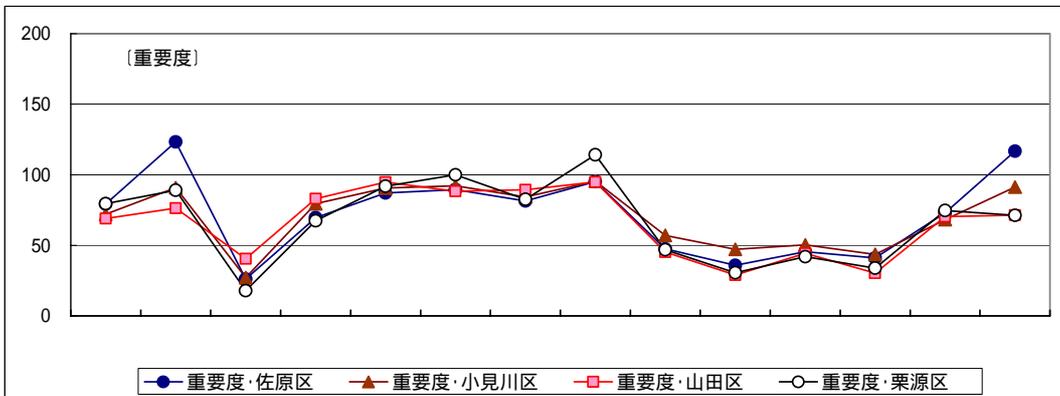
男女別



年齢別



居住地区別



満足度、重要度とも「どちらともいえない」との回答が多い。
「地域活動に対する支援の充実」などの重要度がやや高くなっている。

都市経営分野の各項目は、他の分野と比較して満足度、重要度とも「どちらともいえない」との回答の比率が高くなっている。

重要度に関しては、「地域活動に対する支援の充実」、「情報公開制度の充実」、「市民活動に対する支援の充実」で「重要」「やや重要」との回答がやや多くなっている。

【属性別特徴】

男女別

- ・満足度指数、重要度指数とも、男女で大きな差異は見られない。

年齢別

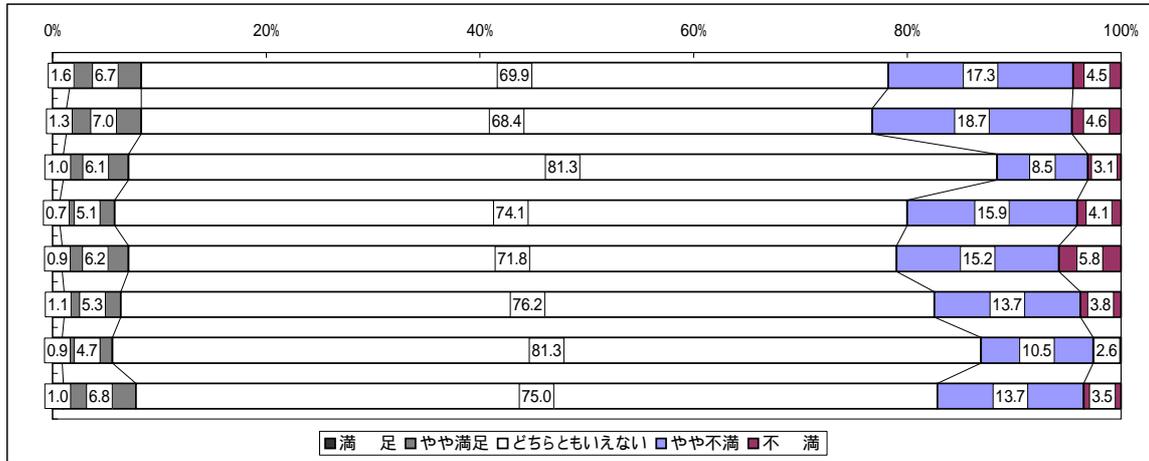
- ・満足度指数は、年齢による大きな差異は見られない。
- ・重要度指数では、年齢が高い層ほど、高い項目が多くなっている。

居住地区別

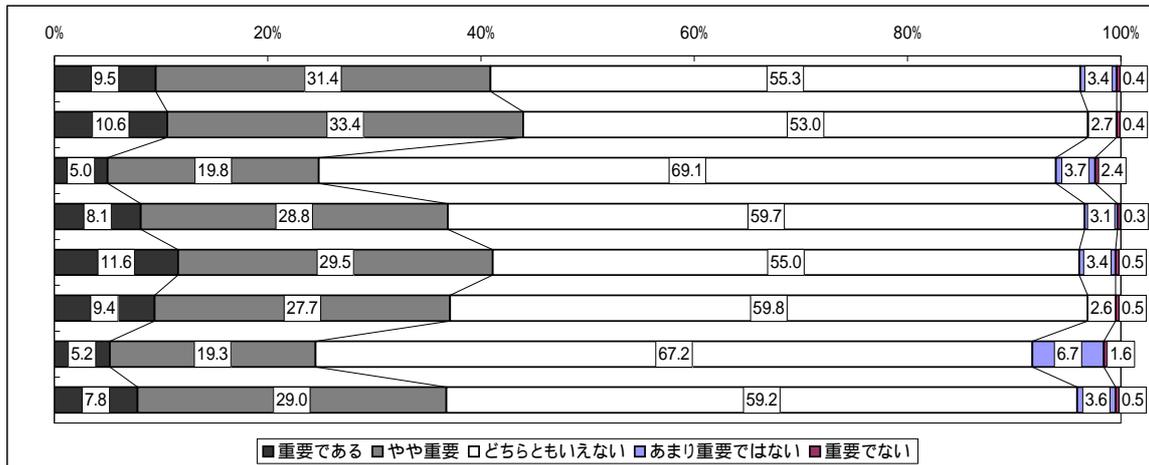
- ・満足度指数では、栗源区で「国際交流の推進」がやや高いことが目に付く。
- ・重要度指数は、「国際交流の推進」、「広域行政の推進」など、栗源区で高い項目が多くなっている。

(全体像)

(満足度)



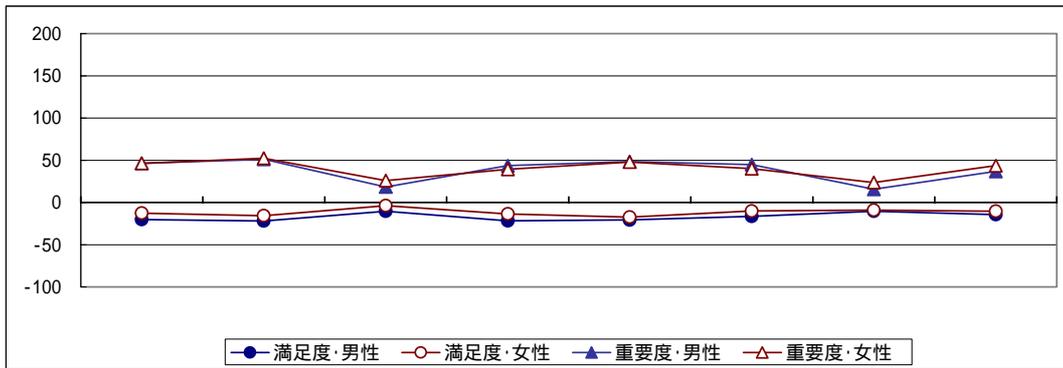
(重要度)



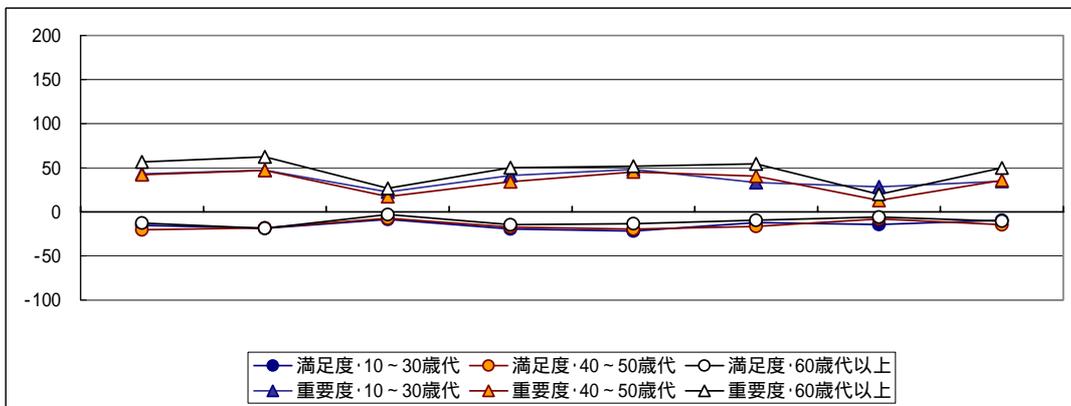
市民活動に対する支援の充実	地域活動に対する支援の充実	男女共同参画の推進
市民の市政参加機会の充実	情報公開制度の充実	広域行政の推進
国際交流の推進	地域間交流の推進	

《属性別グラフ》

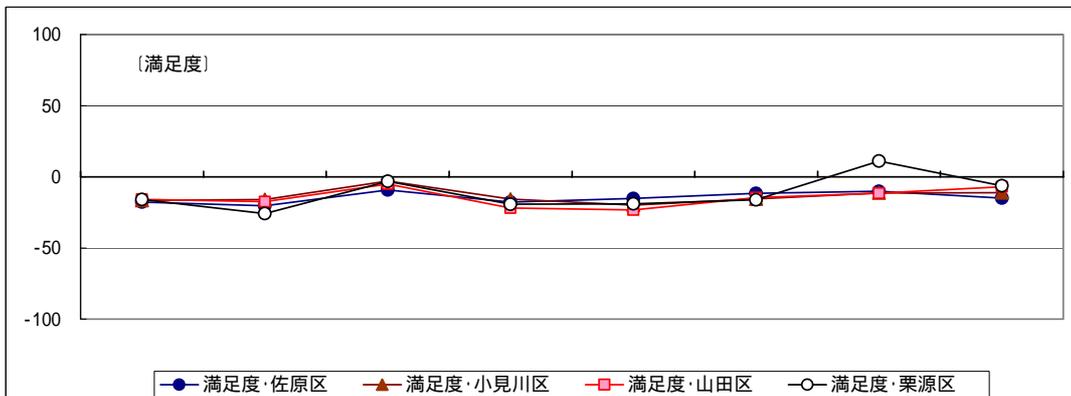
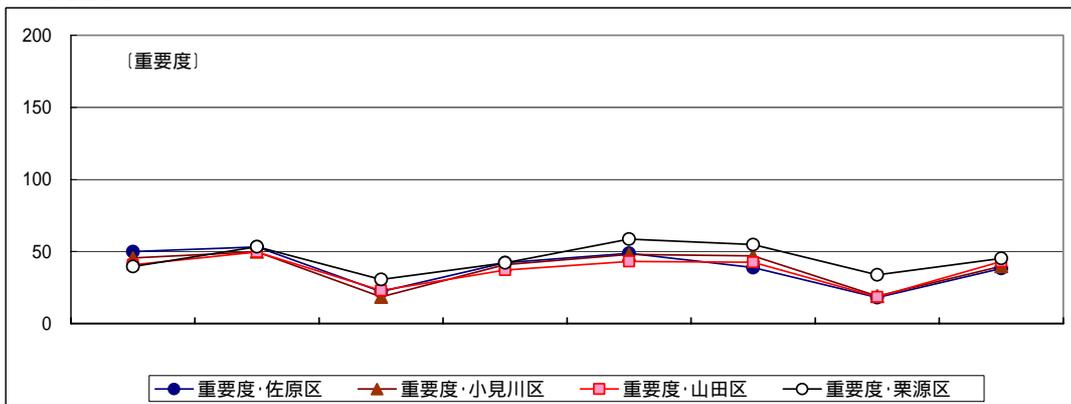
男女別



年齢別



居住地区別

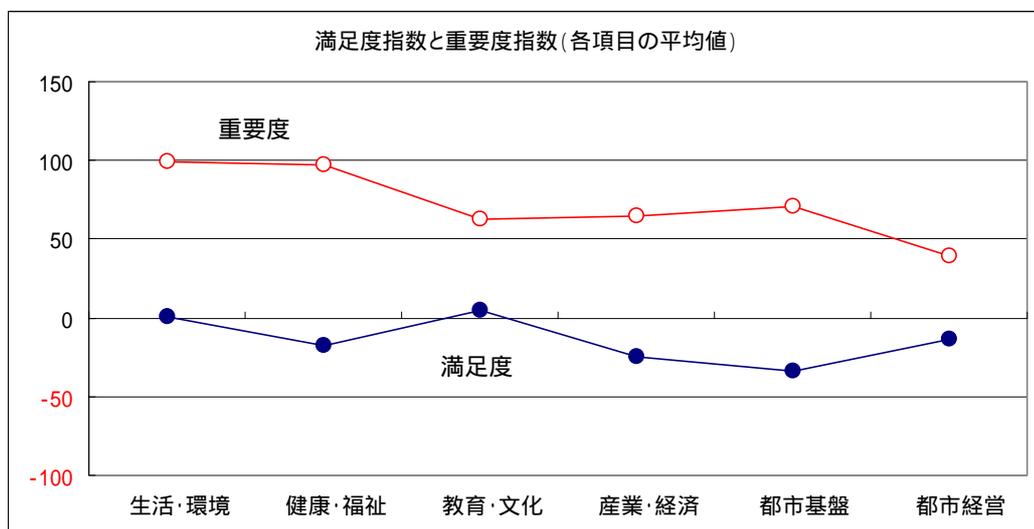


各分野の満足度と重要度の比較

満足度指数は「都市基盤分野」が最も低くなっている。
重要度指数は「生活・環境分野」、「健康・福祉分野」で高い傾向が見られる。

本設問で提示した6分野の各項目には、それぞれにさまざまな背景があり、各回答結果は単純に比較できるものではない。しかし、「各分野に対する市民の全体的な考え方」という視点で、その傾向を比較することは、十分に意味があることだと考えられる。

ここでは、6つの分野ごとの全項目についての「満足度指数」、「重要度指数」の単純平均を算出し、「市民が考えている分野別の満足度・重要度の傾向」の比較を試みた。



満足度指数に関しては、「都市基盤分野」が最も低く、「産業・経済分野」、「健康・福祉分野」の順に低くなっている。相対的に見ると、これらの分野には満足していない傾向が見てとれる。これに対し「教育・文化分野」、「生活・環境分野」の満足度指数はプラスとなっている。

一方、重要度指数は、「生活・環境分野」、「健康・福祉分野」で高くなっており、市民がこれらの分野を重視していることがうかがわれる。

また、都市経営分野については、「どちらともいえない」との回答が多かったことから、満足度指数、重要度指数ともゼロに近い傾向が見られる。

5. 「市民生活の現状」について

(注)本問では、傾向をわかりやすくするために「無回答」を除いた回答を100%として表示している。

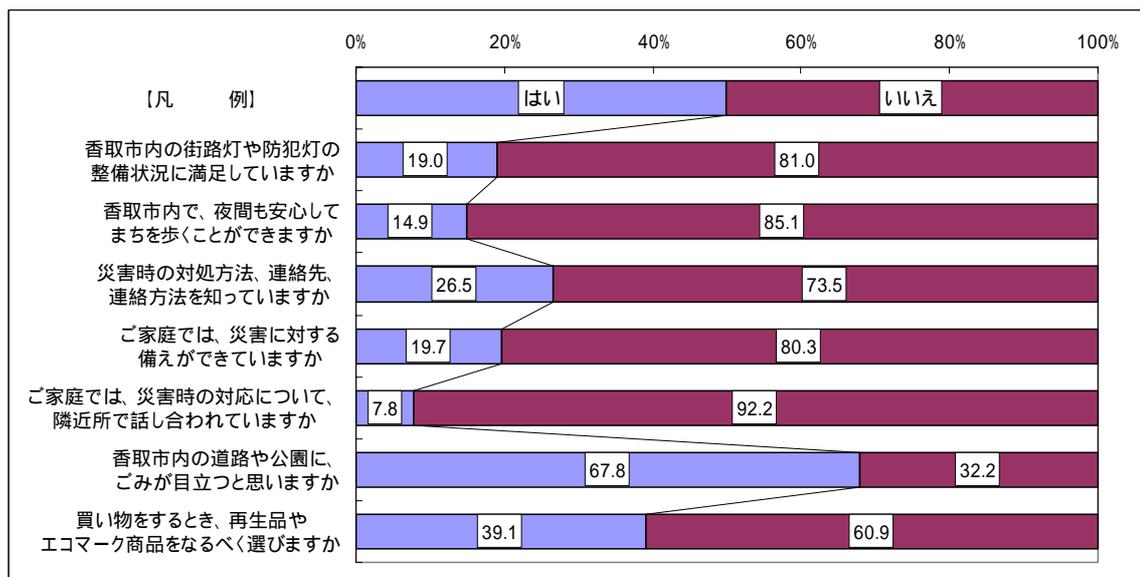
(1) 「生活環境」について

問 香取市の「生活環境」について、おたずねします。

安心・安全に関する設問を中心に、生活環境に満足していない様子が見受けられる。

二択設問【SA、n=1,274】

「街路灯や防犯灯の整備状況に満足しているか」や「夜間に安心して歩行できる環境か」などの設問に「はい」とした回答は1割台にとどまっている。また、「災害時の対処方法等を知っているか」など、防災に関する設問に対する回答でも「はい」との回答は少なく、全体的に市内の安心・安全面などの生活環境に関して、市民が不満や不安を抱いているさまが見てとれる。



【属性別特徴】

男女別

・「夜間に安心して歩行できる環境か」で女性の「はい」の比率が低いことが目立つ。

年齢別

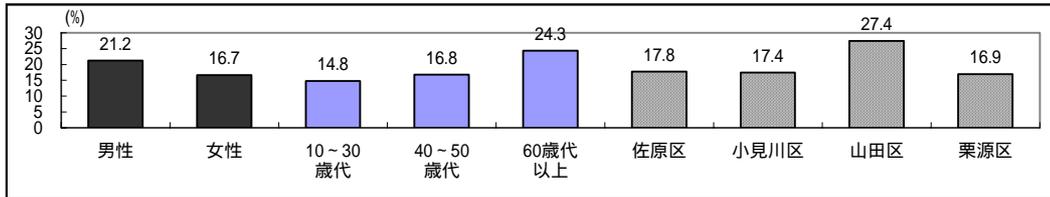
・「災害時の対応を話し合っているか」は、年齢が高い層で「はい」の比率が高くなっている。

居住地区別

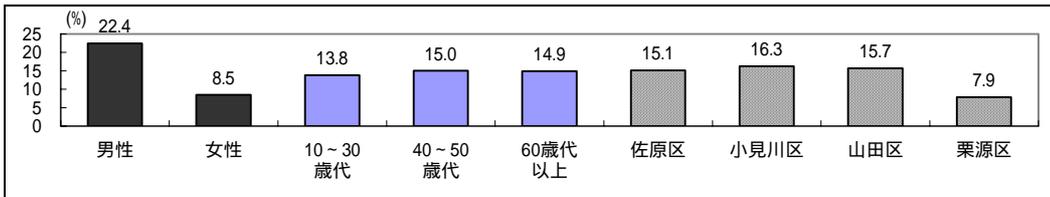
・「家庭で災害への備えができていますか」、「災害時の対応を話し合っているか」などで、栗源区で「はい」の比率が低くなっている。

《属性別グラフ》・・・「はい」と回答した比率

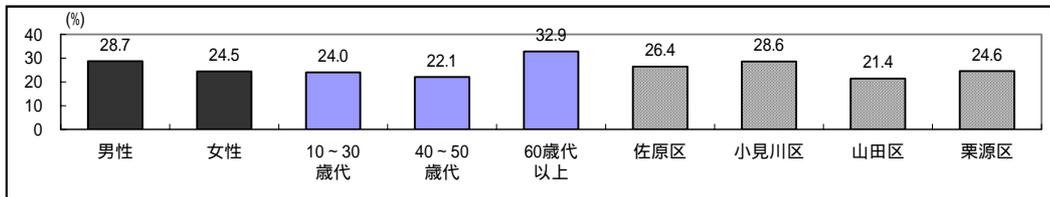
香取市内の街路灯や防犯灯の整備状況に満足していますか



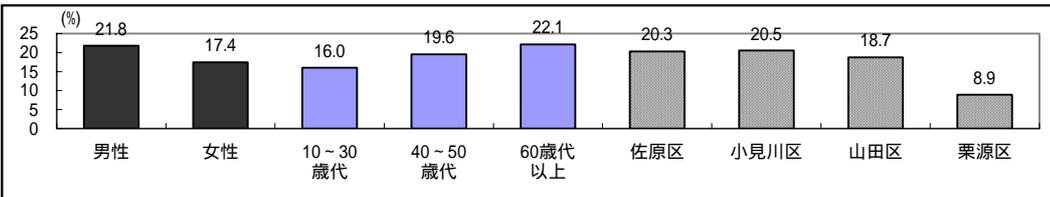
香取市内で、夜間も安心してまちを歩くことができますか



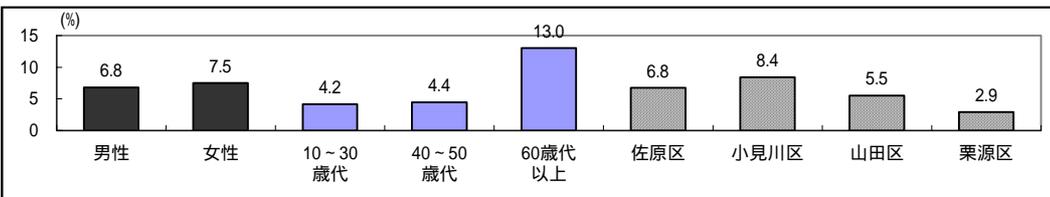
災害時の対処方法、連絡先、連絡方法を知っていますか



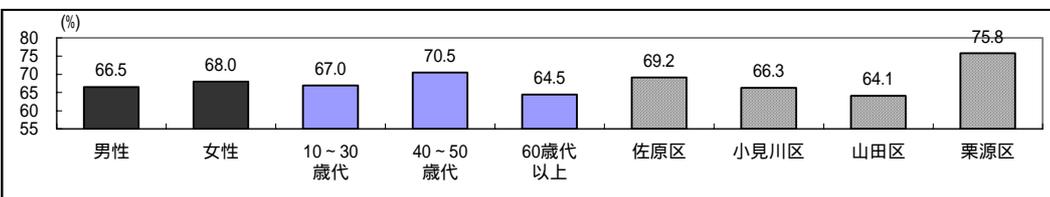
ご家庭では、災害に対する備えができていますか



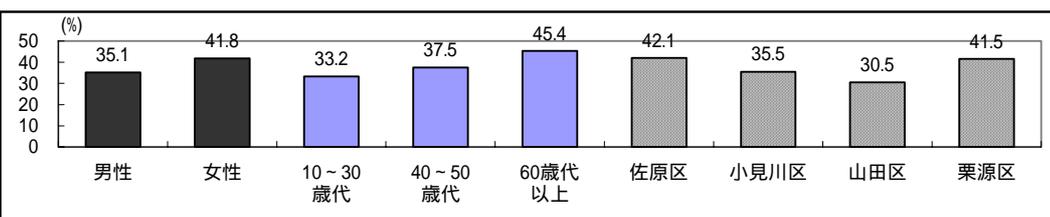
ご家庭では、災害時の対応について、隣近所で話し合われていますか



香取市内の道路や公園に、ごみが目立つと思いますか



買い物をするとき、再生品やエコマーク商品をなるべく選びますか



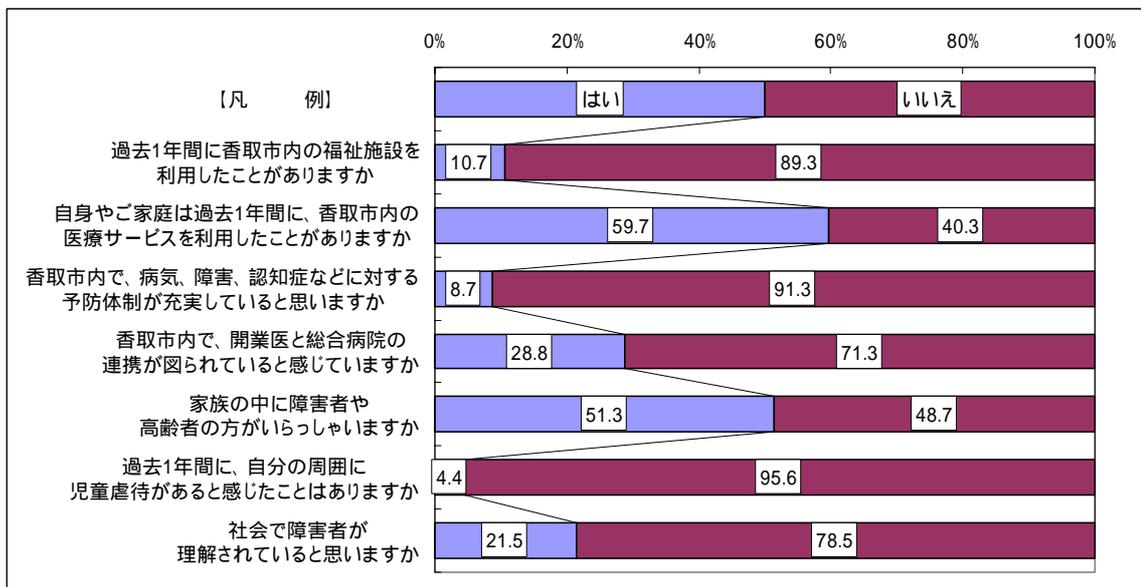
(2) 「保健・医療・福祉」について

問 香取市の「保健・医療・福祉」について、おたずねします。

病気や障害等に対する予防体制が充実していないなど、保健・医療・福祉への課題を指摘する声が多い。

二択設問【SA、n = 1,274】

「病気や障害等に対する予防体制は充実しているか」、「開業医と総合病院の連携体制は図られているか」、「障害者に対する理解はされているか」などの設問に対する「はい」の回答はそれぞれ少なく（8.7%、28.8%、21.5%）市の保健・医療・福祉分野に関する環境について、十分ではないと考えている人が多いことがうかがわれる。



【属性別特徴】

男女別

・「市内の医療サービスを利用しているか」で男性の「はい」の比率が高くなっている。

年齢別

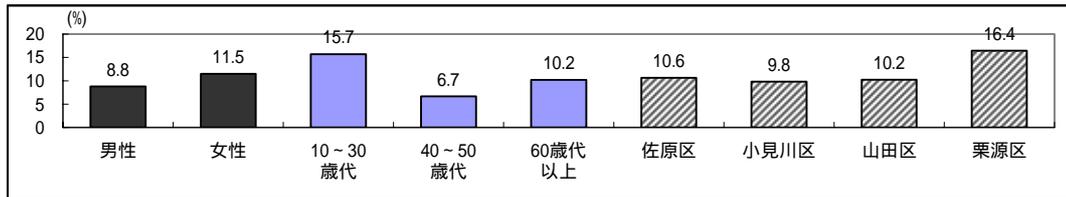
・「病気や障害等に対する予防体制は充実しているか」、「開業医と総合病院の連携体制は図られているか」、「障害者に対する理解はされているか」の項目で、10～30、40～50歳代で「はい」の比率が低い傾向が見られる。

居住地区別

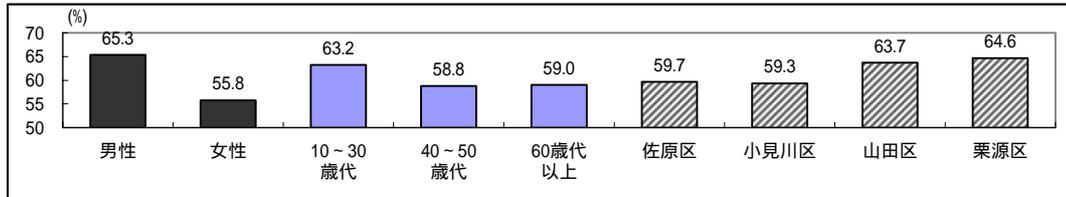
・「病気や障害等に対する予防体制は充実しているか」で「はい」の比率が山田区で高く、佐原区、栗源区で低いことが目に付く。

《属性別グラフ》・・・「はい」と回答した比率

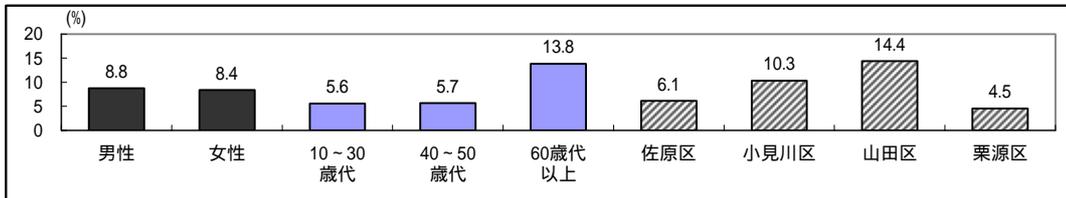
過去1年間に香取市内の福祉施設を利用したことがありますか



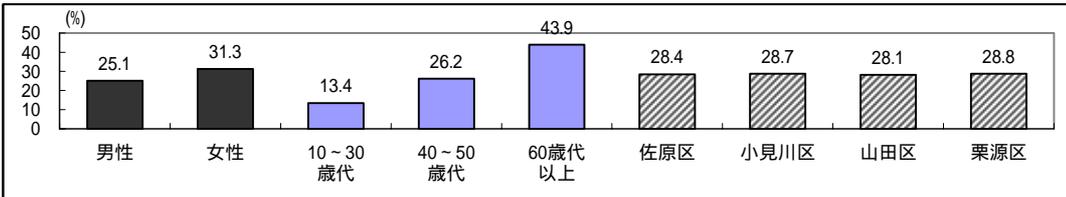
自身やご家庭は過去1年間に、香取市内の医療サービスを利用したことがありますか



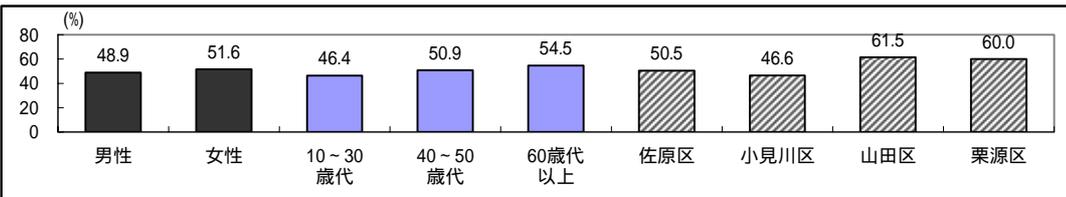
香取市内で、病気、障害、認知症などに対する予防体制が充実していると思いますか



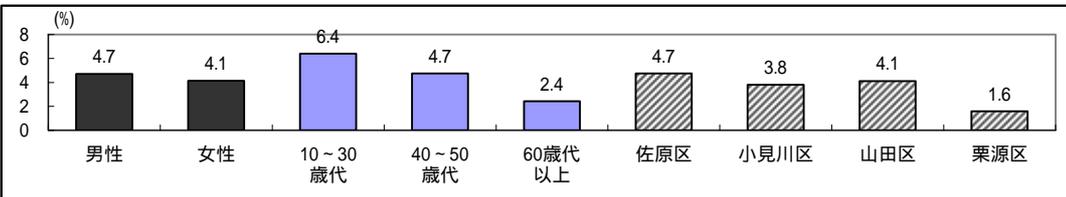
香取市内で、開業医と総合病院の連携が図られていると感じていますか



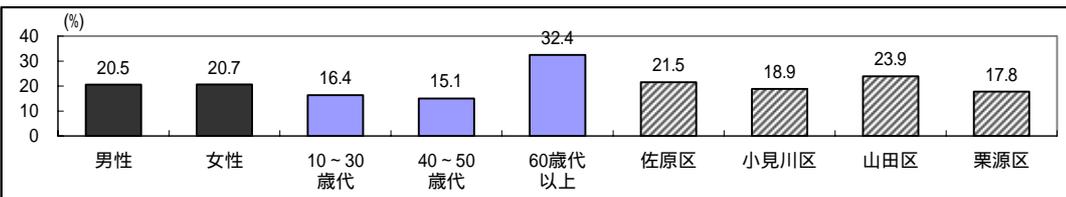
家族の中に障害者や高齢者の方がいらっしゃいますか



過去1年間に、自分の周囲に児童虐待があったと感じたことはありますか



社会で障害者が理解されていると思いますか

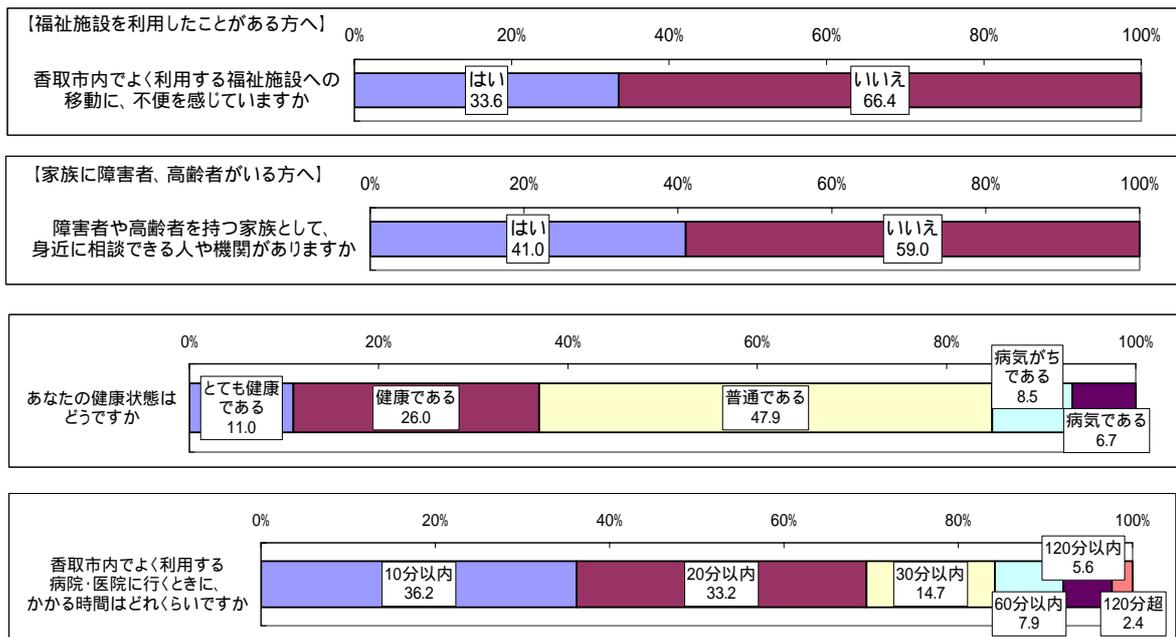


その他の設問 【S A、n = 1,274 ただし一部回答者を限定した設問あり】

市内の福祉施設を利用したことのある人のうち、33.6%がその移動に不便を感じる
と回答した。家族に障害者や高齢者がいる人では、身近に相談できる人や機関が「ある」
とした回答は41.0%にとどまっている。

健康状態をたずねた項目では、「病気である」、「病気がちである」の合計は15.2%
で、全体的には市民の健康状態は良好だと考えられる。

「よく利用する病院・医院へ行くときにかかる時間」については、約7割が20分
以内と回答している。



(3) 「生涯学習」について

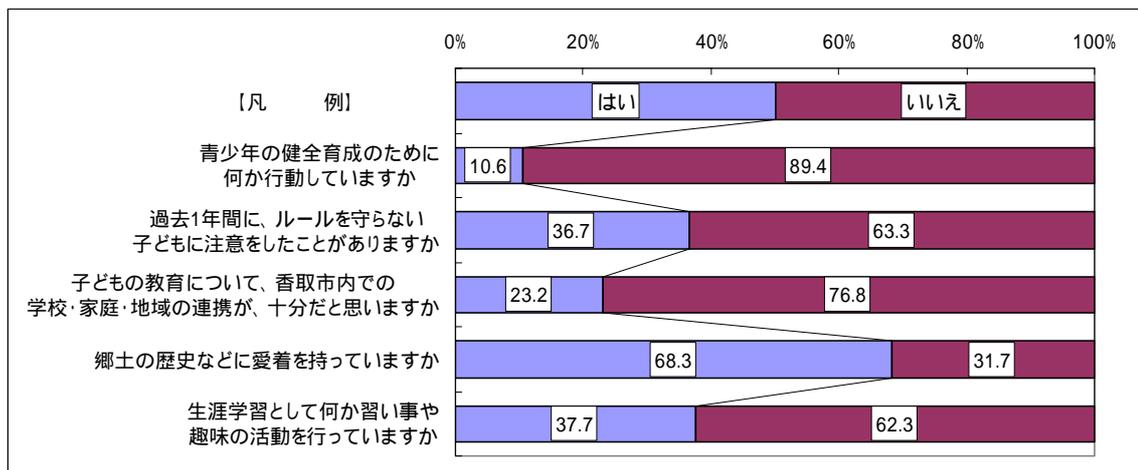
問 香取市の「生涯学習」について、おたずねします。

生涯学習として何か活動している人の比率は 4 割弱となっており、その内容は趣味、スポーツなどが多い。

二択設問【SA、n = 1,274】

「子どもの教育について市内で学校・家庭・地域の連携がとれているか」に対しては「はい」が 23.2%にとどまっており、十分ではないと認識している市民が多いことがわかる。また、「郷土の歴史などへの愛着を持っている」との回答は 68.3%にのぼっている。

「生涯学習として習い事や趣味の活動を行っている」と回答した人の比率は 37.7%となっている。



【属性別特徴】

男女別

・「青少年の健全育成のために行動している」人は男性で多くなっている。

年齢別

・「子どもの教育に関する連携体制」については、若い層ほど十分と考えている比率が低い。「郷土の歴史等への愛着度合い」は高い年齢層ほど高くなっている。

・「生涯学習を行っている」比率は、10～30歳代が42.3%と最も高い比率となっている。

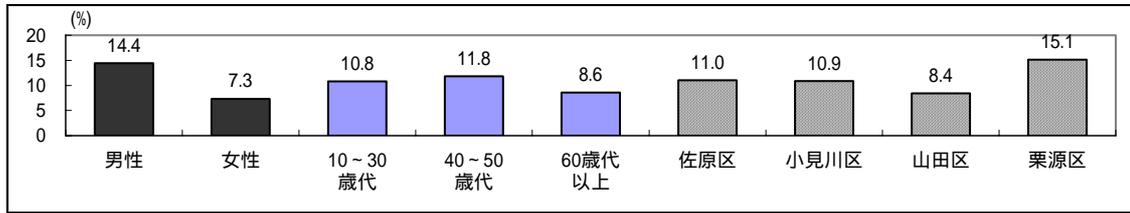
居住地区別

・「青少年の健全育成のために行動している」人の比率は、栗源区で高くなっている。

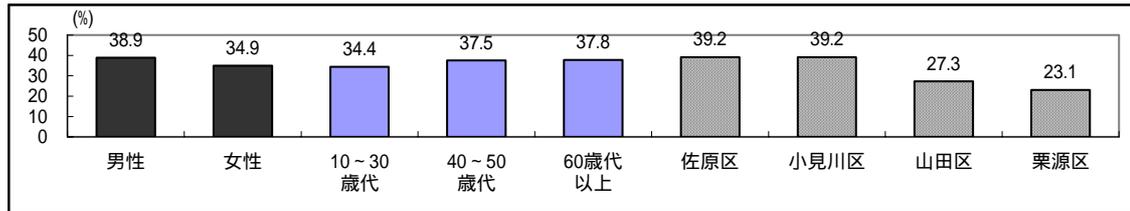
・「子どもの教育に関する連携体制」が十分であると回答した比率は、山田区で高い。

《属性別グラフ》・・・「はい」と回答した比率

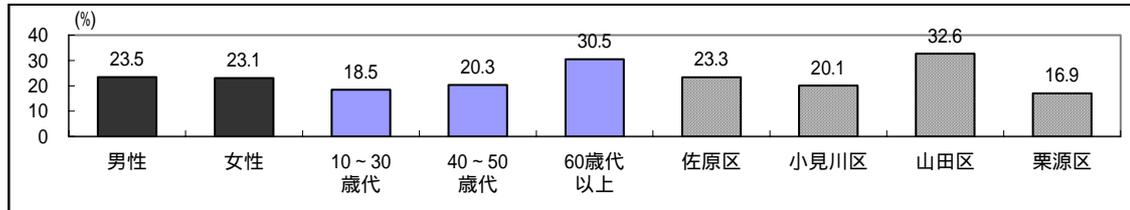
青少年の健全育成のために何か行動していますか



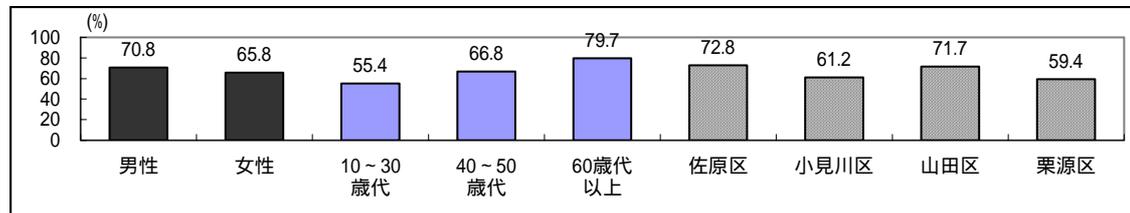
過去1年間に、ルールを守らない子どもに注意をしたことがありますか



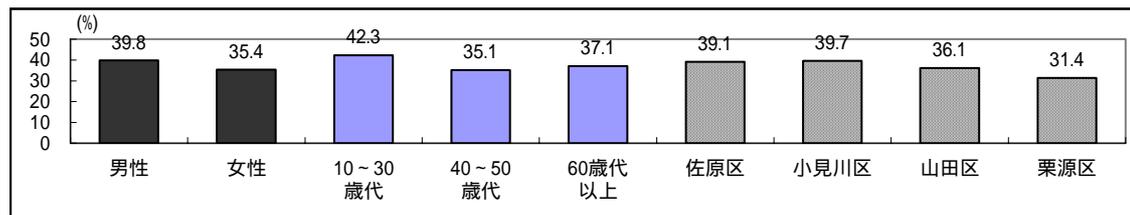
子どもの教育について、香取市内での学校・家庭・地域の連携が、十分だと思いますか



郷土の歴史などに愛着を持っていますか

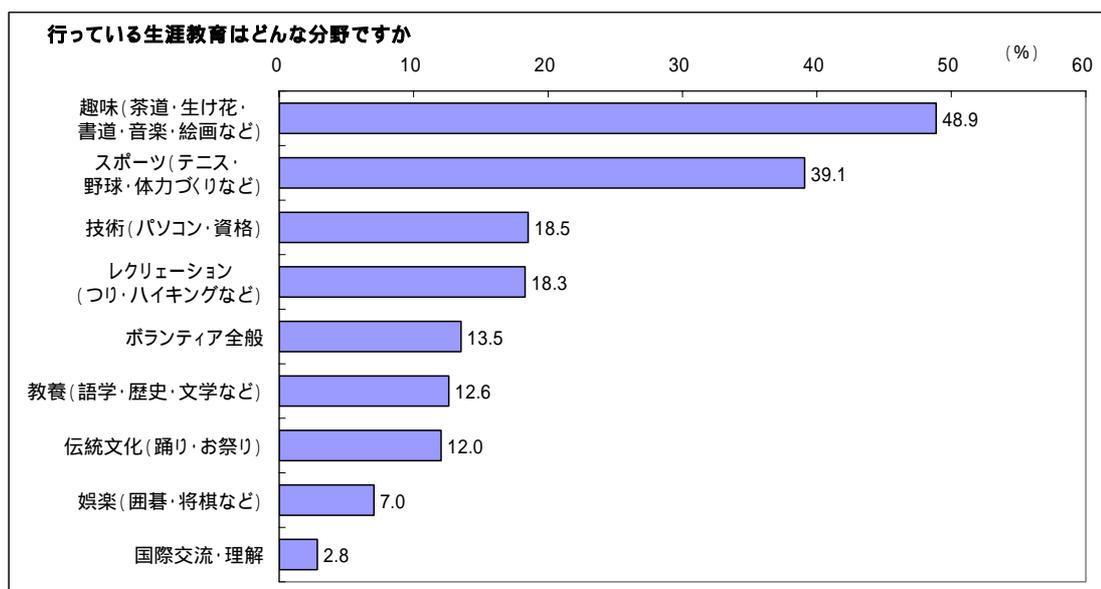


生涯学習として何か習い事や趣味の活動を行っていますか



その他の設問【MA、n = 462】

生涯学習活動を行っているとした人に、その分野をたずねたところ、48.9%と半数近くが「趣味(茶道・生け花・書道・音楽・絵画など)」をあげた。「スポーツ(テニス・野球・体力づくりなど)」が39.1%で続いている。「国際交流・理解」をあげる人は少なかった(2.8%)。



(4) 「産業」について

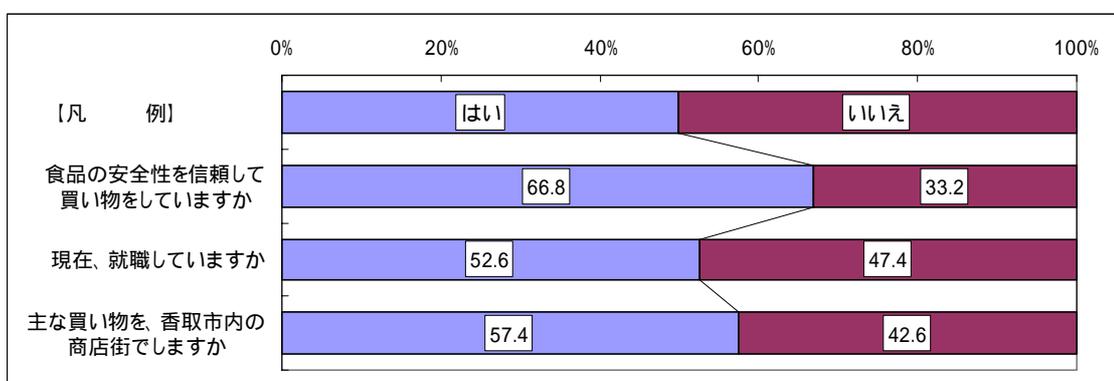
問 香取市の「産業」について、おたずねします。

「主な買い物を市内でする」との回答は 57.4%にとどまっている。

二択設問【SA、n = 1,274】

「食品の安全性を信頼して買い物をしているか」には 66.8%が「はい」と回答している。

主な買い物について、市内の商店街で行うとした回答は 57.4%にとどまっており、市内の消費のうち、半分近くが市外へ流出しているさまがみてとれる。



【属性別特徴】

男女別

- ・就職していると回答した人の比率は、男性が 64.0%、女性が 44.1%で、20ポイントほどの開きがある。

年齢別

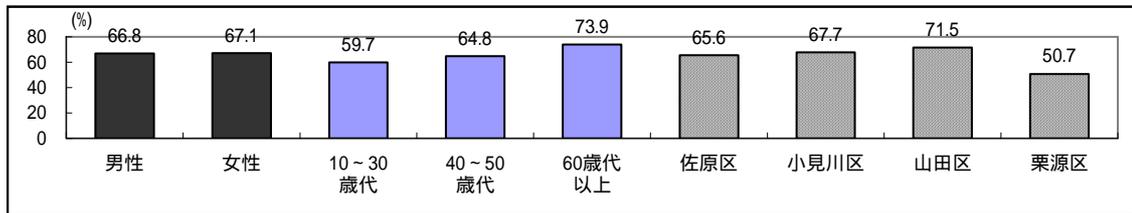
- ・主な買い物を市内の商店街で行うとした比率は、若年層で低く、年齢が高い層で高い。10～30歳代は 37.0%、60歳代以上は 75.2%で、その差は極めて大きいといえる。

居住地区別

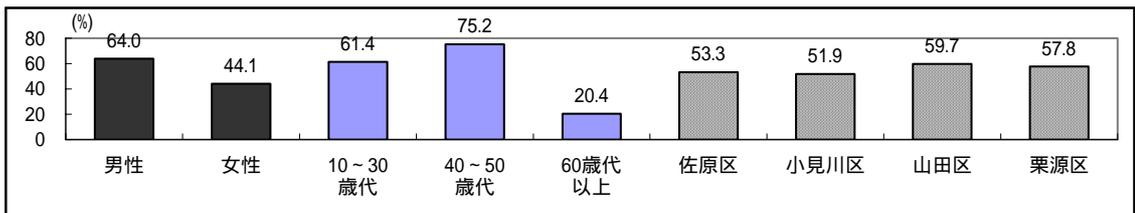
- ・市内の商店街で買い物をを行うとした比率は、山田区で他と比較してやや低い傾向が見られる。

《属性別グラフ》・・・「はい」と回答した比率

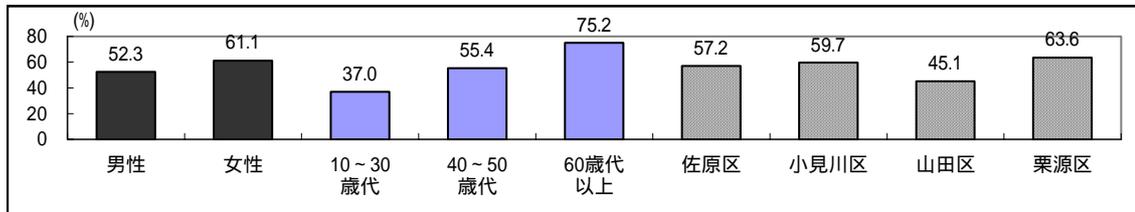
食品の安全性を信頼して買い物をしていますか



現在、就職していますか



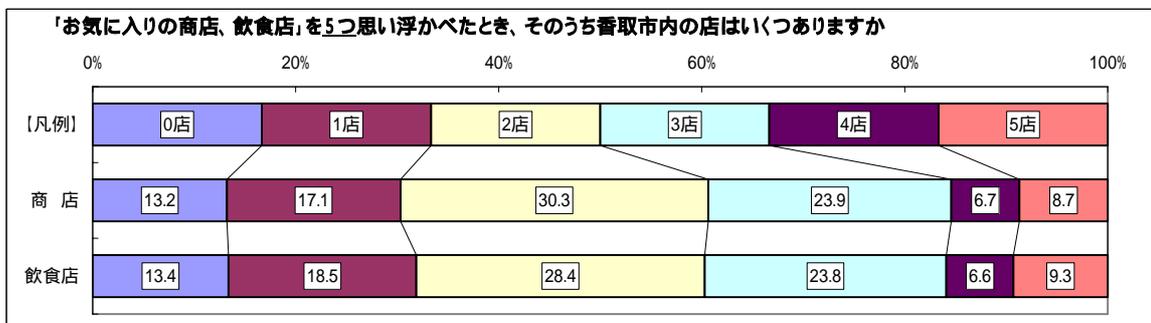
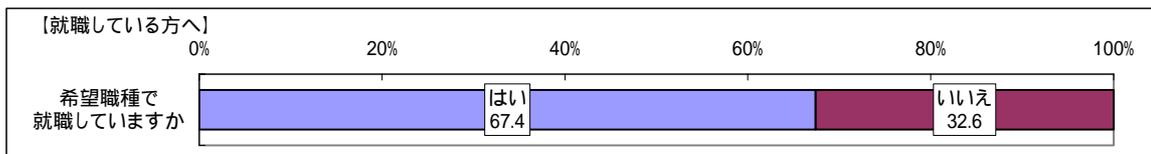
主な買い物を、香取市内の商店街でしますか



その他の設問 【S A、 n = 1,274 ただし一部回答者を限定した設問あり】

就職しているとした人のなかで、「希望職種で就職している」と回答した人は 67.4%であった。

「お気に入りの店（商店、飲食店）を 5 店思い浮かべたとき、そのうち市内の店はいくつあるか」という問に対しては、「商店」、「飲食店」とも、「2 店」「3 店」という回答が多く、その合計はそれぞれ 54.2%、52.2%となっている。「5 店全て市内にある」と回答した比率は、両者とも 1 割以下で、逆に「0 店」、すなわち市内には 1 店もないとした回答は、それぞれ 13.2%、13.4%であった。



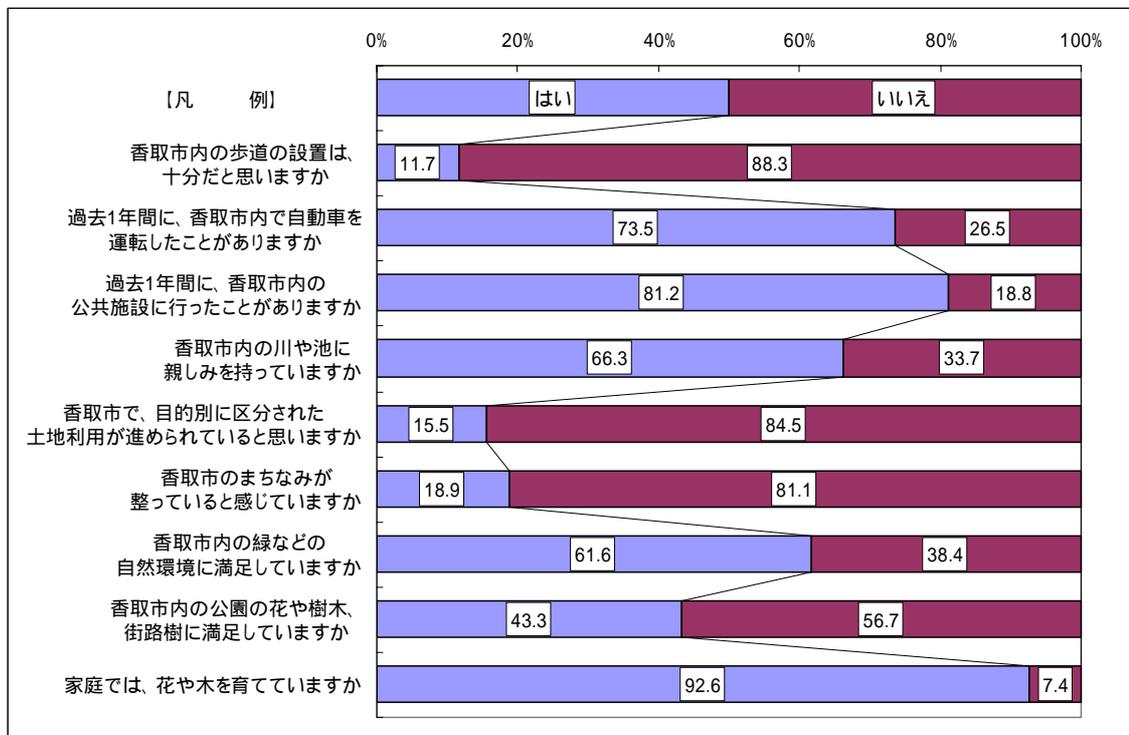
(5) 「都市基盤」について

問 香取市の「都市基盤」について、おたずねします。

歩道の設置、目的別に区分された土地利用、街並みの整備など、都市基盤について満足していないとする回答が目立つ。

二択設問【SA、n = 1,274】

「歩道の整備は十分か」、「目的別に区分された土地利用が進められているか」、「街並みが整っているか」などの項目について「はい」と回答した比率は、それぞれ1割台にとどまっている。全体的にみて市内の都市基盤について、市民は十分には満足していないことが見てとれる。



【属性別特徴】

男女別

・「歩道の整備が十分」と思っている比率は、男性の方が低くなっている。

年齢別

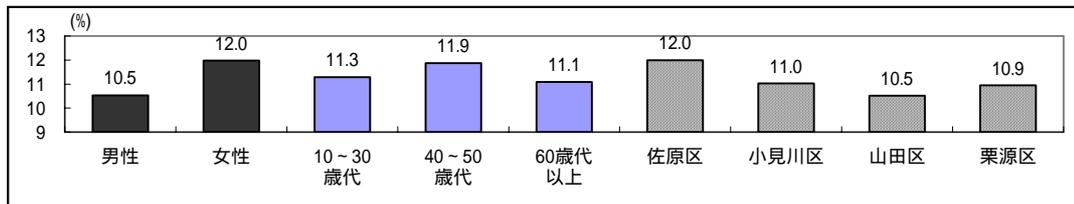
・「市内の川や池への親しみ」は年齢が高い層ほど、強く感じている。

居住地区別

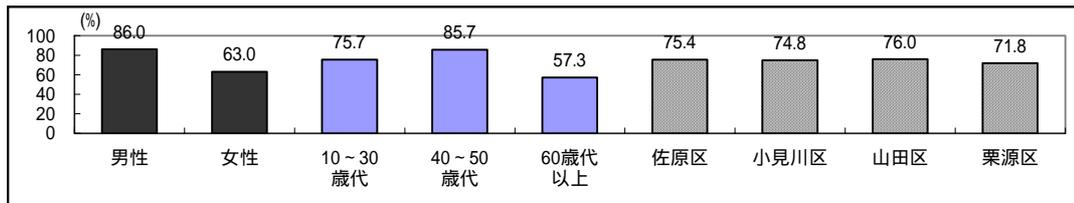
・小見川区で「目的別に区分された土地利用が進められている」とした比率が高い。
 ・「自然環境への満足度」や「公園の花や樹木、街路樹への満足度」は、山田区、栗源区で高くなっている。

《属性別グラフ》・・・「はい」と回答した比率

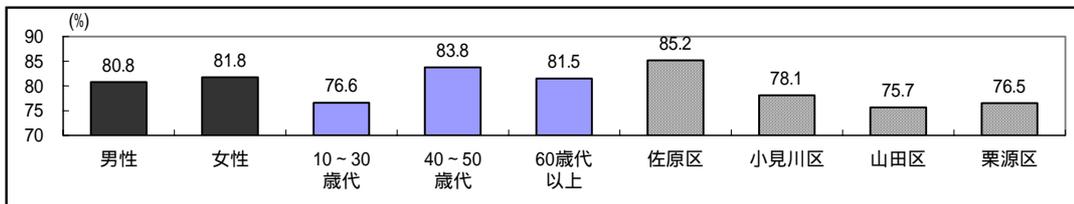
香取市内の歩道の設置は、十分だと思いますか



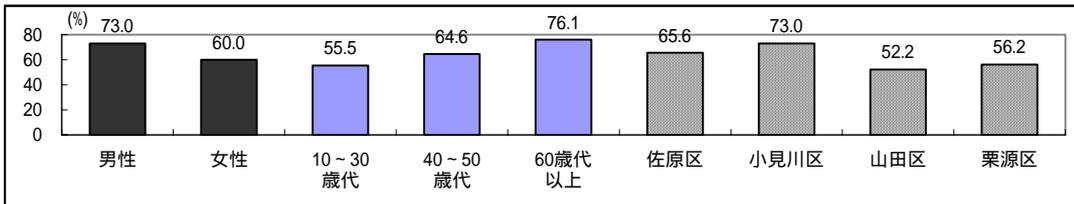
過去1年間に、香取市内で自動車を運転したことがありますか



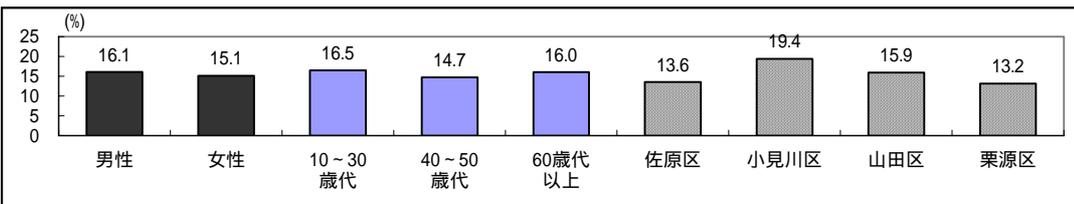
過去1年間に、香取市内の公共施設に行ったことがありますか



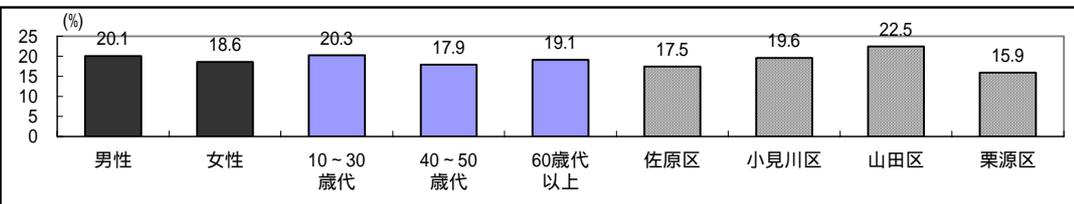
香取市内の川や池に親しみを持っていますか



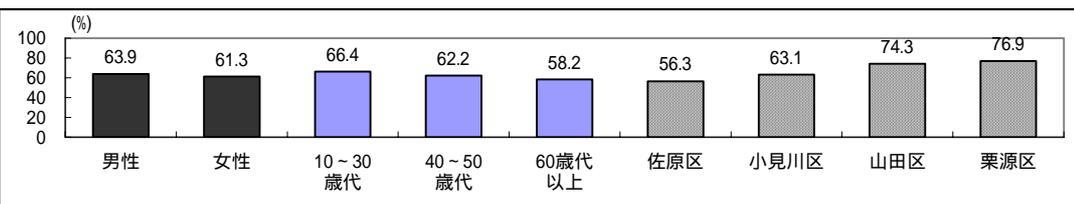
香取市で、目的別に区分された土地利用が進められていると思いますか



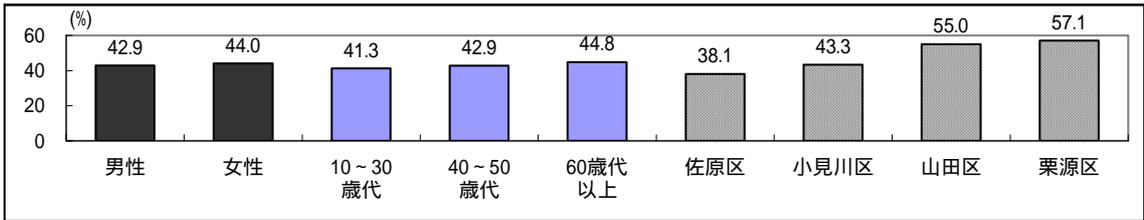
香取市のまちなみが整っていると感じていますか



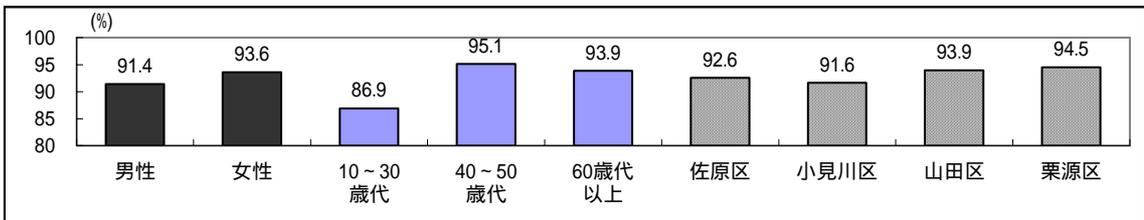
香取市内の緑などの自然環境に満足していますか



香取市内の公園の花や樹木、街路樹に満足していますか



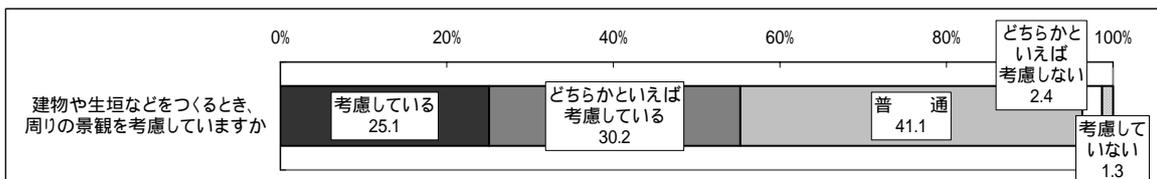
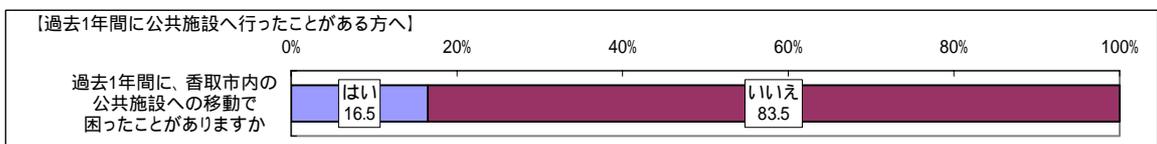
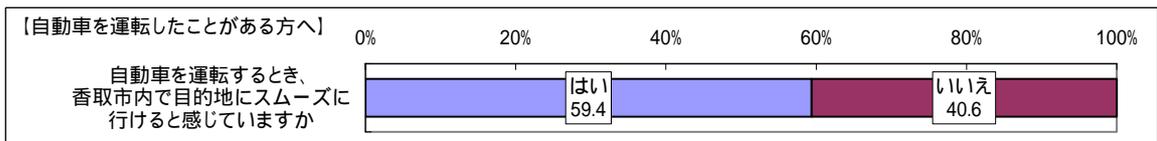
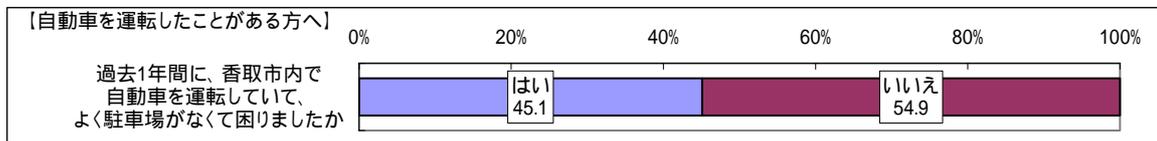
家庭では、花や木を育てていますか



その他の設問 【SA、n = 1,274 ただし一部回答者を限定した設問あり】

自動車を運転したことがある人のうち、「過去1年間で駐車場がなくて困ったことがある」との回答は45.1%にのぼった。また、「目的地までスムーズに行ける」との回答は、59.4%にとどまっている。

公共施設に行ったことがある人のなかで、「過去1年間に移動で困ったことがある」とした人は16.5%であった。



(6) 「市民参加・行財政」について

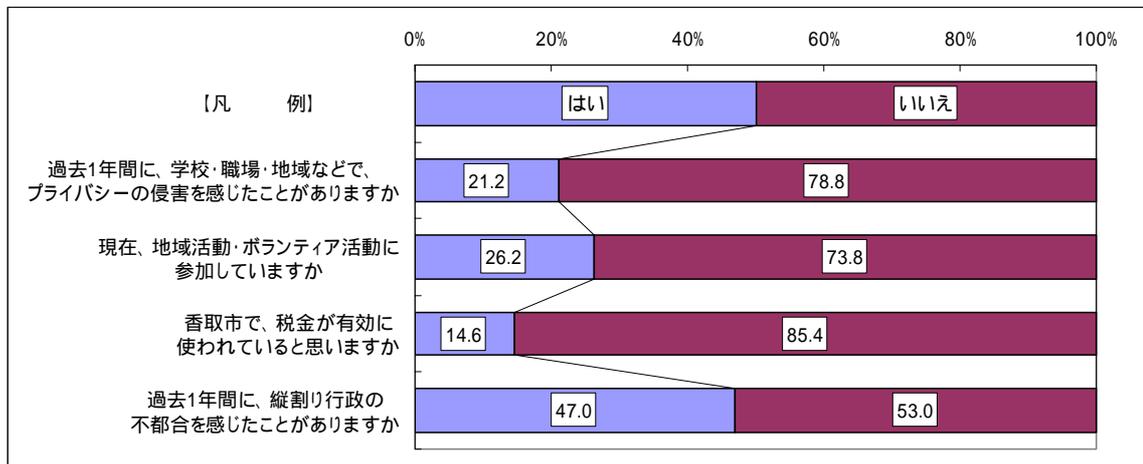
問 香取市の「市民参加・行財政」について、おたずねします。

税金の使われ方、市の広報広聴活動などに不満を感じているとする比率が高い。

二択設問【S A、n = 1,274】

地域活動・ボランティア活動については、26.2%が「参加している」と回答している。

「税金が有効に使われていると思うか」の項目では「はい」との回答は14.6%にとどまっている。また、「縦割り行政の不都合」については47.0%が過去1年間に感じたことが「ある」としており、行政に対する不満を感じている市民が少なくないことがうかがわれる。



【属性別特徴】

男女別

・地域活動・ボランティア活動を行っている比率は、男性の方がやや高くなっている。

年齢別

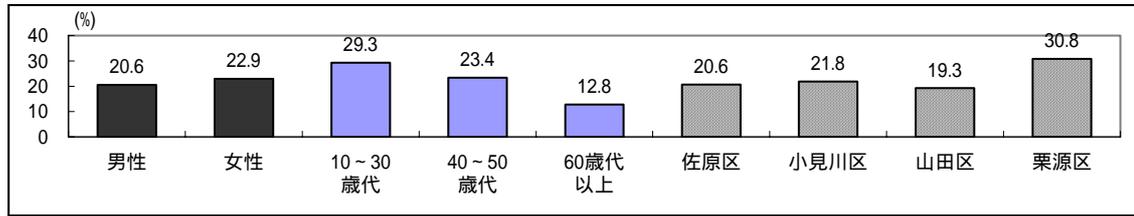
・税金が有効に使われていると感じている比率は、60歳代以上では23.9%であるのに対し、40～50歳代は11.1%、10～30歳代は7.6%となっており、大きな開きがある。

居住地区別

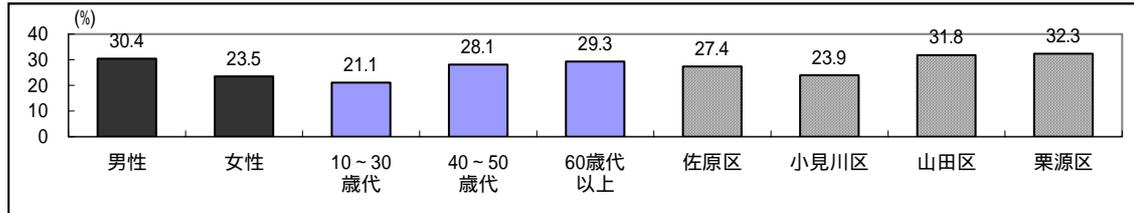
・「過去1年間に縦割り行政の不都合を感じたことがある」とした比率は、栗源区でやや高い傾向が見られる。

《属性別グラフ》・・・「はい」と回答した比率

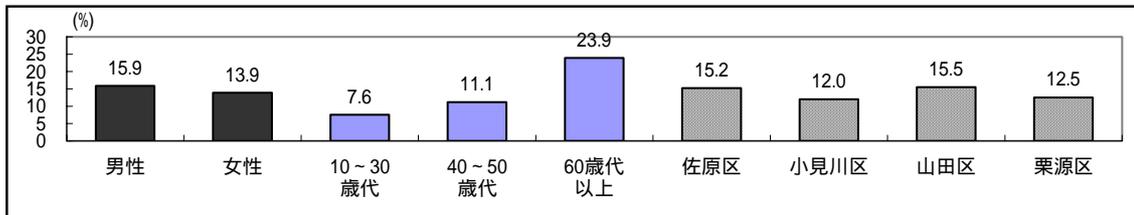
過去1年間に、学校・職場・地域などで、プライバシーの侵害を感じたことがありますか



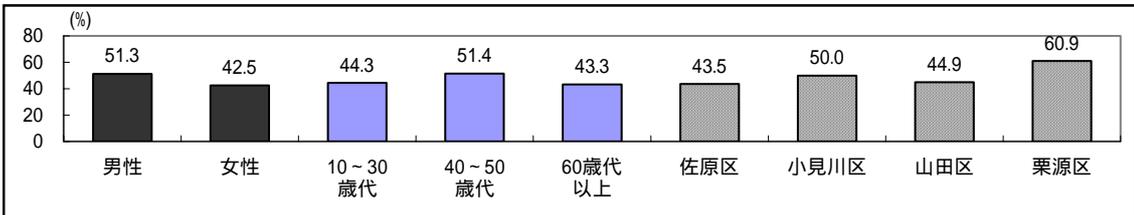
現在、地域活動・ボランティア活動に参加していますか



香取市で、税金が有効に使われていると思いますか



過去1年間に、縦割り行政の不都合を感じたことがありますか

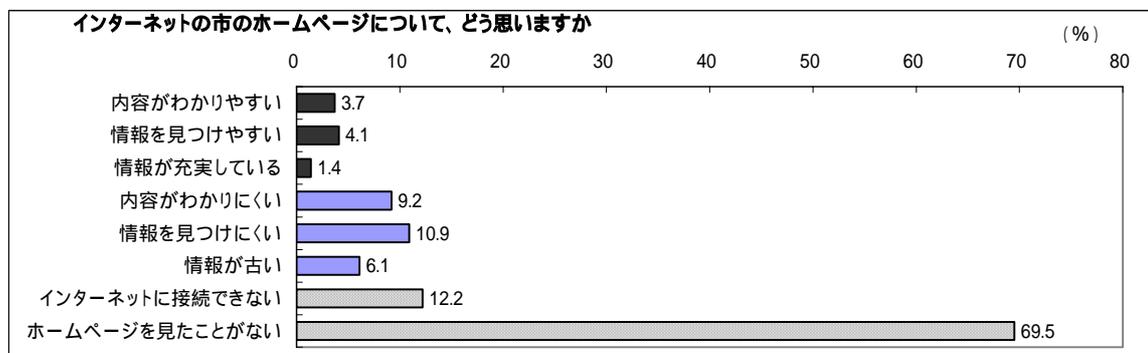
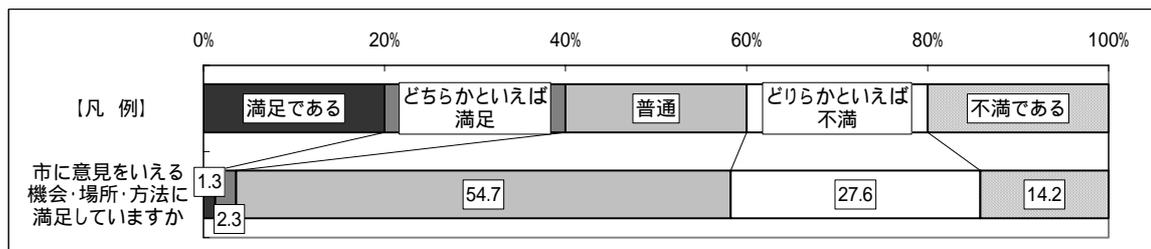
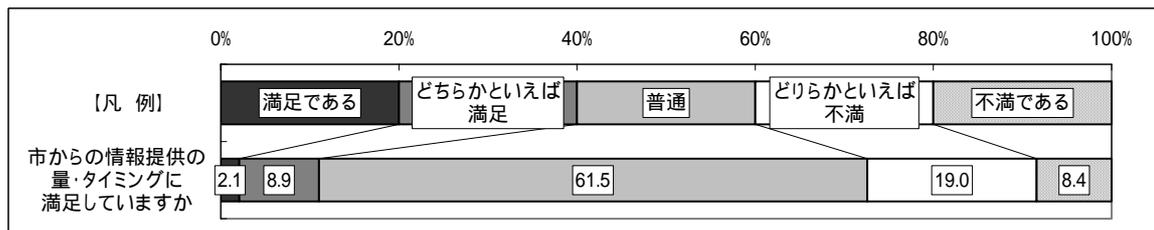
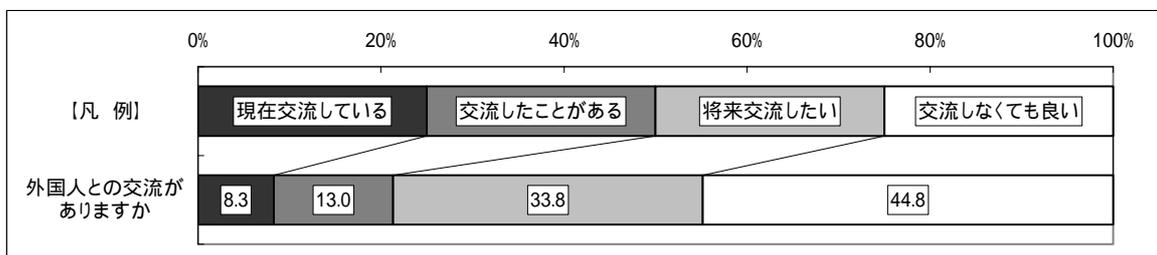


その他の設問【SA・MA、n=1,274】

外国人との交流については、「現在交流している」、「交流したことがある」の合計は21.3%で、一方「交流しなくても良い」との回答は44.8%にのぼっている。

「市からの情報提供の量・タイミング」、「市に意見を言える機会・場所・方法」については、満足しているとした比率は低くなっている。特に後者は「満足」「やや満足」を合わせても3.6%しかなく、「不満」「やや不満」合計の41.8%を大きく下回っている。

市のホームページに関しては、69.5%と3分の2以上が「見たことがない」と回答している。「見たことがある」人の意見では、「情報を見つけにくい」、「内容がわかりにくい」との回答が目につく。



6. 「市民参加活動」について

(1) 参加したい地域活動

問 あなたが参加したいと思う活動などについてお答えください。【SA、n = 1,274】

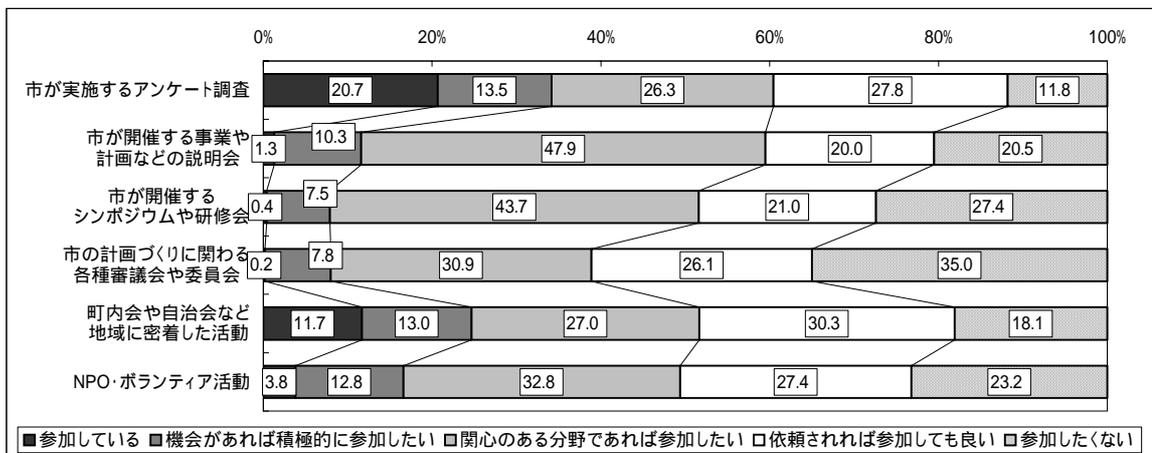
「市が実施するアンケート調査」、「町内会や自治会など地域に密着した活動」に「参加している」「機会があれば積極的に参加したい」とする比率が高い。

参加したいと思う地域活動に関する設問では、その手法としては、「市が実施するアンケート調査」、「町内会や自治会など地域に密着した活動」で「参加している」「機会があれば積極的に参加したい」という前向きな回答が多かった。「関心がある分野であれば参加したい」まで加えると、多くの項目で比率は5割以上となっている。

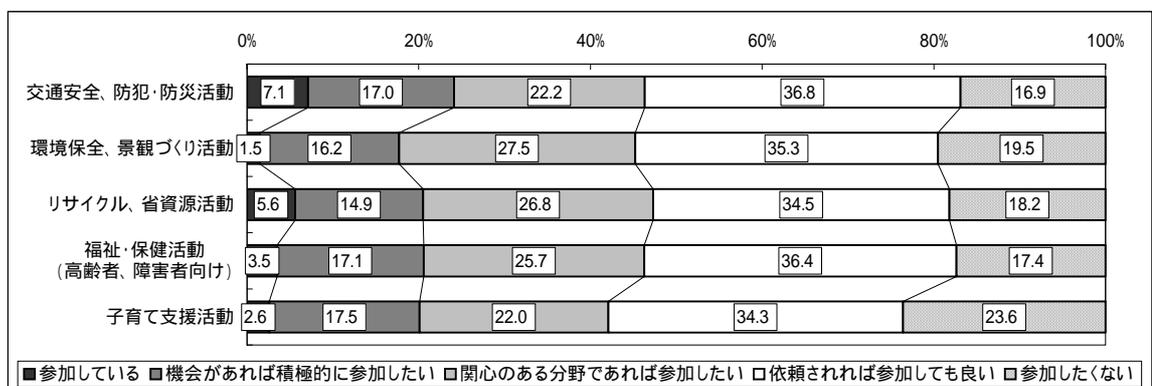
具体的な活動分野別については、既に「参加している」との回答は「交通安全、防犯・防災活動」、「リサイクル、省資源活動」で多かった。「機会があれば積極的に」、「関心のある分野であれば」も含めると、各分野とも4割以上を占めている。

これらの結果から、今後市民による地域活動が更に活発に展開されていくための素地は十分にできていることが見てとれる。

【手法】



【分野】



7. 「公共交通サービス」について

(1) バス路線について

問 市内の公共交通サービス（バス路線）について、おたずねします。

市の循環バスの利用意向に関する設問では、約 3 割が「利用する」と回答した。

バス運行における不足金については「利用者が負担すべき」との回答が「市民全員で負担すべき」を上回っている。

既存のバスの利用について

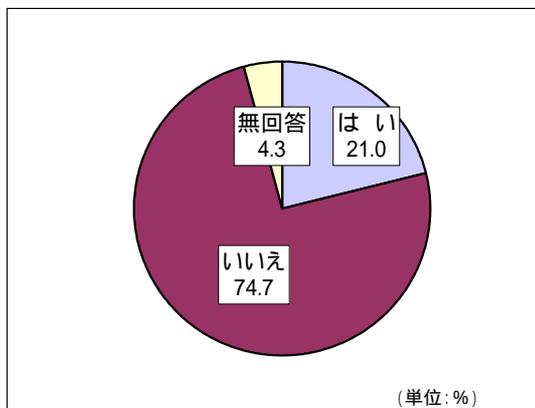
バスの利用経験の有無 【SA、n = 1,274】

- ・路線バス、または循環バスを「利用したことがある」との回答は 21.0%であった。

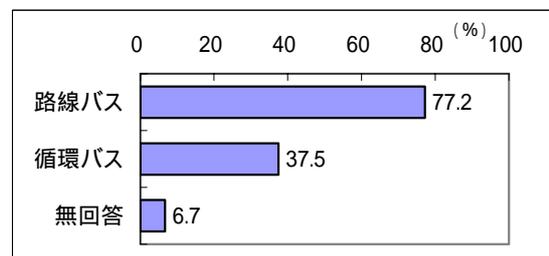
利用したバスの種類 【MA、n = 267】

- ・利用したことがあるバスの種類は、「路線バス」が 77.2%と多く、「循環バス」は 37.5%であった。

バスの利用経験の有無



利用したバスの種類 (対象:「利用経験ある人」)



利用した「路線バス」の種類 【MA、n = 206】

- ・利用した路線バスの種類では、千葉交通が最も多く、以下JR、関東鉄道の順となっている。

利用した「循環バス」の地区 【MA、n = 100】

- ・利用した循環バスの地区では、佐原区が最も多く、以下山田区、栗源区の順となっている。

バスの利用目的 【MA、n = 267】

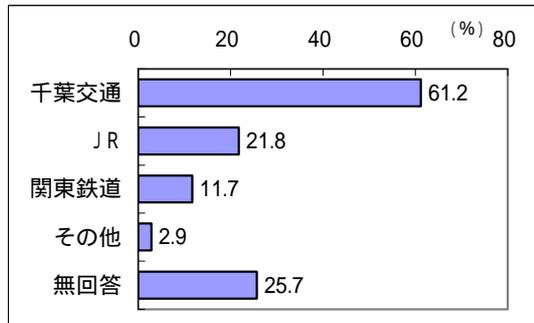
- ・バスの利用目的としては、半数以上の人々が「買物」、「通院」をあげている。また、「通勤以外の仕事等」との回答も 4 割近くあった。

バスを利用しない理由 【SA、n = 952】

- ・利用しない理由としては、「自動車やバイクの方が便利だから」が 68.3%と 3分の2以上を占めた。

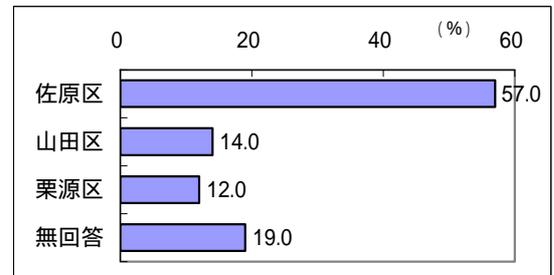
利用した「路線バス」の種類

(対象:「路線バスの利用経験ある人」)



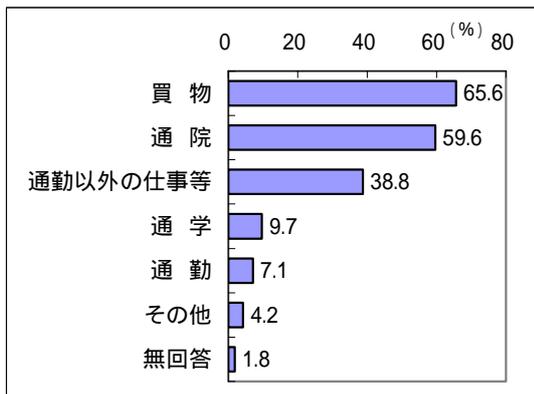
利用した「循環バス」の地区

(対象:「循環バスの利用経験ある人」)



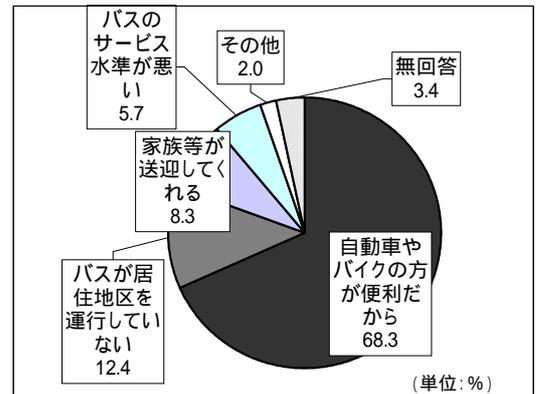
バスの利用目的

(対象:「バスの利用経験がある人」)



バスを利用しない理由

(対象:「バスの利用経験がない人」)



今後の循環バスの利用意向について

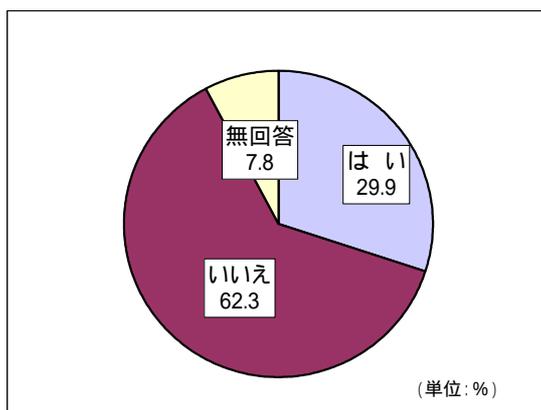
循環バスの利用意向 【SA、n = 1,274】

- ・「循環バスが1日に3~5便、有料で居住する地区を運行されたとすれば利用するか」という設問に対しては、「利用する」との回答は 29.9%で、「利用しない」との回答 (62.3%)の方が多くなっている。

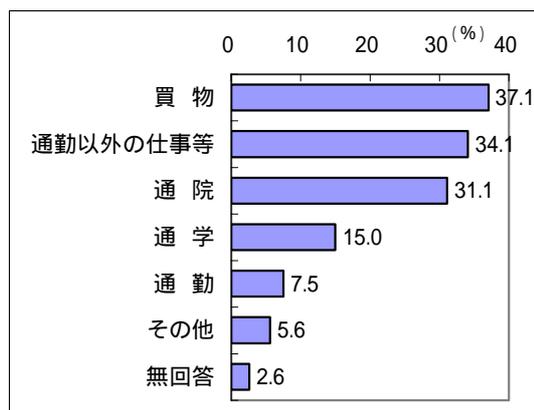
バスの利用目的 【MA、n = 381】

- ・その場合の利用目的としては、「買物」(37.1%)、「通勤以外の仕事等」(34.1%)、「通院」(31.1%)との回答が多かった。

循環バスの利用意向

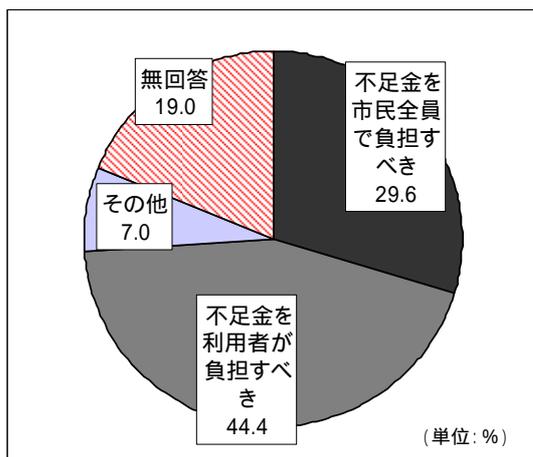


バスの利用目的 (対象:「利用すると回答した人」)



循環バスの負担金のあり方について 【SA、n=1,274】

- ・市の循環バスの不足金の負担に関しては、「不足金を利用者が負担すべき」との回答が44.4%で、「不足金を市民全員で負担すべき」の29.6%を上回っている。



8. 「これからの行政サービス」について

(1) 市民サービスの水準と負担の関係

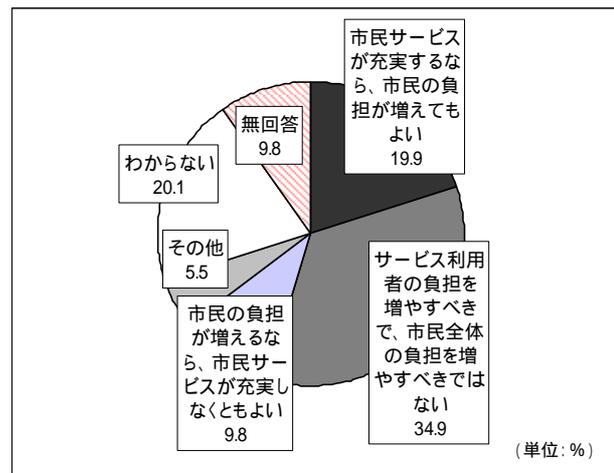
問 市民サービスの水準と負担の関係について、どう思いますか。

【SA、n = 1,274】

市民サービスの負担について、「サービス利用者の負担を増やすべきで、市民全体の負担を増やすべきではない」との回答が最も多い。

市民サービスと負担の関係については、「サービス利用者の負担を増やすべきで市民全体の負担を増やすべきではない」とした回答が 34.9%と最も多かった。「サービスが充実するなら、市民の負担が増えてもよい」は 19.9%、逆に「市民の負担が増えるなら、サービスが充実しなくともよい」との回答は 9.8%であった。

受益者負担でのサービスの充実を望む声が大いことわかる。



【属性別特徴】

男女別

- ・「サービスが充実するなら、市民の負担が増えてもよい」とする声が、男性で女性より 10 ポイントほど高くなっている。女性では「わからない」とする回答が目立つ。

年齢別

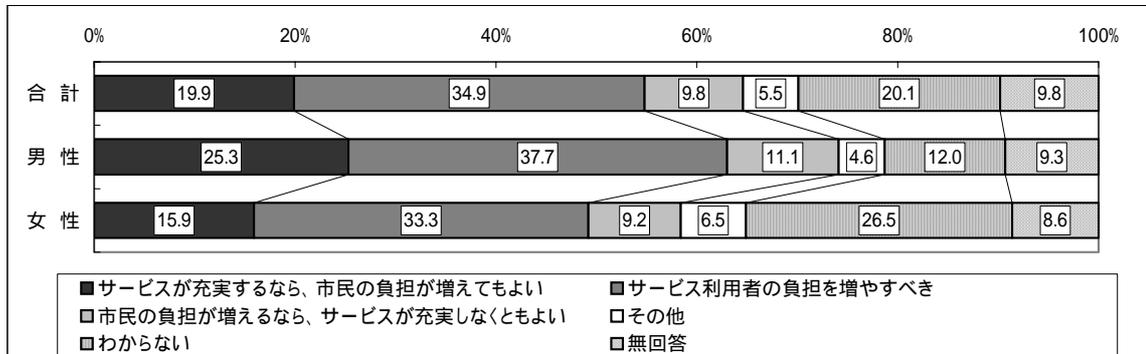
- ・若年層で「サービスが充実するなら、市民の負担が増えてもよい」の比率が低く、「市民の負担が増えるなら、サービスが充実しなくともよい」の比率が高い傾向が見られる。

居住地区別

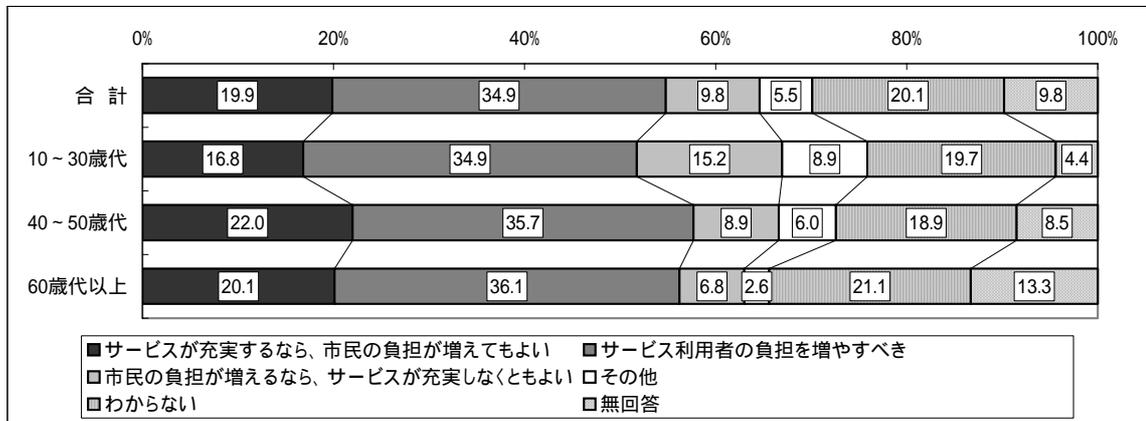
- ・佐原区で「サービスが充実するなら、市民の負担が増えてもよい」の比率が高くなっている。
- ・栗源区では逆に「サービスが充実するなら、市民の負担が増えてもよい」の比率が低く、「市民の負担が増えるなら、サービスが充実しなくともよい」の比率が高い傾向が見られる。

《属性別グラフ》

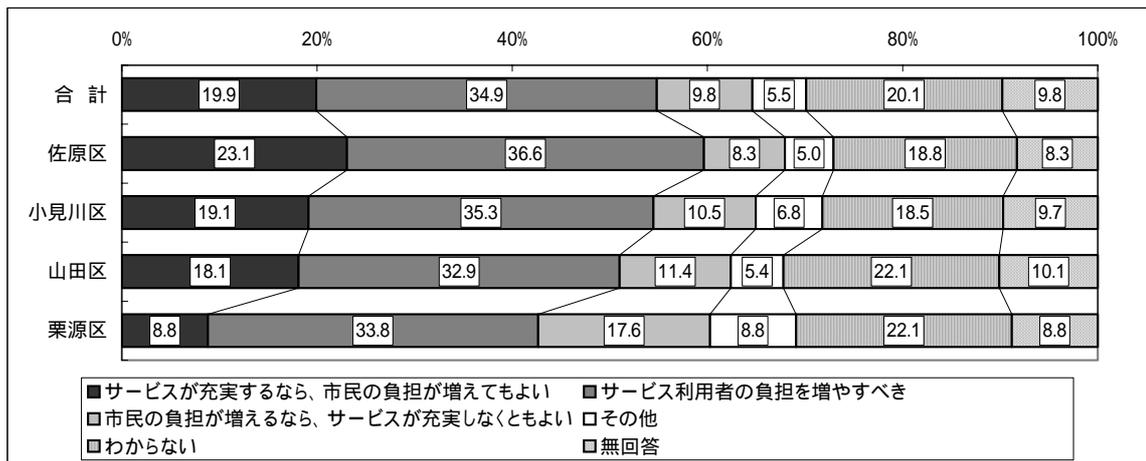
男女別



年齢別



居住地区別



(2) 行政改革が市民生活に及ぼす影響

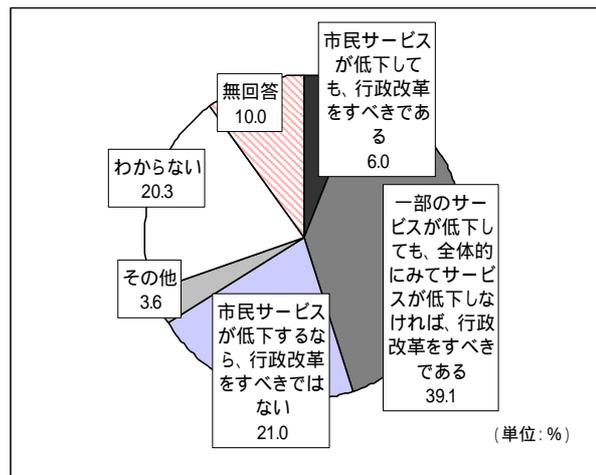
問 行政改革が市民生活に及ぼす影響について、どう思いますか。

【SA、n = 1,274】

「一部のサービスが低下しても、全体的にみてサービスが低下しなければ、行政改革をすべき」との回答が最も多くなっている。

行政改革に関する設問では、「一部のサービスが低下しても、全体的にみてサービスが低下しなければ、行政改革をすべきである」との回答が39.1%を占めた。また、「市民サービスが低下するなら、行政改革をすべきではない」との回答は21.0%にのぼっている。反対に「市民サービスが低下しても、行政改革をすべきである」は6.0%にとどまっている。

行政改革が必要とは考えるが、その条件として、全体的なサービス低下は望ましくないと考える人が多いことがわかる。



【属性別特徴】

男女別

- ・男性で「市民サービスが低下しても、行政改革をすべきである」、「一部のサービスが低下しても、全体的にみてサービスが低下しなければ、行政改革をすべきである」の比率が女性より高い傾向にある。女性では「わからない」との回答が目立つ。

年齢別

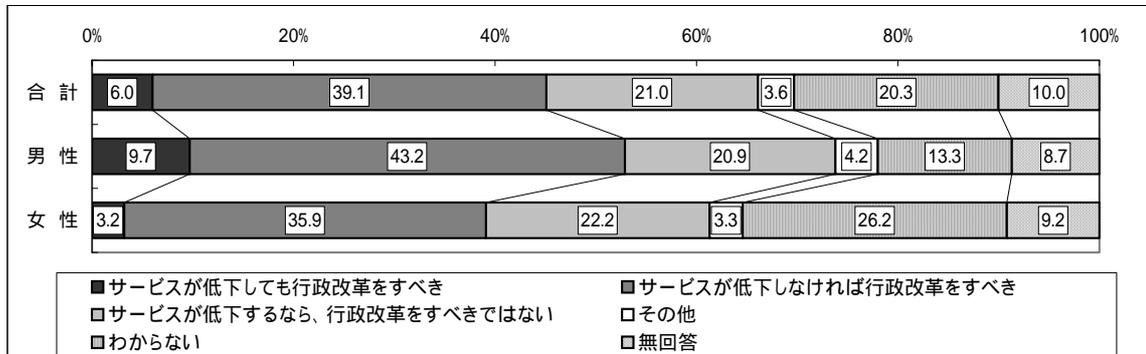
- ・若年層で、「市民サービスが低下しても、行政改革をすべきである」の比率が高く、「一部のサービスが低下しても、全体的にみてサービスが低下しなければ、行政改革をすべきである」の比率は低い傾向が見られる。

居住地区別

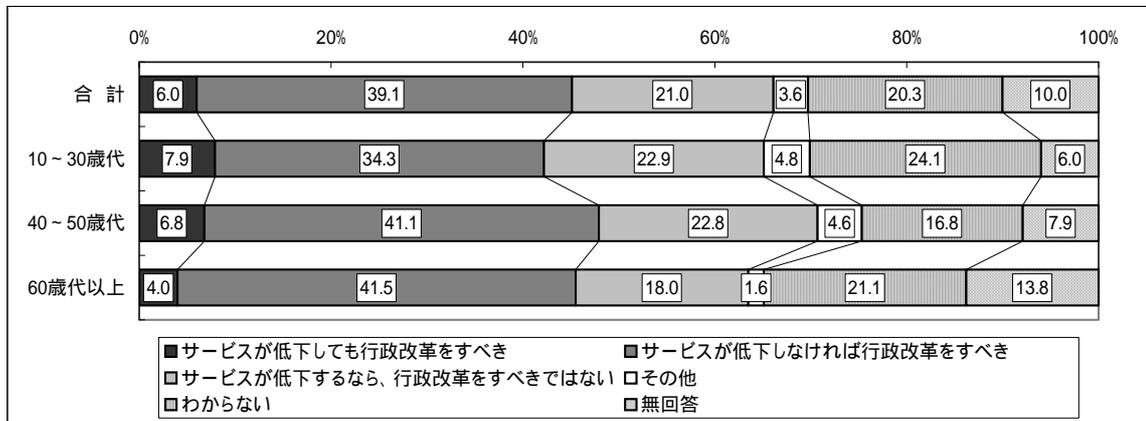
- ・栗源区で、「市民サービスが低下しても、行政改革をすべきである」の比率がやや高くなっている。

《属性別グラフ》

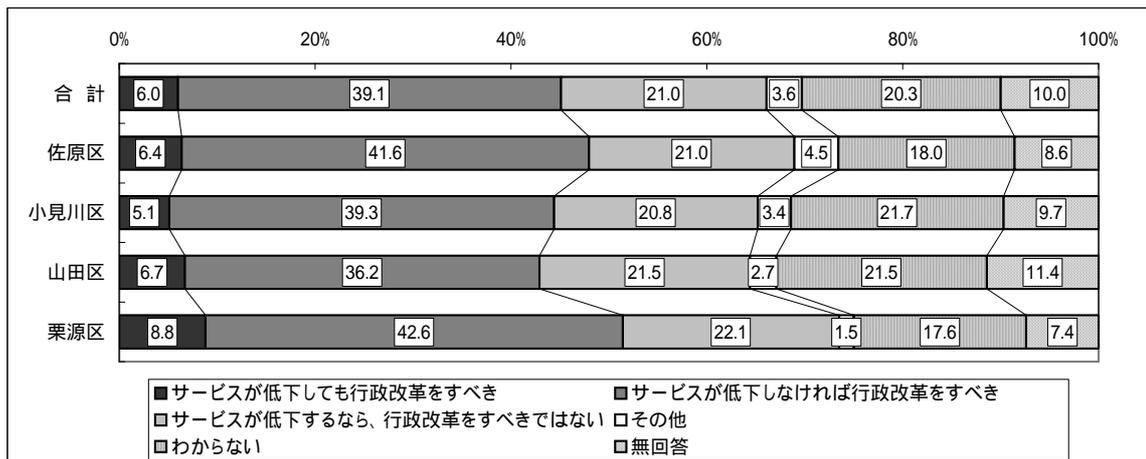
男女別



年齢別



居住地区別

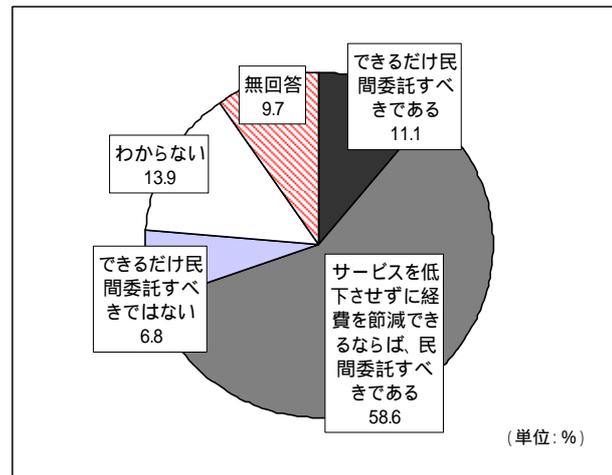


(3) 行政サービスの民間委託

問 行政サービスの民間委託について、どう思いますか。【SA、n = 1,274】

「サービスを低下させずに経費を節減できるならば、民間委託すべき」との回答が半数以上を占めている。

行政サービスの民間委託については、「サービスを低下させずに経費を節減できるならば、民間委託すべきである」という条件付での賛成の意見が58.6%と過半数を占めた。「できるだけ民間委託すべきである」(11.1%)とする賛成意見、「できるだけ民間委託すべきではない」(6.8%)とする反対意見は、わずかにとどまっている。



【属性別特徴】

男女別

- ・男性で、「できるだけ民間委託すべきである」、「サービスを低下させずに経費を節減できるならば、民間委託すべきである」とする、条件付も含め民間委託を推進すべきとの声が多くなっている。女性では「わからない」が多い。

年齢別

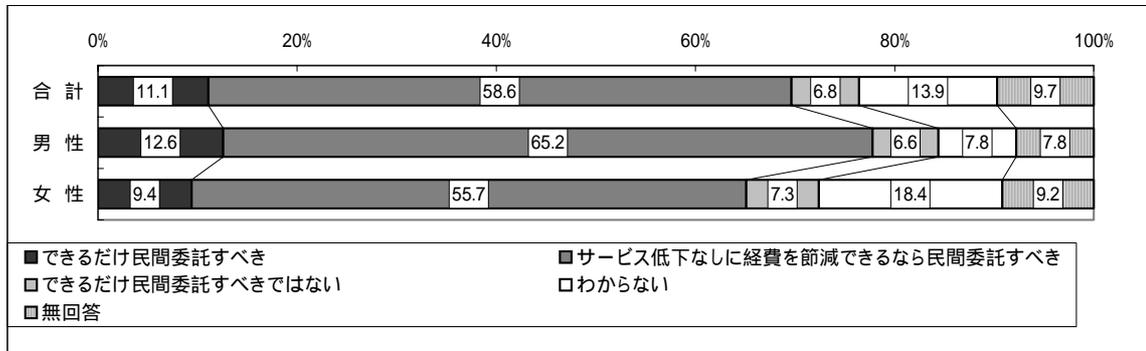
- ・「サービスを低下させずに経費を節減できるならば、民間委託すべきである」との回答が、40～50歳代でやや多くなっている。

居住地区別

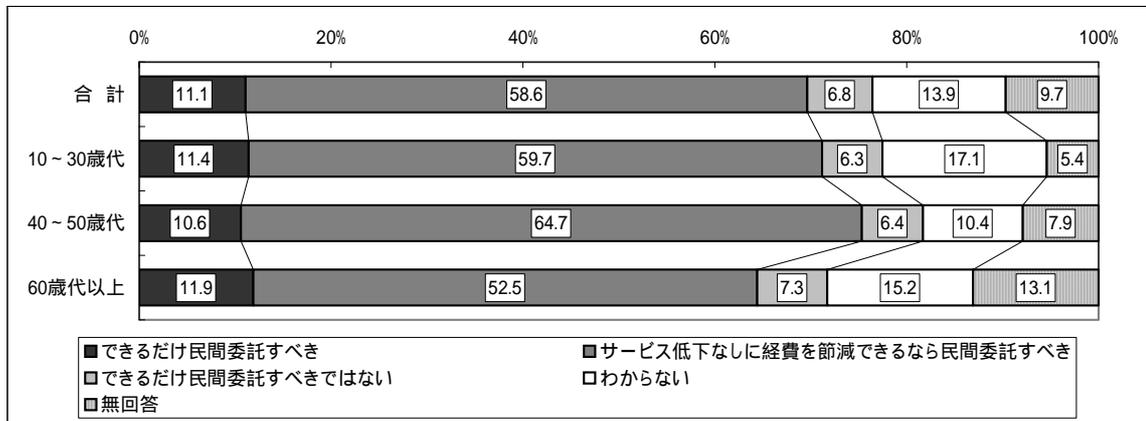
- ・佐原区で「サービスを低下させずに経費を節減できるならば、民間委託すべきである」の比率がやや高い。
- ・栗源区では「できるだけ民間委託すべきである」の比率が、他と比較してやや低くなっている。

《属性別グラフ》

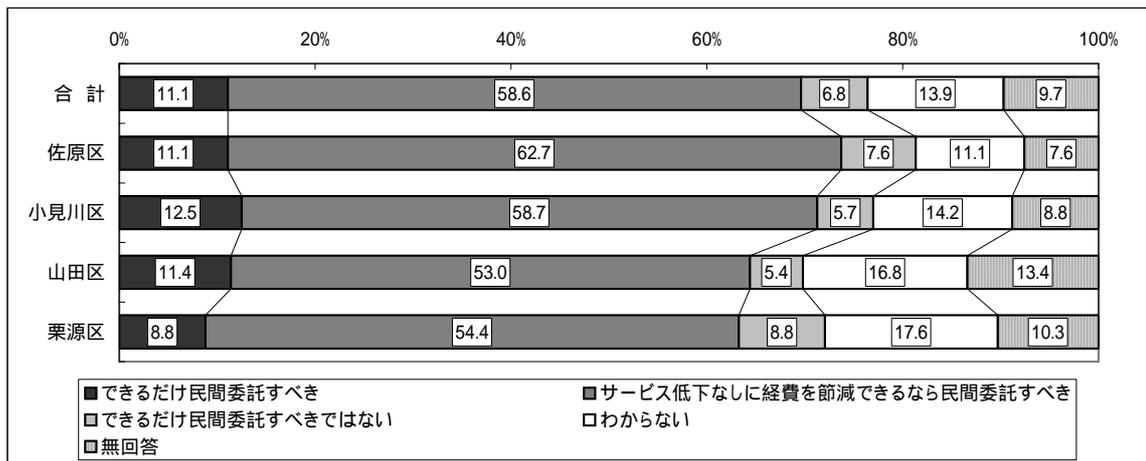
男女別



年齢別



居住地区別

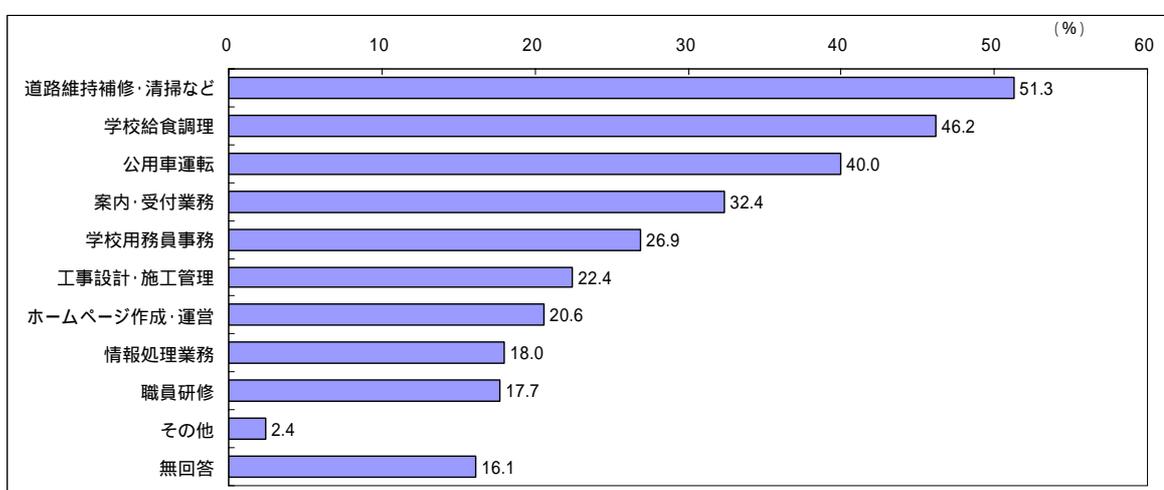


(4) 民間委託すべき事務

問 民間に業務を委託すべき事務は、どれですか。【MA、n = 1,274】

「道路維持補修・清掃など」、「学校給食調理」、「公用車運転」を民間委託すべきとの回答が多い。

民間委託をすべき事務としては、51.3%と回答者の過半数が「道路維持補修・清掃など」をあげた。以下、「学校給食調理」(46.2%)、「公用車運転」(40.0%)、「案内・受付業務」(32.4%)、「学校用務員事務」(26.9%)の順に比率が高くなっている。



【属性別特徴】

男女別

- ・すべての項目で、男性の比率の方が高くなっている。特に「学校給食調理」、「公用車運転」などで、その差が大きい。

年齢別

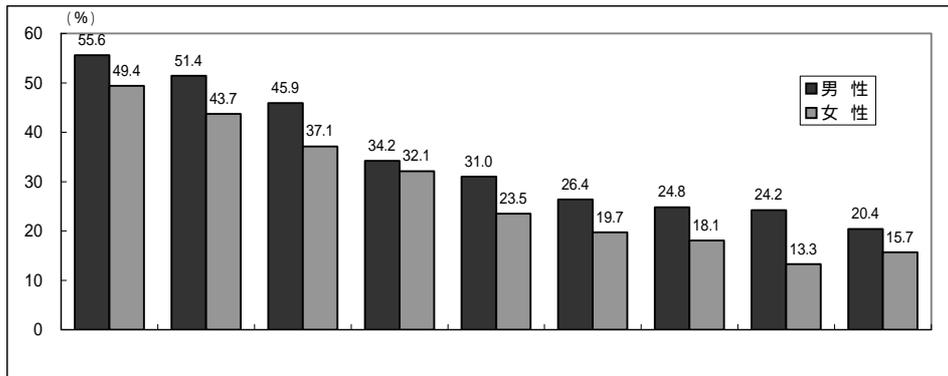
- ・「学校給食調理」、「公用車運転」などで、40～50歳代の比率が高い。
- ・「工事設計・施工管理」、「ホームページ作成・運営」の比率は、若年層で高く、年齢が高い層で低い傾向がはっきりと見られる。

居住地区別

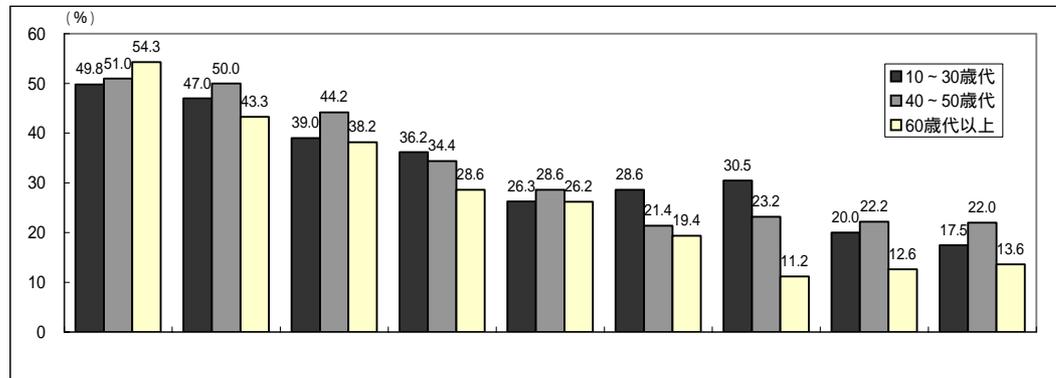
- ・佐原区で「学校給食調理」、「公用車運転」、栗源区で「学校用務員事務」をあげる声が多いことが目につく。

《属性別グラフ》

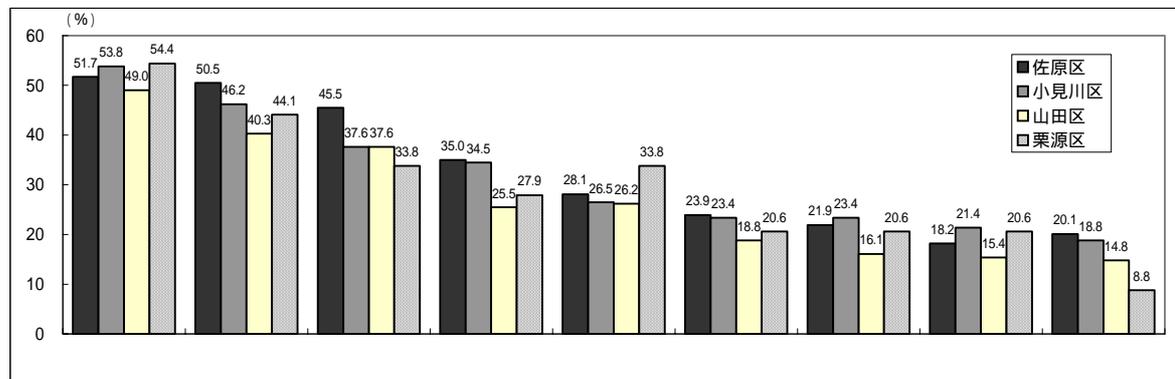
男女別



年齢別



居住地区別



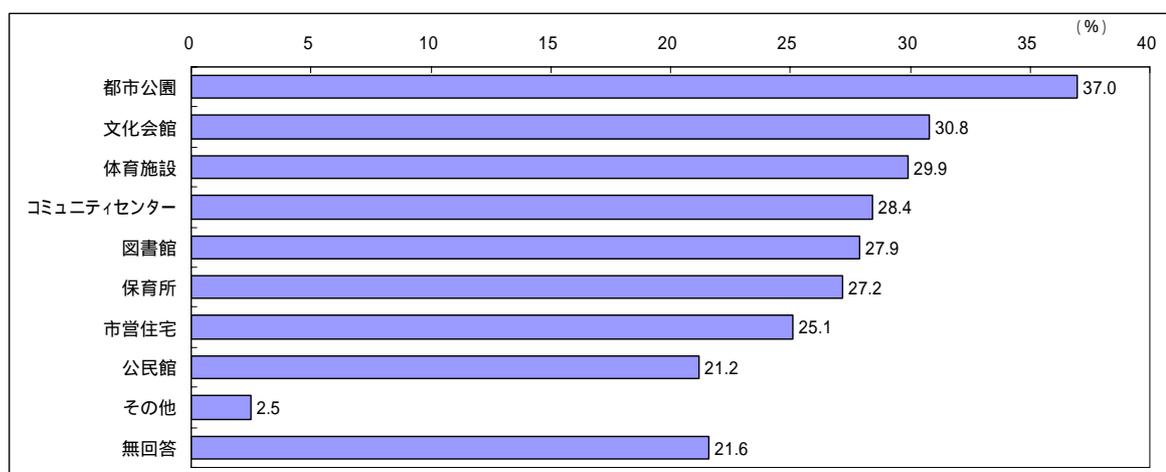
道路維持補修・清掃など	学校給食調理	公用車運転
案内・受付業務	学校用務員事務	工事設計・施工管理
ホームページ作成・運営	情報処理業務	職員研修

(5) 民間委託すべき施設

問 民間に運営を委託すべき施設は、どれですか。【MA、n = 1,274】

「都市公園」との回答が最も多くなっている。

民間に運営を委託すべき施設としては、「都市公園」をあげる回答が37.0%と最も多かった。その他では「文化会館」(30.8%)、「体育施設」(29.9%)、「コミュニティセンター」(28.4%)などの回答が多く見られた。



【属性別特徴】

男女別

- ・男女別で見ると、全項目で男性の比率の方が高くなっている。

年齢別

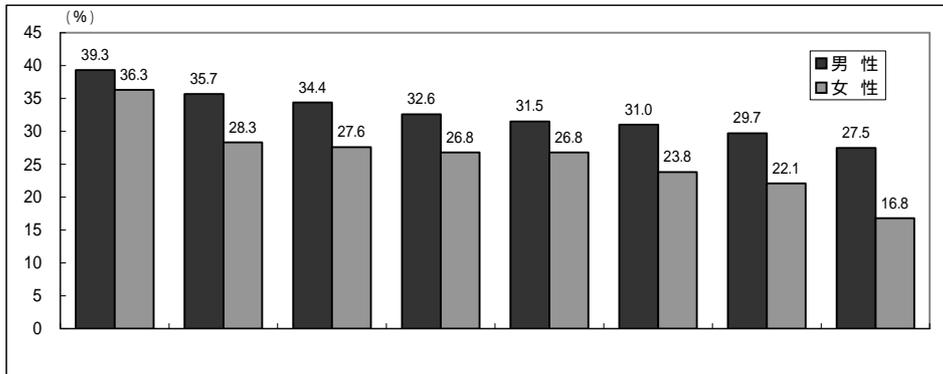
- ・年齢が高い層で「都市公園」の比率が高い。

居住地区別

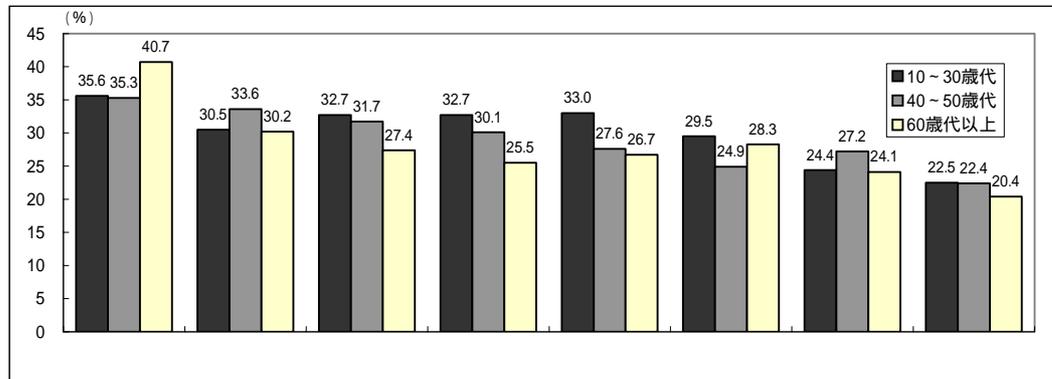
- ・小見川区、栗源区で「文化会館」、「体育施設」、「コミュニティセンター」、「図書館」の比率が高いことが目につく。
- ・佐原区では、「保育所」の比率が高くなっている。

《属性別グラフ》

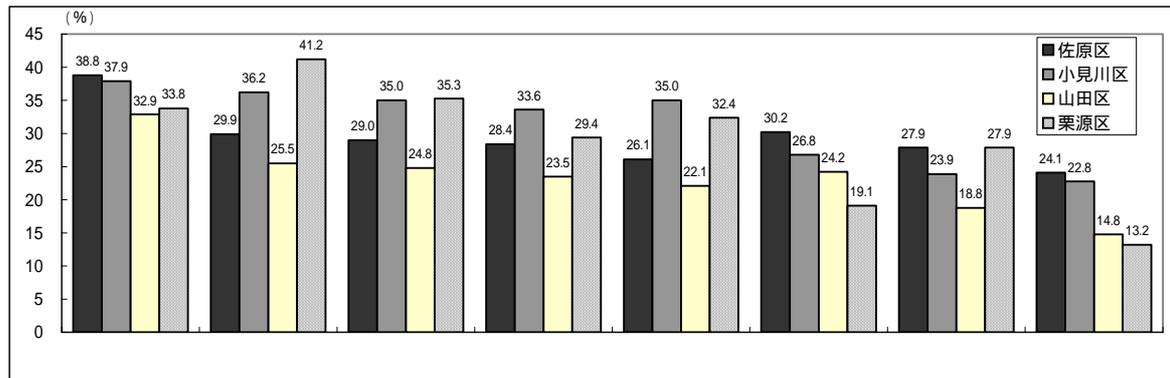
男女別



年齢別



居住地区別



都市公園	文化会館	体育施設
コミュニティセンター	図書館	保育所
市営住宅	公民館	

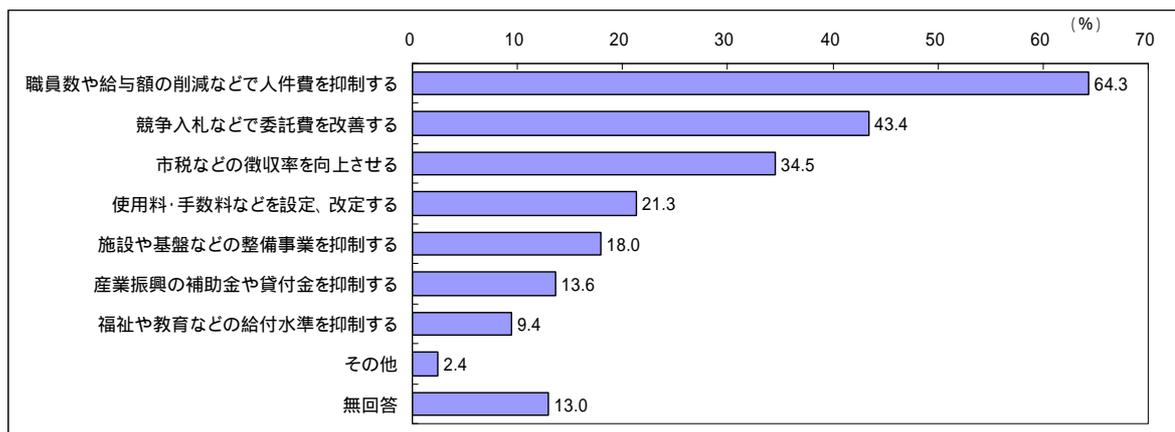
(6) 財政健全化のために優先すべきこと

問 市の財政の健全化を進める上で優先的に実施すべきと思われることは何ですか。【MA、n = 1,274】

「職員数や給与額の削減などで人件費を抑制する」の比率が突出して高くなっている。

財政健全化のために優先すべきこととしては、「職員数や給与額の削減などで人件費を抑制する」の比率が64.3%と突出して高い結果となった。次いで「競争入札などで委託費を改善する」が43.4%、「市税などの徴収率を向上させる」が34.5%となっている。

逆に「福祉や教育などの給付水準を抑制する」などの比率は低く、これらの分野のサービスの低下は望まない市民が多いことがわかる。



【属性別特徴】

男女別

- ・「職員数や給与額の削減などで人件費を抑制する」、「競争入札などで委託費を改善する」など、上位の項目で男性の比率が高い傾向が見られる。

年齢別

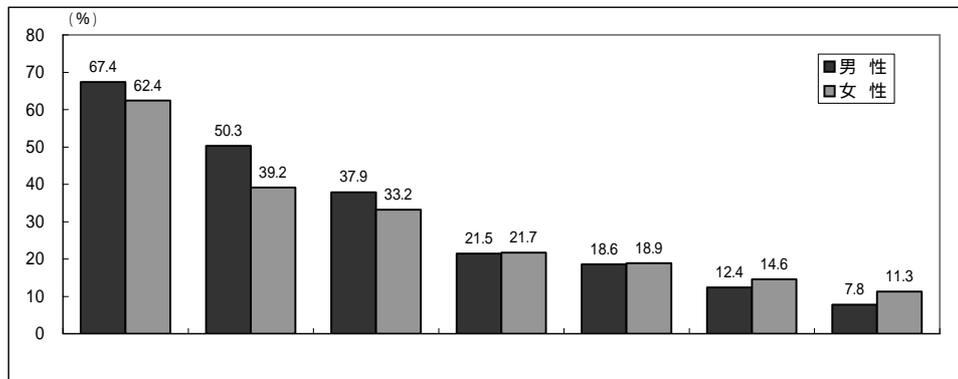
- ・「職員数や給与額の削減などで人件費を抑制する」は40～50歳代で、また、「市税などの徴収率を向上させる」は年齢が高い層で、比率が高くなっている。

居住地区別

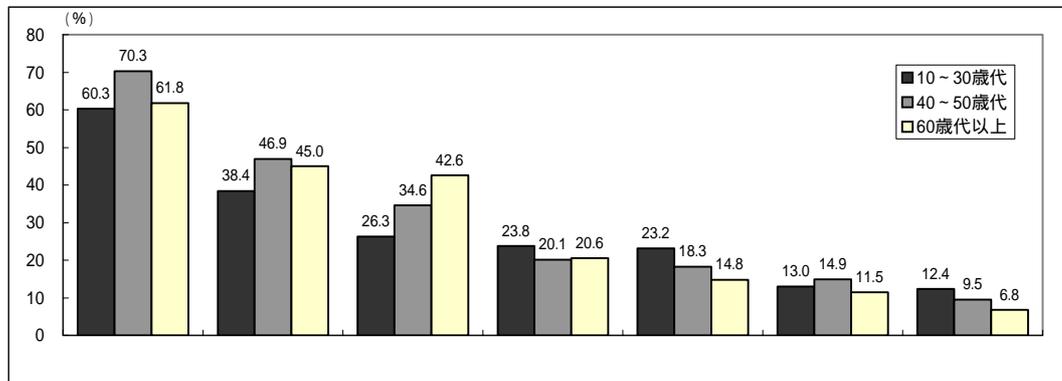
- ・「施設や基盤などの整備事業を抑制する」、「産業振興の補助金や貸付金を抑制する」で、栗源区の比率がやや高くなっている。

《属性別グラフ》

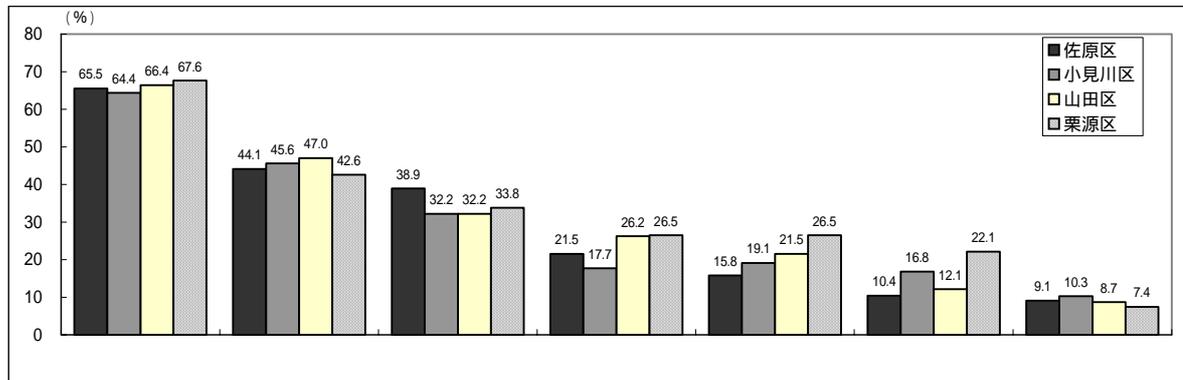
男女別



年齢別



居住地区別



職員数や給与額の削減などで人件費を抑制する
 市税などの徴収率を向上させる
 施設や基盤などの整備事業を抑制する
 福祉や教育などの給付水準を抑制する

競争入札などで委託費を改善する
 使用料・手数料などを設定、改定する
 産業振興の補助金や貸付金を抑制する

(7) 香取市の市政運営に望むこと

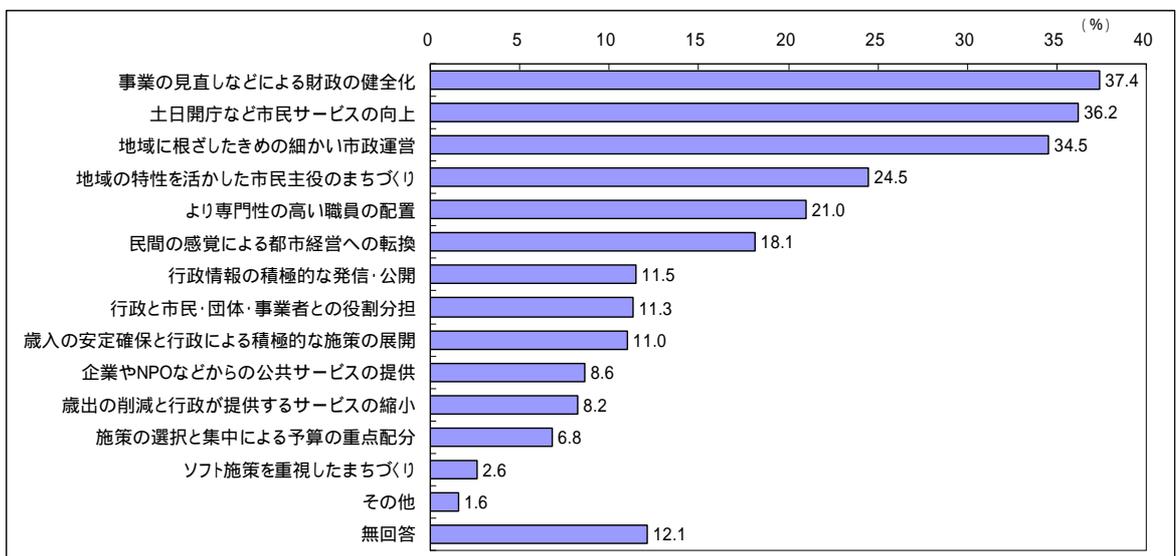
問 新しい香取市の市政運営についてどのようなことを望みますか。

【MA、n = 1,274】

「財政の健全化」、「市民サービスの向上」、「きめ細かい市政運営」を求める声が多い。

市民が市政運営に対して望むことについては、「事業の見直しなどによる財政の健全化」(37.4%)、「土日開庁など市民サービスの向上」(36.2%)、「地域に根ざしたきめの細かい市政運営」(34.5%)の3項目の比率が高い結果となっている。

反対に「ソフト施策を重視したまちづくり」(2.6%)、「施策の選択と集中による予算の重点配分」(6.8%)などをあげる回答は少なかった。



男女別

- ・男性では「事業の見直しなどによる財政の健全化」、「民間の感覚による都市経営への転換」を、女性では「土日開庁など市民サービスの向上」を望む声強い。

年齢別

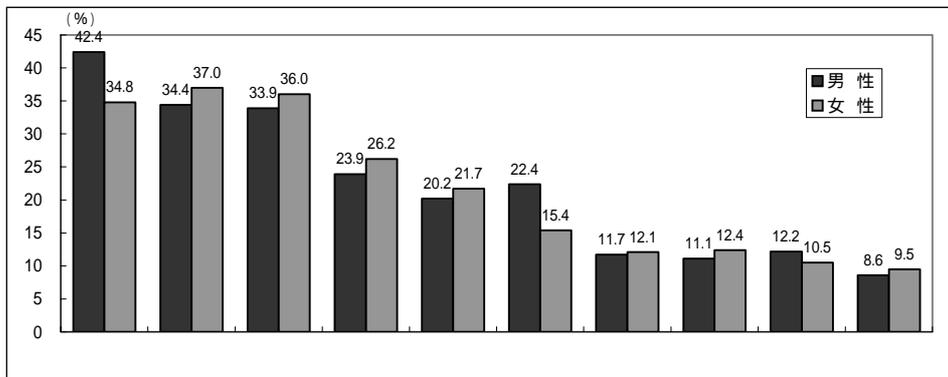
- ・「土日開庁など市民サービスの向上」は若い年齢層ほど、望む声は大きくなっている。「地域に根ざしたきめの細かい市政運営」は年齢が高い層で、比率が高い。

居住地区別

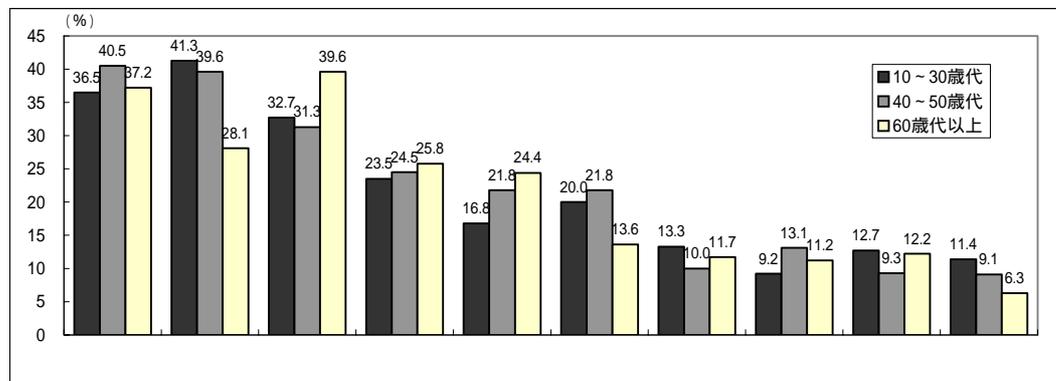
- ・佐原区で「事業の見直しなどによる財政の健全化」と「民間の感覚による都市経営への転換」、小見川区では「行政情報の積極的な発信・公開」をあげる声大きい。また山田区で「土日開庁など市民サービスの向上」や「地域の特性を活かした市民役のまちづくり」の比率が高いことが目につく。

《属性別グラフ》

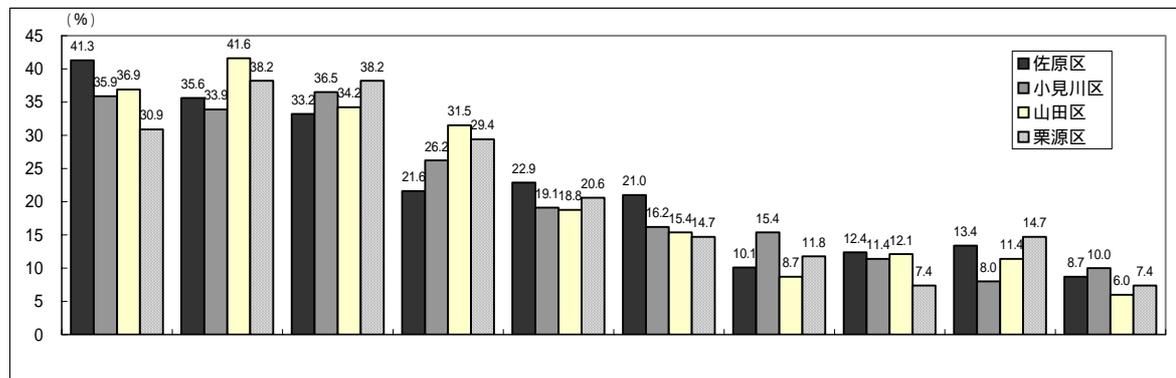
男女別



年齢別



居住地区別



事業の見直しなどによる財政の健全化

地域に根ざしたきめの細かい市政運営

より専門性の高い職員の配置

行政情報の積極的な発信・公開

歳入の安定確保と行政による積極的な施策の展開

土日開庁など市民サービスの向上

地域の特性を活かした市民主役のまちづくり

民間の感覚による都市経営への転換

行政と市民・団体・事業者との役割分担

企業やNPOなどからの公共サービスの提供

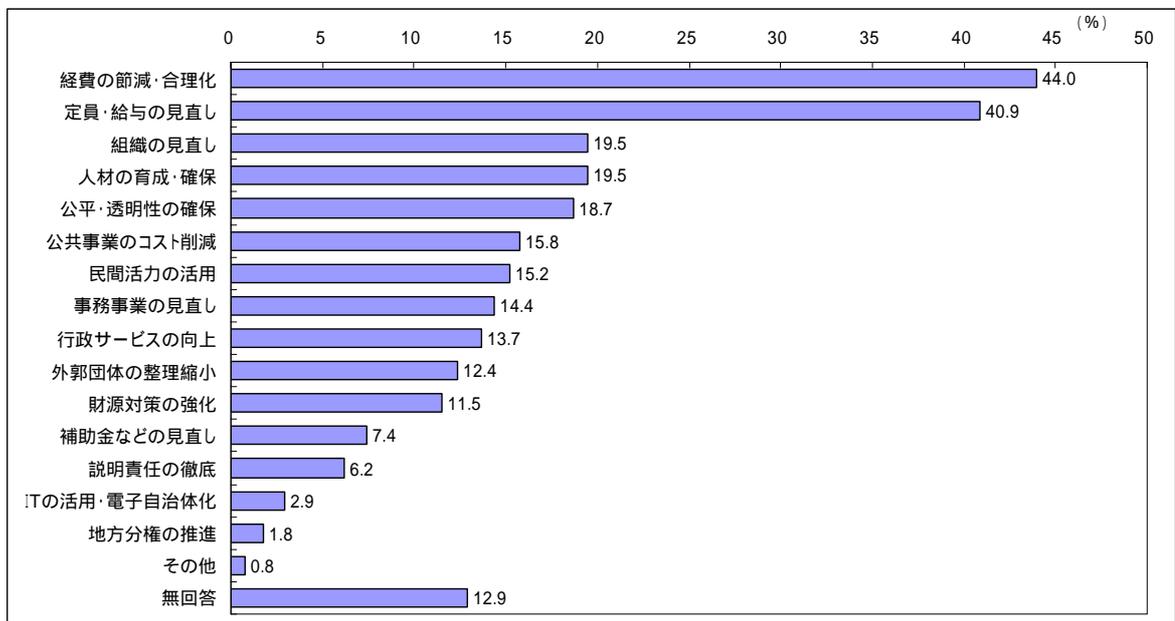
(8) 行政改革で重要なこと

問 行政改革を進める上で、どのようなことが重要と考えますか。

【MA、n = 1,274】

「経費の節減・合理化」、「定員・給与の見直し」の比率が突出して高くなっている。

行政改革において重要なこととしては、「経費の節減・合理化」(44.0%)、「定員・給与の見直し」(40.9%)と、財政面での歳出削減に関する2項目が突出して多い結果となった。その他では、「組織の見直し」(19.5%)、「人材の育成・確保」(19.5%)、「公平・透明性の確保」(18.7%)と続いている。



【属性別特徴】

男女別

- ・男性では「定員・給与の見直し」、「公共事業のコスト削減」、「外郭団体の整理縮小」、女性では「行政サービスの向上」が多いことが目立つ。

年齢別

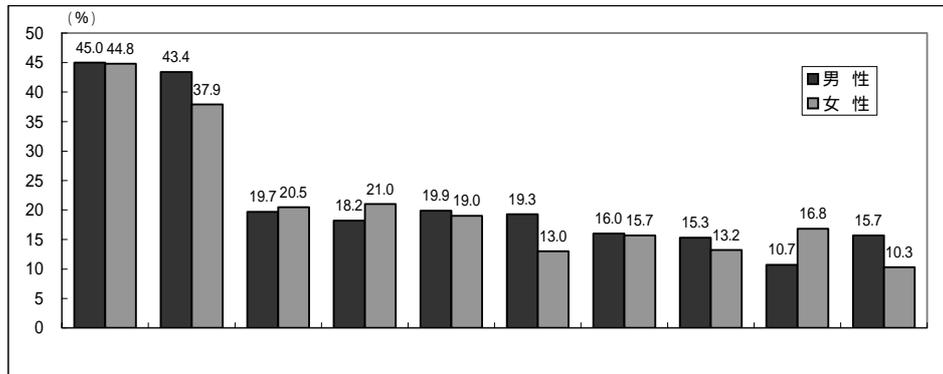
- ・年齢が高い層で「定員・給与の見直し」や「外郭団体の整理縮小」の比率が高くなっている。

居住地区別

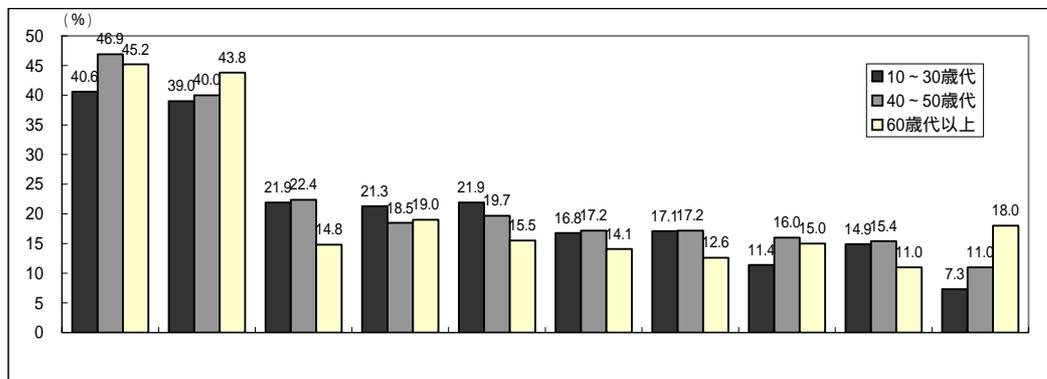
- ・「経費の節減・合理化」は佐原区と山田区で、「定員・給与の見直し」は栗源区で比率が高い。その他では、「公平・透明性の確保」が山田区、栗源区で多いことが目につく。

《属性別グラフ》

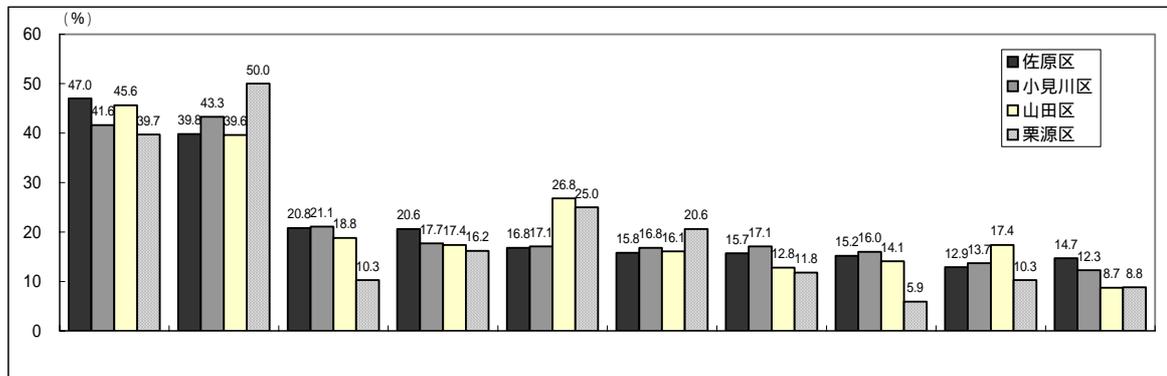
男女別



年齢別



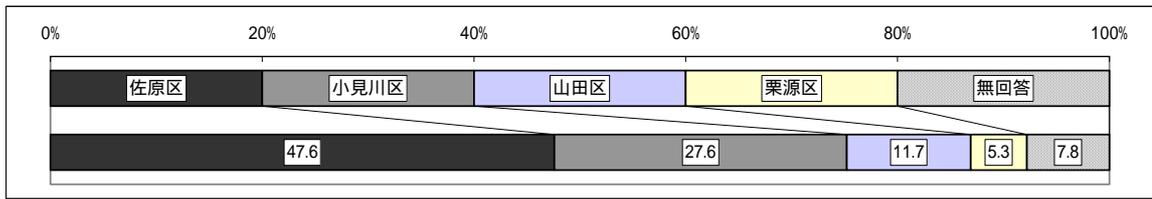
居住地区別



経費の節減・合理化	定員・給与の見直し	組織の見直し
人材の育成・確保	公平・透明性の確保	公共事業のコスト削減
民間活力の活用	事務事業の見直し	行政サービスの向上
外郭団体の整理縮小		

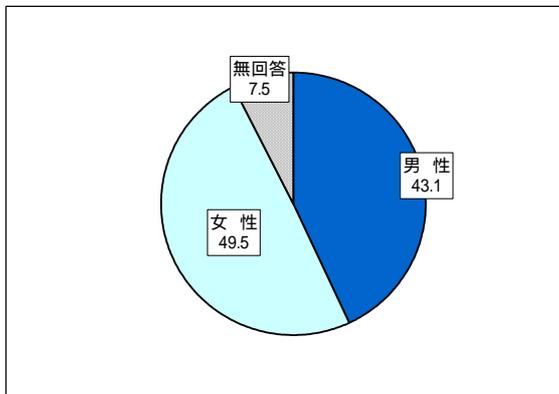
9. 属性

居住地区

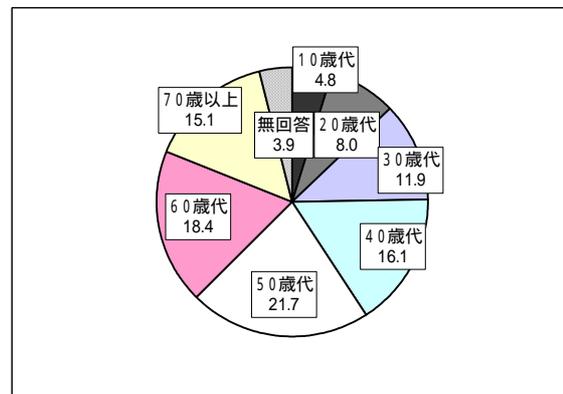


佐原区 : 佐原中学校区、香取中学校区、第3中学校区、第5中学校区、新島中学校区
 小見川区 : 中央小学校区、東小学校区、西小学校区、南小学校区、北小学校区
 山田区 : 第一山倉小学校区、山倉小学校区、府馬小学校区、八都小学校区、八都第二小学校区
 栗源区 : 栗源小学校区、高萩小学校区、沢小学校区

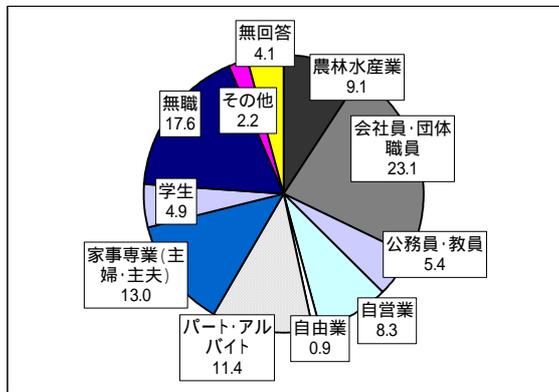
性別



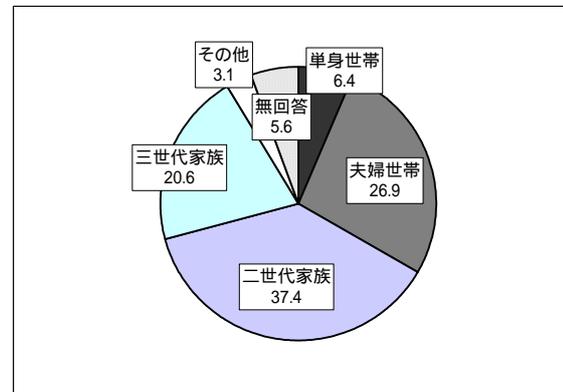
年代



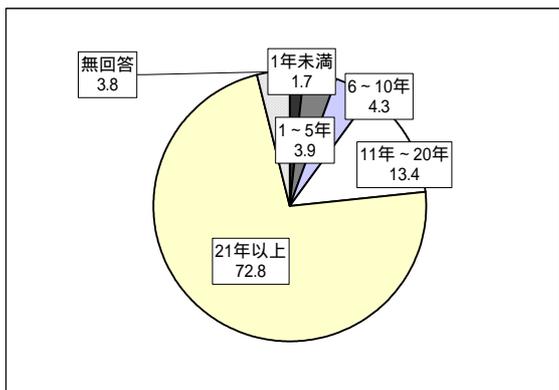
職業



家族構成



居住年数



居住意向

